

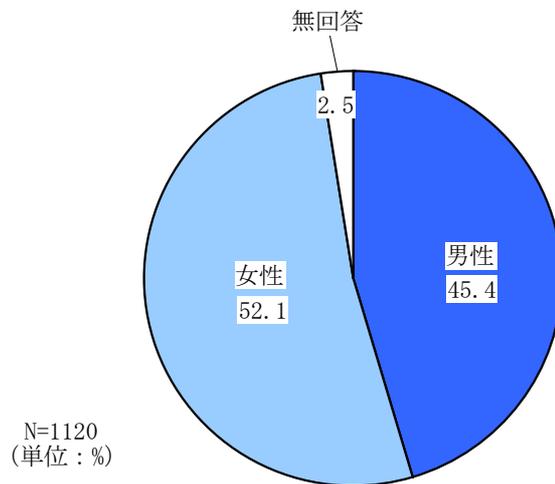
Ⅲ. 調査結果

Ⅲ. 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

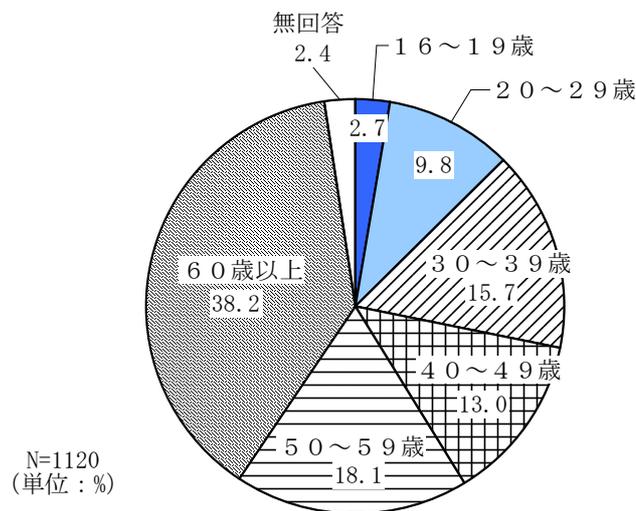
【図表 1-1 性別】



回答者の性別は、「女性」が 52.1%、「男性」が 45.4%となっている。(図表 1-1)

(2) 年齢

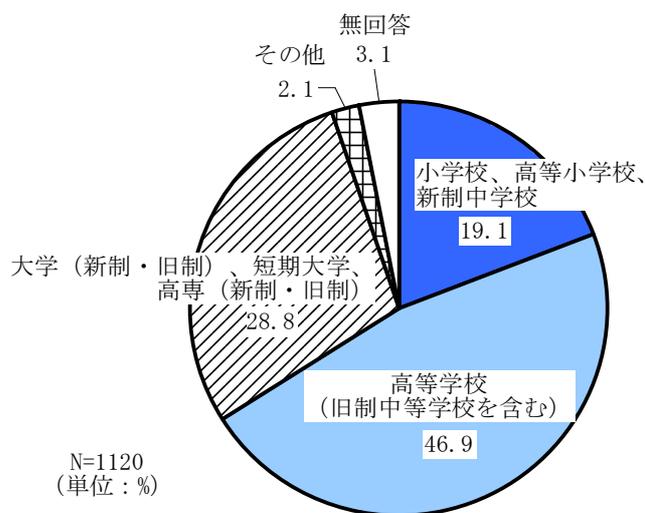
【図表 1-2 年齢】



回答者の年齢は、「60歳以上」が 38.2%で最も多く、次いで「50~59歳」(18.1%)、「30~39歳」(15.7%)の順となっている。(図表 1-2)

(3) 最終学歴

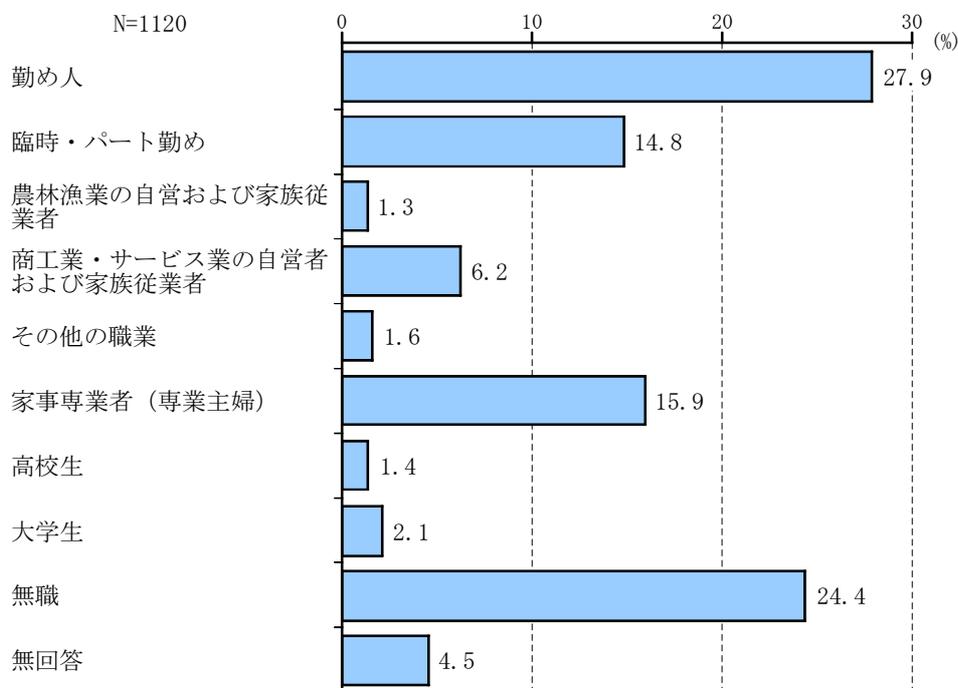
【図表 1-3 最終学歴】



回答者の最終学歴は、「高等学校 (旧制中等学校を含む)」が 46.9%と半数近くを占め、「大学 (新制・旧制)、短期大学、高専 (新制・旧制)」は 28.8%、「小学校、高等小学校、新制中学校」は 19.1%となっている。(図表 1-3)

(4) 職種

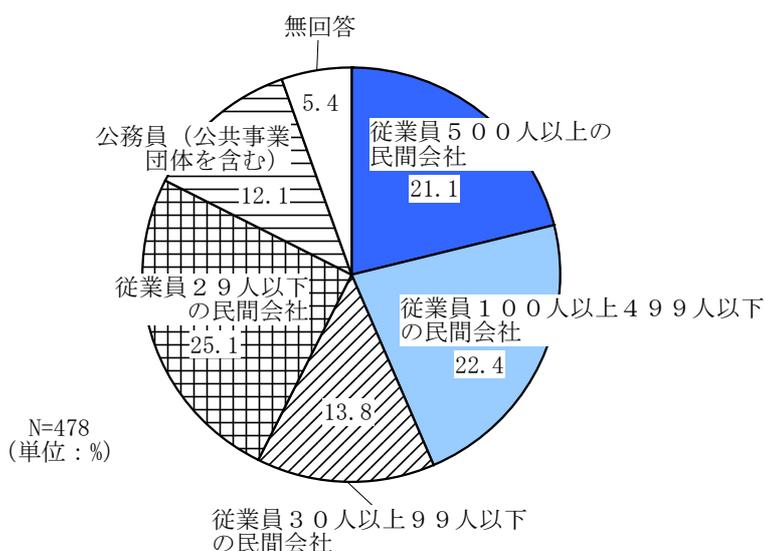
【図表 1-4 職種】



回答者の職種は、「勤め人」が 27.9%で最も多く、次いで「無職」(24.4%)、「家事専業者 (専業主婦)」(15.9%)、「臨時・パート勤め」(14.8%)の順となっている。(図表 1-4)

① 勤め先の規模

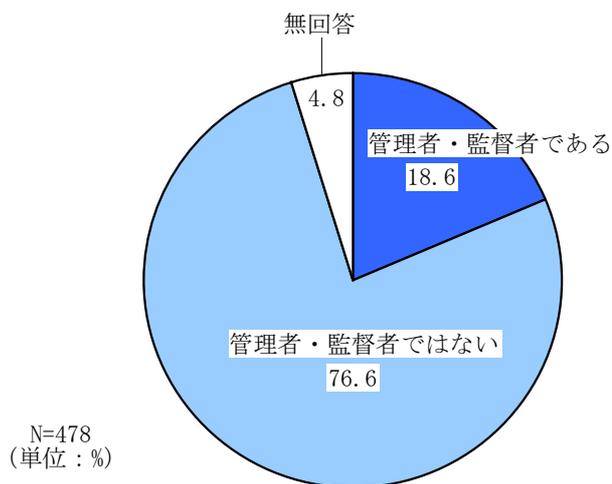
【図表 1 - 4 A 勤め先の規模】



職種が「勤め人」もしくは「臨時・パート勤め」である回答者の勤め先の規模は、「従業員 29 人以下の民間会社」が 25.1%で最も多く、次いで「従業員 100 人以上 499 人以下の民間会社」(22.4%)、「従業員 500 人以上の民間会社」(21.1%)の順となっている。(図表 1 - 4 A)

② 管理者・監督者の別

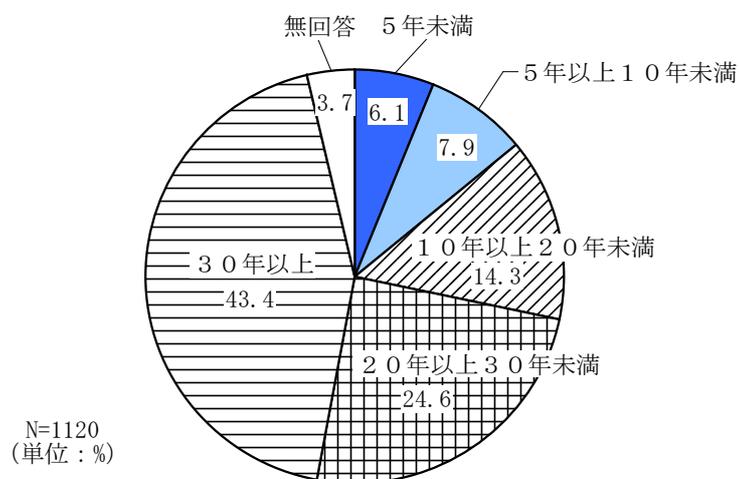
【図表 1 - 4 B 管理者・監督者の別】



職種が「勤め人」もしくは「臨時・パート勤め」である回答者の管理者・監督者の別は、「管理者・監督者ではない」が 76.6%、「管理者・監督者である」が 18.6%となっている。(図表 1 - 4 B)

(5) 居住年数

【図表1-5 居住年数】



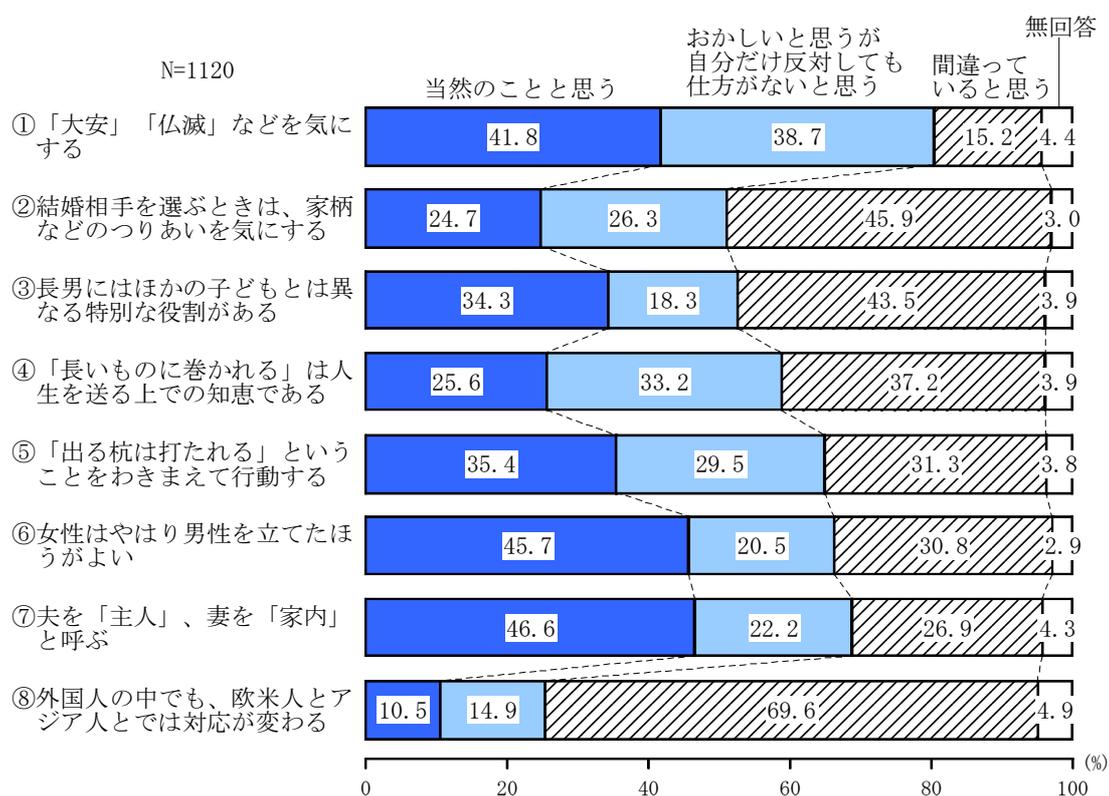
回答者の泉南市での居住年数は、「30年以上」が43.4%で最も多く、次いで「20年以上30年未満」(24.6%)、「10年以上20年未満」(14.3%)の順となっている。(図表1-5)

2. ふだんの生活意識について

(1) さまざまな価値観についての考え

問1. あなたは、次にあげることについて、どう思いますか。①～⑧のそれぞれについてお答えください（〇はそれぞれ1つずつ）。

【図表2-1 さまざまな価値観についての考え】



さまざまな価値観についての考えをみると、「当然のことと思う」の割合は〔⑦夫を「主人」、妻を「家内」と呼ぶ〕が46.6%で最も高く、次いで〔⑥女性はやはり男性を立てたほうがよい〕（45.7%）、〔①「大安」「仏滅」などを気にする〕（41.8%）の順となっている。

一方、「間違っていると思う」の割合は〔⑧外国人の中でも、欧米人とアジア人とは対応が変わる〕が69.6%で最も高く、次いで〔②結婚相手を選ぶときは、家柄などのつりあいを気にする〕（45.9%）、〔③長男にはほかの子どもとは異なる特別な役割がある〕（43.5%）の順となっている。（図表2-1）

【図表2-1-1 性別・年齢別 ささまざまな価値観についての考え①】

①「大安」「仏滅」などを気にする

		調査数 (N)	当然のこと と思う	なだお いけかし いと反 対し て思 う 仕 方 自 分	間違 つて いる と 思 う	無 回 答
全 体		1120 100.0	468 41.8	433 38.7	170 15.2	49 4.4
性 別	男性	509 100.0	210 41.3	183 36.0	102 20.0	14 2.8
	女性	583 100.0	247 42.4	243 41.7	63 10.8	30 5.1
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	10 33.3	12 40.0	8 26.7	- -
	20～29歳	110 100.0	44 40.0	41 37.3	19 17.3	6 5.5
	30～39歳	176 100.0	78 44.3	62 35.2	27 15.3	9 5.1
	40～49歳	146 100.0	52 35.6	62 42.5	29 19.9	3 2.1
	50～59歳	203 100.0	74 36.5	94 46.3	30 14.8	5 2.5
	60歳以上	428 100.0	198 46.3	156 36.4	52 12.1	22 5.1

②結婚相手を選ぶときは、家柄などのつりあいを気にする

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	当然のこと と思う	なだお いけかし いと反 対し て思 う 仕 方 自 分	間違 つて いる と 思 う	無 回 答
全 体		1120 100.0	277 24.7	295 26.3	514 45.9	34 3.0
性 別		509 100.0	111 21.8	132 25.9	256 50.3	10 2.0
女性		583 100.0	157 26.9	158 27.1	249 42.7	19 3.3
16～19歳		30 100.0	7 23.3	8 26.7	15 50.0	- -
20～29歳		110 100.0	26 23.6	22 20.0	59 53.6	3 2.7
30～39歳		176 100.0	29 16.5	53 30.1	88 50.0	6 3.4
40～49歳		146 100.0	19 13.0	46 31.5	80 54.8	1 0.7
50～59歳		203 100.0	52 25.6	56 27.6	93 45.8	2 1.0
60歳以上		428 100.0	135 31.5	105 24.5	170 39.7	18 4.2

③長男にはほかの子どもとは異なる特別な役割がある

		調査数 (N)	当然のこと と思う	なだお いけかし いと反 対し て思 う 仕 方 自 分	間違 つて いる と 思 う	無 回 答
全 体		1120 100.0	384 34.3	205 18.3	487 43.5	44 3.9
性 別	男性	509 100.0	190 37.3	92 18.1	215 42.2	12 2.4
	女性	583 100.0	185 31.7	109 18.7	261 44.8	28 4.8
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	10 33.3	7 23.3	12 40.0	1 3.3
	20～29歳	110 100.0	45 40.9	21 19.1	40 36.4	4 3.6
	30～39歳	176 100.0	57 32.4	42 23.9	72 40.9	5 2.8
	40～49歳	146 100.0	40 27.4	34 23.3	70 47.9	2 1.4
	50～59歳	203 100.0	75 36.9	33 16.3	92 45.3	3 1.5
	60歳以上	428 100.0	146 34.1	64 15.0	191 44.6	27 6.3

④「長いものに巻かれる」は人生を送る上での知恵である

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	当然のこと と思う	なだお いけかし いと反 対し て思 う 仕 方 自 分	間違 つて いる と 思 う	無 回 答
全 体		1120 100.0	287 25.6	372 33.2	417 37.2	44 3.9
性 別		509 100.0	132 25.9	157 30.8	209 41.1	11 2.2
女性		583 100.0	147 25.2	209 35.8	200 34.3	27 4.6
16～19歳		30 100.0	8 26.7	8 26.7	14 46.7	- -
20～29歳		110 100.0	33 30.0	36 32.7	36 32.7	5 4.5
30～39歳		176 100.0	47 26.7	63 35.8	60 34.1	6 3.4
40～49歳		146 100.0	35 24.0	62 42.5	48 32.9	1 0.7
50～59歳		203 100.0	45 22.2	78 38.4	77 37.9	3 1.5
60歳以上		428 100.0	111 25.9	119 27.8	174 40.7	24 5.6

【図表2-1-1 性別・年齢別 ささまざまな価値観についての考え②】

⑤「出る杭は打たれる」ということをわきまえて行動する

⑥女性はやはり男性を立てたほうがよい
(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	当然のことと思う	なだお いけかし と反対し て思う もう仕 方が分	間違っ ている と思う	無回 答
全 体		1120 100.0	396 35.4	330 29.5	351 31.3	43 3.8
性 別	男性	509 100.0	176 34.6	123 24.2	195 38.3	15 2.9
	女性	583 100.0	211 36.2	202 34.6	147 25.2	23 3.9
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	14 46.7	7 23.3	9 30.0	- -
	20～29歳	110 100.0	27 24.5	38 34.5	40 36.4	5 4.5
	30～39歳	176 100.0	53 30.1	48 27.3	68 38.6	7 4.0
	40～49歳	146 100.0	48 32.9	52 35.6	45 30.8	1 0.7
	50～59歳	203 100.0	65 32.0	81 39.9	52 25.6	5 2.5
	60歳以上	428 100.0	180 42.1	99 23.1	128 29.9	21 4.9

		調査数 (N)	当然のことと思う	なだお いけかし と反対し て思う もう仕 方が分	間違っ ている と思う	無回 答
全 体		1120 100.0	512 45.7	230 20.5	345 30.8	33 2.9
性 別	男性	509 100.0	235 46.2	101 19.8	161 31.6	12 2.4
	女性	583 100.0	267 45.8	128 22.0	170 29.2	18 3.1
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	11 36.7	8 26.7	11 36.7	- -
	20～29歳	110 100.0	38 34.5	25 22.7	44 40.0	3 2.7
	30～39歳	176 100.0	77 43.8	40 22.7	53 30.1	6 3.4
	40～49歳	146 100.0	47 32.2	34 23.3	62 42.5	3 2.1
	50～59歳	203 100.0	100 49.3	48 23.6	53 26.1	2 1.0
	60歳以上	428 100.0	230 53.7	74 17.3	108 25.2	16 3.7

⑦夫を「主人」、妻を「家内」と呼ぶ

⑧外国人の中でも、欧米人とアジア人とでは対応が変わる
(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	当然のことと思う	なだお いけかし と反対し て思う もう仕 方が分	間違っ ている と思う	無回 答
全 体		1120 100.0	522 46.6	249 22.2	301 26.9	48 4.3
性 別	男性	509 100.0	223 43.8	113 22.2	158 31.0	15 2.9
	女性	583 100.0	286 49.1	132 22.6	135 23.2	30 5.1
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	10 33.3	7 23.3	12 40.0	1 3.3
	20～29歳	110 100.0	30 27.3	34 30.9	43 39.1	3 2.7
	30～39歳	176 100.0	44 25.0	50 28.4	70 39.8	12 6.8
	40～49歳	146 100.0	58 39.7	36 24.7	47 32.2	5 3.4
	50～59歳	203 100.0	103 50.7	46 22.7	51 25.1	3 1.5
	60歳以上	428 100.0	264 61.7	72 16.8	71 16.6	21 4.9

		調査数 (N)	当然のことと思う	なだお いけかし と反対し て思う もう仕 方が分	間違っ ている と思う	無回 答
全 体		1120 100.0	118 10.5	167 14.9	780 69.6	55 4.9
性 別	男性	509 100.0	63 12.4	79 15.5	351 69.0	16 3.1
	女性	583 100.0	51 8.7	84 14.4	413 70.8	35 6.0
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	3 10.0	5 16.7	22 73.3	- -
	20～29歳	110 100.0	13 11.8	18 16.4	76 69.1	3 2.7
	30～39歳	176 100.0	12 6.8	25 14.2	129 73.3	10 5.7
	40～49歳	146 100.0	12 8.2	25 17.1	106 72.6	3 2.1
	50～59歳	203 100.0	19 9.4	27 13.3	153 75.4	4 2.0
	60歳以上	428 100.0	55 12.9	63 14.7	279 65.2	31 7.2

性別で見ると、「当然のことと思う」の割合は、〔③長男にはほかの子どもとは異なる特別な役割がある〕、〔⑧外国人の中でも、欧米人とアジア人とでは対応が変わる〕は男性が、〔②結婚相手を選ぶときは、家柄などのつりあいを気にする〕、〔⑦夫を「主人」、

妻を「家内」と呼ぶ〕は女性が、それぞれ3ポイント以上高くなっている。また、〔①「大安」「仏滅」などを気にする〕、〔④「長いものに巻かれる」は人生を送る上での知恵である〕、〔⑤「出る杭は打たれる」ということをわきまえて行動する〕は、「当然のことと思う」の割合はそれほど差がないが、「間違っていると思う」の割合は男性のほうが高くなっている。

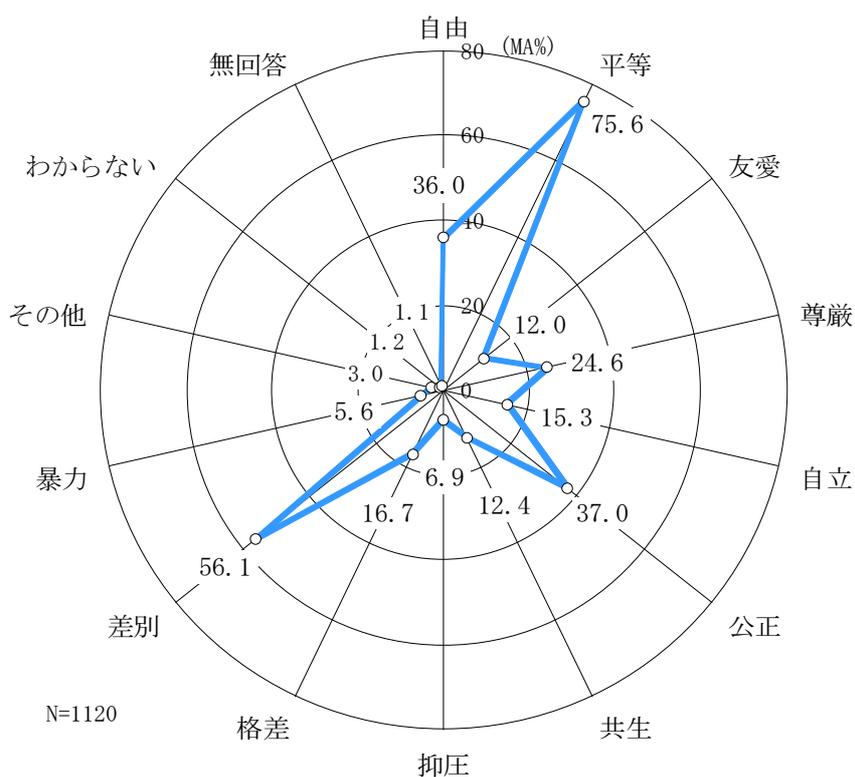
年齢別でみると、〔⑦夫を「主人」、妻を「家内」と呼ぶ〕は、「当然のことと思う」の割合が50歳以上では50%を超えているのに対し、20～39歳では30%以下と差が大きくなっている。また、〔①「大安」「仏滅」などを気にする〕、〔④「長いものに巻かれる」は人生を送る上での知恵である〕は、16～19歳の「間違っていると思う」の割合が高くなっている。(図表2-1-1)

3. 人権についての意識や考え方

(1) 「人権」から連想する言葉

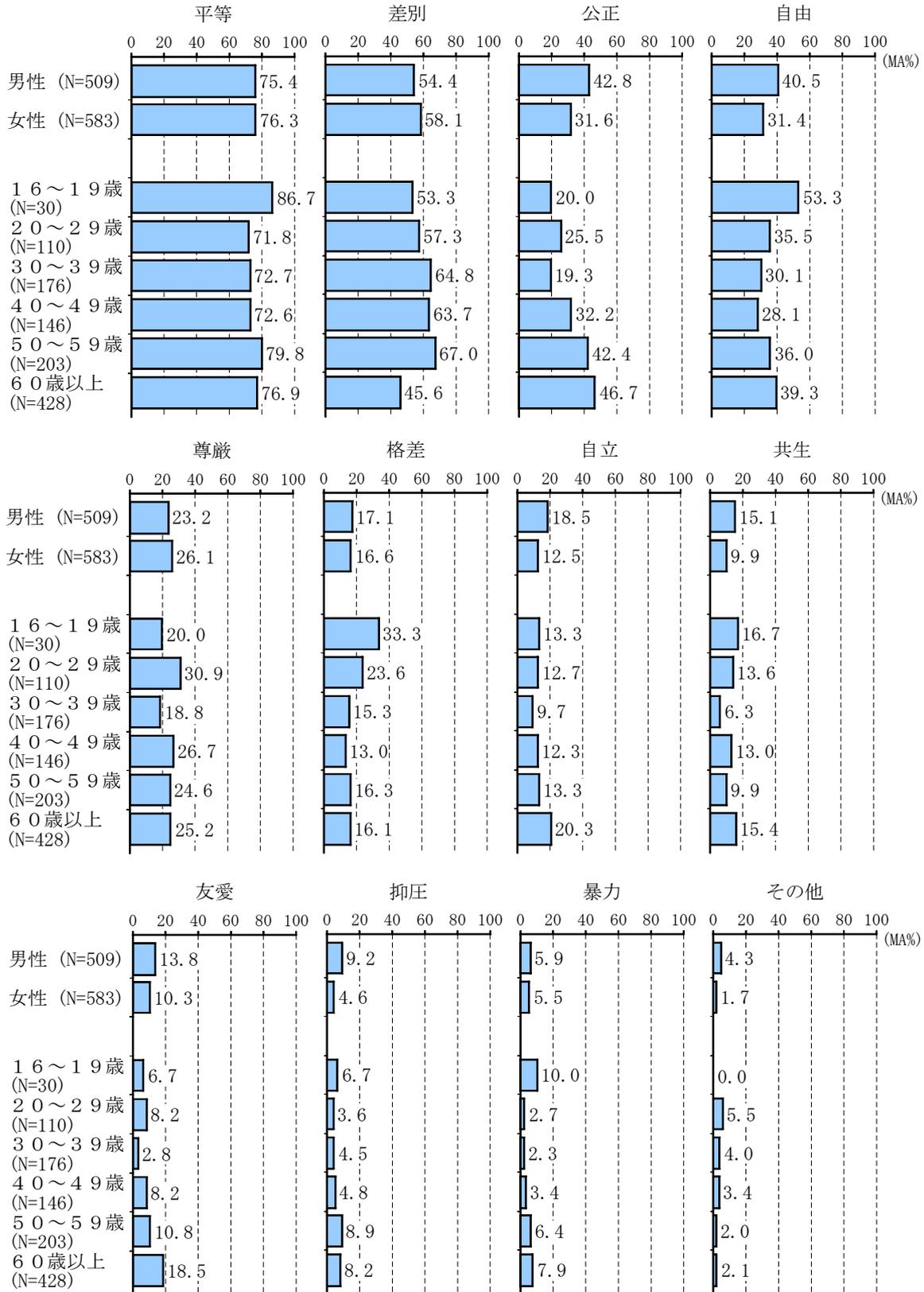
問2. あなたは、「人権」から連想する言葉はどれですか。次にあげる言葉の中から、あまり深く考えず、感じたままをお答えください（〇はいくつでも）。

【図表3-1 「人権」から連想する言葉】

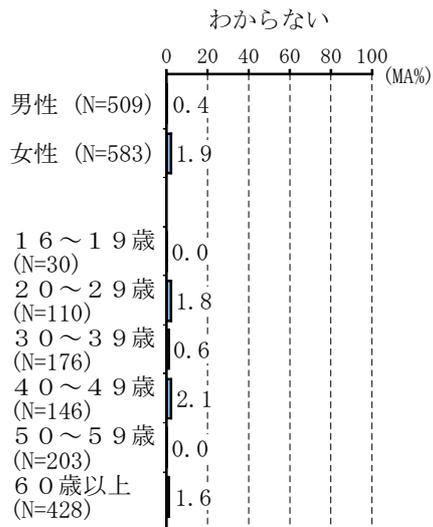


「人権」から連想する言葉は、「平等」が75.6%で最も多く、次いで「差別」(56.1%)、「公正」(37.0%)、「自由」(36.0%)の順となっている。(図表3-1)

【図表3-1-1 性別・年齢別 「人権」から連想する言葉①】



【図表 3-1-1 性別・年齢別 「人権」から連想する言葉②】



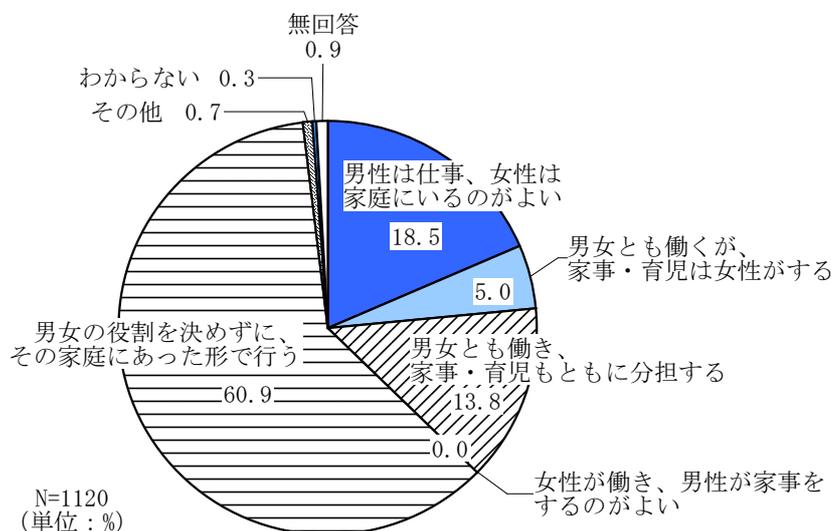
性別で見ると、男性のほうが割合の高い項目が多く、中でも「公正」、「自由」で9ポイント以上の差がついている。

年齢別で見ると、「友愛」、「公正」の割合は高年層のほうが高く、「格差」の割合は若年層のほうが高い傾向にある。(図表 3-1-1)

(2) 男女の役割分担についての考え

問3. 仕事と家庭に関する男女の役割分担について、あなたのお考えに近いものはどれですか（○は1つ）。

【図表3-2 男女の役割分担についての考え】



仕事と家庭に関する男女の役割分担についての考えをみると、「男女の役割を決めずに、その家庭にあった形で行う」が60.9%と過半数を占め、以下「男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい」（18.5%）、「男女とも働き、家事・育児もともに分担する」（13.8%）の順で続いている。（図表3-2）

【図表3-2-1 男女の役割分担についての考え<過去の調査との比較>】

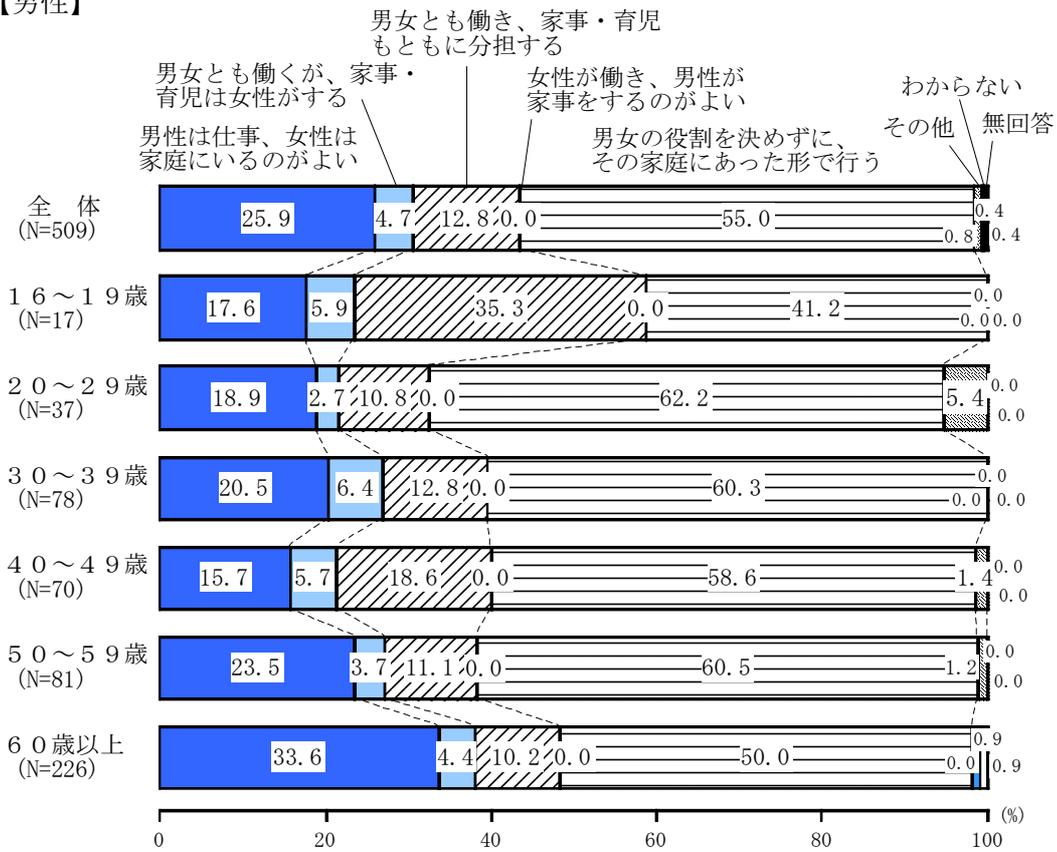
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	男性は仕事、女性が家庭にいるのがよい	男女とも働き、家事・育児もともに分担する	女性が働き、男性が家事をするのがよい	男女とも働くが、家事・育児は女性がする	男女の役割を決めずに、その家庭にあった形で行う	その他	わからない	無回答
2006年度 (平成18年度)	1120	207	56	154	-	682	8	3	10
	100.0	18.5	5.0	13.8	-	60.9	0.7	0.3	0.9
1998年度 (平成10年度)	1116	166	38	212	-	677	6	9	8
	100.0	14.9	3.4	19.0	-	60.7	0.5	0.8	0.7

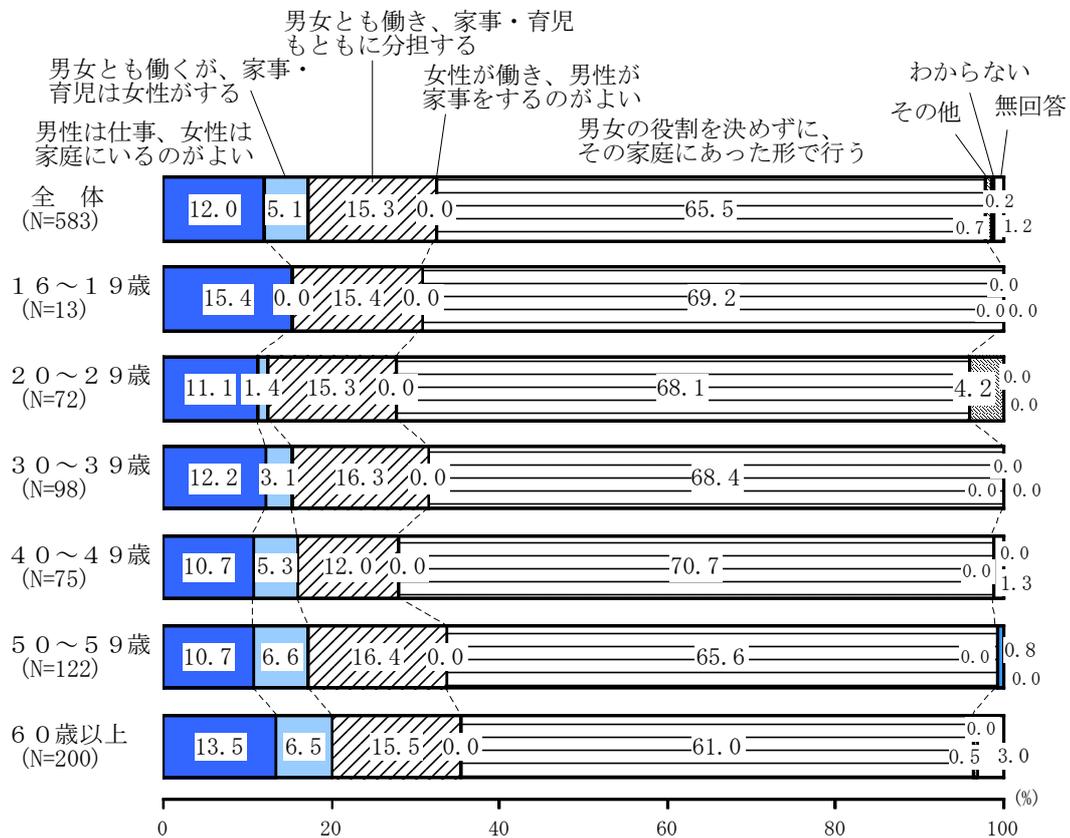
前回調査と比較すると、「男女の役割を決めずに、その家庭にあった形で行う」の割合はほとんど変わらないが、「男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい」の割合は3.6ポイント上昇し、「男女とも働き、家事・育児もともに分担する」の割合は5.2ポイント低下している。また、「男女とも働くが、家事・育児は女性がする」の割合も、やや上昇している。（図表3-2-1）

【図表3-2-2 性・年齢別 男女の役割分担についての考え】

【男性】



【女性】



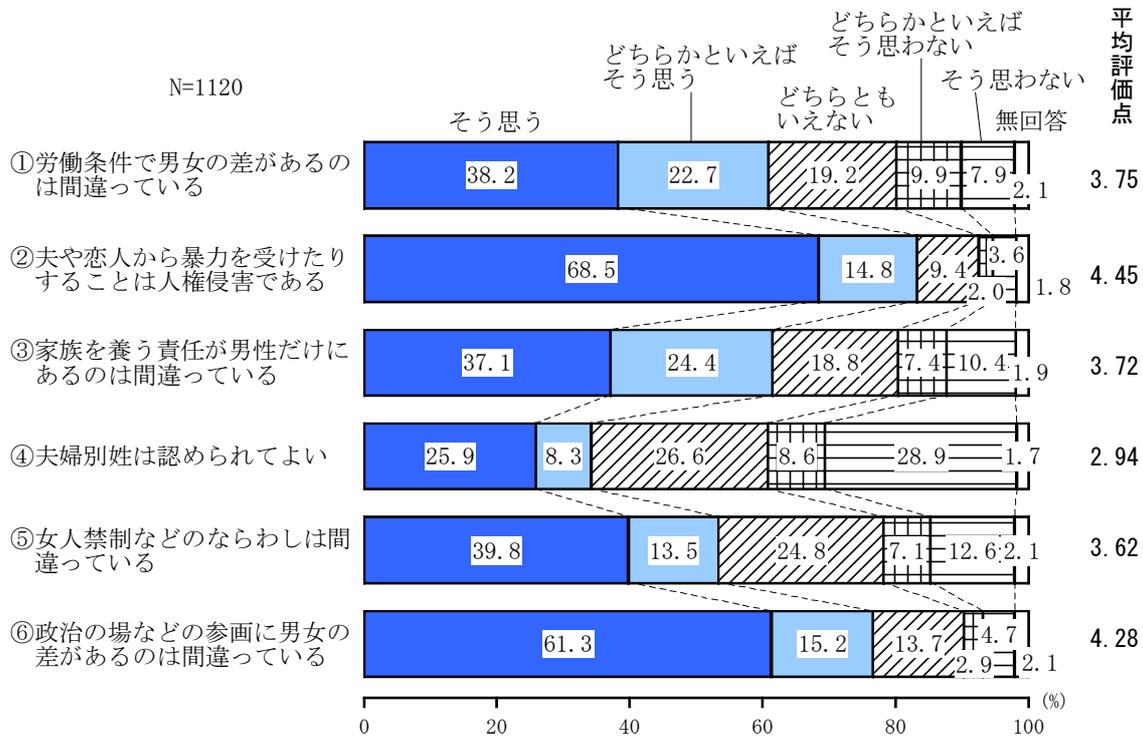
性別で見ると、男性は「男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい」の割合が25.9%と、女性（12.0%）に比べ2倍以上高くなっている。年齢別では、「男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい」の割合は60歳以上で、「男女とも働き、家事・育児もともに分担する」の割合は16～19歳で、それぞれ高くなっている。

一方、女性は「男女の役割を決めずに、その家庭にあった形で行う」の割合が男性よりも10ポイント以上高くなっている。年齢別では、男性ほどはっきりとした差は表れていないが、「男女とも働くが、家事・育児は女性がする」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。（図表3-2-2）

(3) 男女に関わる事柄についての考え

問4. あなたは次にあげる男女に関わる事柄についてどのように思いますか。①～⑥のそれぞれについて、あなたのお考えに近いところに○をつけてください（○はそれぞれ1つずつ）。

【図表3-3 男女に関わる事柄についての考え】



(平均評価点について)
 「そう思う」に5点、「どちらかといえばそう思う」に4点、「どちらともいえない」に3点、「どちらかといえばそう思わない」に2点、「そう思わない」に1点を与え、「無回答」を除いて平均評価点を算出した。得点が高いほど肯定的態度を、得点が低いほど否定的態度を表している。

男女に関わる事柄についての考えをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意見は〔②夫や恋人から暴力を受けたりすることは人権侵害である〕が83.3%で最も高く、次いで〔⑥政治の場などの参画に男女の差があるのは間違っている〕(76.5%)の順となっている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意見は〔④夫婦別姓は認められてよい〕が37.5%で最も高く、次いで〔⑤女人禁制などのならわしは間違っている〕(19.7%)の順となっている。

平均評価点でも、〔②夫や恋人から暴力を受けたりすることは人権侵害である〕が4.45で最も高く、〔④夫婦別姓は認められてよい〕が2.94で最も低くなっている。(図表3-3)

【図表3-3-1 性・年齢別 男女に関わる事柄についての考え①】

【男性】

①労働条件で男女の差があるのは間違っている

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	思 わ な い ど ち ら か と い え ば そ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	509 100.0	174 34.2	111 21.8	100 19.6	67 13.2	53 10.4	4 0.8	3.57
16～19歳	17 100.0	10 58.8	2 11.8	3 17.6	1 5.9	1 5.9	-	4.12
20～29歳	37 100.0	18 48.6	7 18.9	7 18.9	3 8.1	2 5.4	-	3.97
30～39歳	78 100.0	31 39.7	16 20.5	14 17.9	9 11.5	7 9.0	1 1.3	3.71
40～49歳	70 100.0	19 27.1	17 24.3	18 25.7	11 15.7	5 7.1	-	3.49
50～59歳	81 100.0	22 27.2	17 21.0	15 18.5	16 19.8	11 13.6	-	3.28
60歳以上	226 100.0	74 32.7	52 23.0	43 19.0	27 11.9	27 11.9	3 1.3	3.53

②夫や恋人から暴力を受けたりすることは人権侵害である
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	思 わ な い ど ち ら か と い え ば そ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	509 100.0	305 59.9	91 17.9	68 13.4	15 2.9	26 5.1	4 0.8	4.26
16～19歳	17 100.0	7 41.2	5 29.4	3 17.6	2 11.8	-	-	4.00
20～29歳	37 100.0	21 56.8	6 16.2	5 13.5	2 5.4	3 8.1	-	4.08
30～39歳	78 100.0	48 61.5	9 11.5	8 10.3	2 2.6	10 12.8	1 1.3	4.08
40～49歳	70 100.0	42 60.0	11 15.7	12 17.1	1 1.4	4 5.7	-	4.23
50～59歳	81 100.0	44 54.3	17 21.0	12 14.8	3 3.7	4 4.9	1 1.2	4.18
60歳以上	226 100.0	143 63.3	43 19.0	28 12.4	5 2.2	5 2.2	2 0.9	4.40

③家族を養う責任が男性だけにあるのは間違っている

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	思 わ な い ど ち ら か と い え ば そ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	509 100.0	159 31.2	108 21.2	109 21.4	43 8.4	83 16.3	7 1.4	3.43
16～19歳	17 100.0	6 35.3	3 17.6	6 35.3	1 5.9	1 5.9	-	3.71
20～29歳	37 100.0	18 48.6	7 18.9	4 10.8	6 16.2	2 5.4	-	3.89
30～39歳	78 100.0	20 25.6	13 16.7	18 23.1	6 7.7	20 25.6	1 1.3	3.09
40～49歳	70 100.0	21 30.0	15 21.4	20 28.6	5 7.1	9 12.9	-	3.49
50～59歳	81 100.0	24 29.6	19 23.5	13 16.0	10 12.3	15 18.5	-	3.33
60歳以上	226 100.0	70 31.0	51 22.6	48 21.2	15 6.6	36 15.9	6 2.7	3.47

④夫婦別姓は認められてよい

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	思 わ な い ど ち ら か と い え ば そ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	509 100.0	125 24.6	40 7.9	112 22.0	44 8.6	184 36.1	4 0.8	2.76
16～19歳	17 100.0	2 11.8	1 5.9	5 29.4	1 5.9	8 47.1	-	2.29
20～29歳	37 100.0	11 29.7	9 24.3	5 13.5	2 5.4	10 27.0	-	3.24
30～39歳	78 100.0	16 20.5	7 9.0	19 24.4	5 6.4	30 38.5	1 1.3	2.66
40～49歳	70 100.0	22 31.4	6 8.6	19 27.1	7 10.0	16 22.9	-	3.16
50～59歳	81 100.0	21 25.9	4 4.9	16 19.8	5 6.2	35 43.2	-	2.64
60歳以上	226 100.0	53 23.5	13 5.8	48 21.2	24 10.6	85 37.6	3 1.3	2.66

⑤女人禁制などのならわしは間違っている

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	思 わ な い ど ち ら か と い え ば そ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	509 100.0	198 38.9	60 11.8	113 22.2	41 8.1	91 17.9	6 1.2	3.46
16～19歳	17 100.0	9 52.9	4 23.5	3 17.6	1 5.9	-	-	4.24
20～29歳	37 100.0	9 24.3	7 18.9	10 27.0	6 16.2	5 13.5	-	3.24
30～39歳	78 100.0	19 24.4	8 10.3	23 29.5	6 7.7	21 26.9	1 1.3	2.97
40～49歳	70 100.0	26 37.1	8 11.4	20 28.6	7 10.0	8 11.4	1 1.4	3.54
50～59歳	81 100.0	33 40.7	10 12.3	15 18.5	9 11.1	13 16.0	1 1.2	3.51
60歳以上	226 100.0	102 45.1	23 10.2	42 18.6	12 5.3	44 19.5	3 1.3	3.57

⑥政治の場などの参画に男女の差があるのは間違っている
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	思 わ な い ど ち ら か と い え ば そ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	509 100.0	316 62.1	63 12.4	69 13.6	20 3.9	35 6.9	6 1.2	4.20
16～19歳	17 100.0	10 58.8	4 23.5	2 11.8	-	1 5.9	-	4.29
20～29歳	37 100.0	20 54.1	7 18.9	5 13.5	1 2.7	3 8.1	1 2.7	4.11
30～39歳	78 100.0	49 62.8	9 11.5	11 14.1	3 3.8	5 6.4	1 1.3	4.22
40～49歳	70 100.0	45 64.3	10 14.3	13 18.6	1 1.4	1 1.4	-	4.39
50～59歳	81 100.0	55 67.9	7 8.6	11 13.6	3 3.7	5 6.2	-	4.28
60歳以上	226 100.0	137 60.6	26 11.5	27 11.9	12 5.3	20 8.8	4 1.8	4.12

【図表3-3-1 性・年齢別 男女に関わる事柄についての考え②】

【女性】

①労働条件で男女の差があるのは間違っている

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	583 100.0	243 41.7	136 23.3	110 18.9	44 7.5	33 5.7	17 2.9	3.90
16～19歳	13 100.0	7 53.8	3 23.1	2 15.4	1 7.7	-	-	4.23
20～29歳	72 100.0	48 66.7	15 20.8	4 5.6	2 2.8	3 4.2	-	4.43
30～39歳	98 100.0	52 53.1	21 21.4	14 14.3	5 5.1	6 6.1	-	4.10
40～49歳	75 100.0	38 50.7	13 17.3	14 18.7	7 9.3	2 2.7	1 1.3	4.05
50～59歳	122 100.0	42 34.4	29 23.8	32 26.2	12 9.8	5 4.1	2 1.6	3.76
60歳以上	200 100.0	54 27.0	55 27.5	43 21.5	17 8.5	17 8.5	14 7.0	3.60

②夫や恋人から暴力を受けたりすることは人権侵害である
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	583 100.0	444 76.2	73 12.5	34 5.8	7 1.2	12 2.1	13 2.2	4.63
16～19歳	13 100.0	10 76.9	1 7.7	1 7.7	1 7.7	-	-	4.54
20～29歳	72 100.0	52 72.2	7 9.7	8 11.1	-	5 6.9	-	4.40
30～39歳	98 100.0	75 76.5	17 17.3	3 3.1	-	2 2.0	1 1.0	4.68
40～49歳	75 100.0	57 76.0	9 12.0	4 5.3	2 2.7	2 2.7	1 1.3	4.58
50～59歳	122 100.0	98 80.3	14 11.5	7 5.7	1 0.8	2 1.6	-	4.68
60歳以上	200 100.0	150 75.0	25 12.5	11 5.5	3 1.5	1 0.5	10 5.0	4.68

③家族を養う責任が男性だけにあるのは間違っている

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	583 100.0	243 41.7	161 27.6	96 16.5	38 6.5	32 5.5	13 2.2	3.96
16～19歳	13 100.0	8 61.5	2 15.4	2 15.4	1 7.7	-	-	4.31
20～29歳	72 100.0	30 41.7	28 38.9	6 8.3	6 8.3	2 2.8	-	4.08
30～39歳	98 100.0	39 39.8	23 23.5	19 19.4	6 6.1	10 10.2	1 1.0	3.77
40～49歳	75 100.0	27 36.0	24 32.0	14 18.7	4 5.3	5 6.7	1 1.3	3.86
50～59歳	122 100.0	60 49.2	28 23.0	21 17.2	7 5.7	6 4.9	-	4.06
60歳以上	200 100.0	79 39.5	55 27.5	33 16.5	14 7.0	9 4.5	10 5.0	3.95

④夫婦別姓は認められてよい

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	583 100.0	158 27.1	52 8.9	178 30.5	51 8.7	131 22.5	13 2.2	3.10
16～19歳	13 100.0	5 38.5	-	7 53.8	-	1 7.7	-	3.62
20～29歳	72 100.0	20 27.8	11 15.3	17 23.6	9 12.5	15 20.8	-	3.17
30～39歳	98 100.0	36 36.7	7 7.1	34 34.7	9 9.2	12 12.2	-	3.47
40～49歳	75 100.0	18 24.0	9 12.0	28 37.3	8 10.7	11 14.7	1 1.3	3.20
50～59歳	122 100.0	36 29.5	10 8.2	45 36.9	8 6.6	23 18.9	-	3.23
60歳以上	200 100.0	43 21.5	15 7.5	46 23.0	17 8.5	68 34.0	11 5.5	2.72

⑤女人禁制などのならわしは間違っている

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	583 100.0	234 40.1	85 14.6	162 27.8	38 6.5	48 8.2	16 2.7	3.74
16～19歳	13 100.0	4 30.8	1 7.7	7 53.8	-	1 7.7	-	3.54
20～29歳	72 100.0	29 40.3	10 13.9	17 23.6	8 11.1	8 11.1	-	3.61
30～39歳	98 100.0	36 36.7	14 14.3	33 33.7	5 5.1	10 10.2	-	3.62
40～49歳	75 100.0	32 42.7	11 14.7	16 21.3	9 12.0	4 5.3	3 4.0	3.81
50～59歳	122 100.0	51 41.8	21 17.2	38 31.1	5 4.1	7 5.7	-	3.85
60歳以上	200 100.0	80 40.0	28 14.0	51 25.5	11 5.5	18 9.0	12 6.0	3.75

⑥政治の場などの参画に男女の差があるのは間違っている
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体	583 100.0	356 61.1	101 17.3	80 13.7	12 2.1	18 3.1	16 2.7	4.35
16～19歳	13 100.0	7 53.8	3 23.1	2 15.4	1 7.7	-	-	4.23
20～29歳	72 100.0	53 73.6	9 12.5	7 9.7	2 2.8	-	1 1.4	4.59
30～39歳	98 100.0	58 59.2	19 19.4	14 14.3	1 1.0	4 4.1	2 2.0	4.31
40～49歳	75 100.0	48 64.0	15 20.0	9 12.0	1 1.3	1 1.3	1 1.3	4.46
50～59歳	122 100.0	79 64.8	19 15.6	18 14.8	3 2.5	3 2.5	-	4.38
60歳以上	200 100.0	110 55.0	35 17.5	30 15.0	4 2.0	10 5.0	11 5.5	4.22

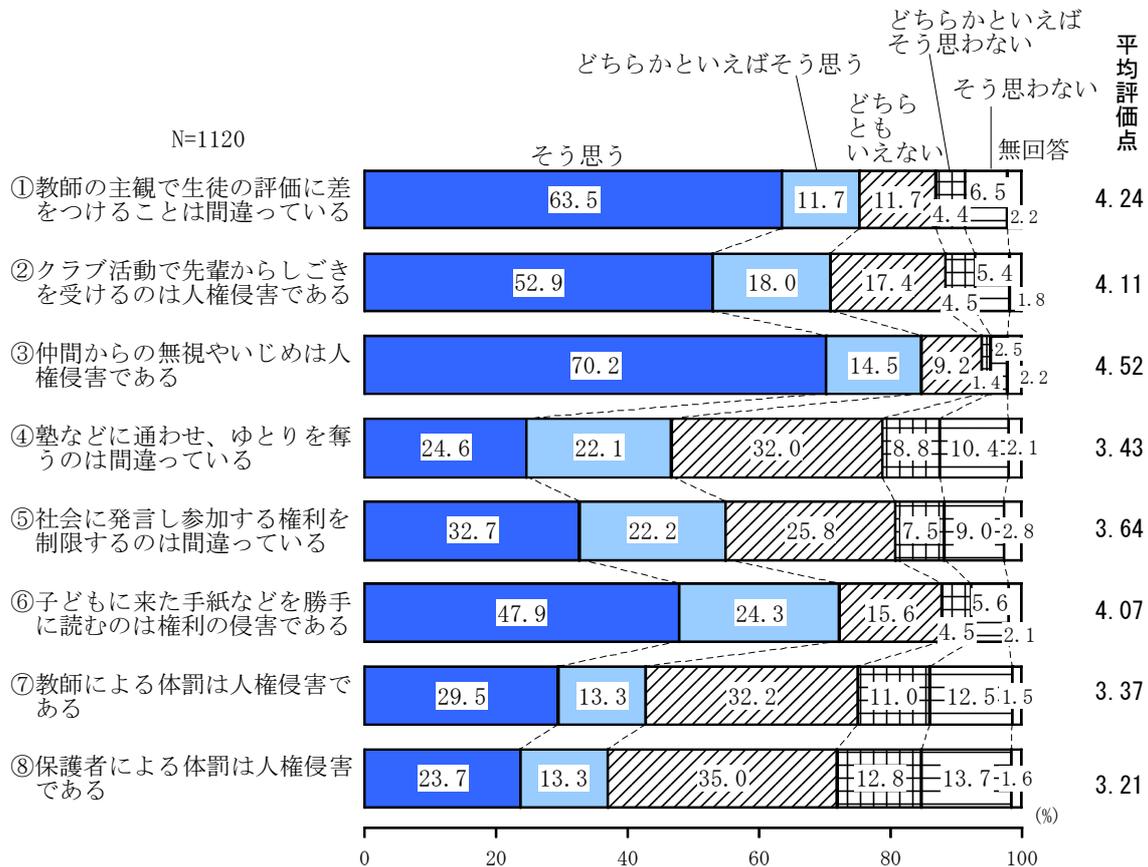
平均評価点をみると、男性は、すべての項目において女性よりも低くなっている。年齢別では、〔①労働条件で男女の差があるのは間違っている〕は若年層のほうが高く、〔②夫や恋人から暴力を受けたりすることは人権侵害である〕は高年層のほうがやや高い傾向にある。

一方、女性はすべての項目において男性よりも平均評価点が高く、中でも〔③家族を養う責任が男性だけにあるのは間違っている〕、〔①労働条件で男女の差があるのは間違っている〕で差が大きくなっている。年齢別では、男性同様、〔①労働条件で男女の差があるのは間違っている〕は若年層のほうが高くなっている。(図表3-3-1)

(4) 子どもに関わる事柄についての考え

問5. あなたは、次にあげる子どもに関わる事柄についてどのように思いますか。①～⑧のそれぞれについて、あなたのお考えに近いところに○をつけてください（○はそれぞれ1つずつ）。

【図表3-4 子どもに関わる事柄についての考え】



(平均評価点について)

「そう思う」に5点、「どちらかといえばそう思う」に4点、「どちらともいえない」に3点、「どちらかといえばそう思わない」に2点、「そう思わない」に1点を与え、「無回答」を除いて平均評価点を算出した。得点が高いほど肯定的態度を、得点が高いほど否定的態度を表している。

子どもに関わる事柄についての考えをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意見は〔③仲間からの無視やいじめは人権侵害である〕が84.7%で最も高く、次いで〔①教師の主観で生徒の評価に差をつけることは間違っている〕(75.2%)、〔⑥子どもにきた手紙などを勝手に読むのは権利の侵害である〕(72.2%)の順となっている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意見は〔⑧保護者による体罰は人権侵害である〕が26.4%で最も高く、次いで〔⑦教師による体罰は人権侵害である〕(23.5%)、〔④塾などに通わせ、ゆとりを奪うのは間違っている〕(19.2%)の順となっている。

平均評価点でも、〔③仲間からの無視やいじめは人権侵害である〕が4.52で最も高く、〔⑧保護者による体罰は人権侵害である〕が3.21で最も低くなっている。(図表3-4)

【図表3-4-1 性別・年齢別 子どもに関わる事柄についての考え①】

①教師の主観で生徒の評価に差をつけることは間違っている

②クラブ活動で先輩からしごきを受けるのは人権侵害である

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	711 63.5	131 11.7	131 11.7	49 4.4	73 6.5	25 2.2	4.24	
性別	男性	509 100.0	295 58.0	61 12.0	61 12.0	34 6.7	49 9.6	1.8	4.04
	女性	583 100.0	399 68.4	69 11.8	66 11.3	14 2.4	22 3.8	13 2.2	4.42
年齢別	16～19歳	30 100.0	16 53.3	7 23.3	6 20.0	- -	1 3.3	- -	4.23
	20～29歳	110 100.0	69 62.7	15 13.6	16 14.5	2 1.8	8 7.3	- -	4.23
	30～39歳	176 100.0	120 68.2	18 10.2	17 9.7	6 3.4	14 8.0	1 0.6	4.28
	40～49歳	146 100.0	107 73.3	15 10.3	13 8.9	6 4.1	3 2.1	2 1.4	4.51
	50～59歳	203 100.0	123 60.6	30 14.8	30 14.8	9 4.4	9 4.4	2 1.0	4.24
	60歳以上	428 100.0	261 61.0	44 10.3	45 10.5	25 5.8	36 8.4	17 4.0	4.14

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	593 52.9	202 18.0	195 17.4	50 4.5	60 5.4	20 1.8	4.11	
性別	男性	509 100.0	229 45.0	96 18.9	106 20.8	30 5.9	43 8.4	5 1.0	3.87
	女性	583 100.0	347 59.5	104 17.8	83 14.2	20 3.4	16 2.7	13 2.2	4.31
年齢別	16～19歳	30 100.0	17 56.7	7 23.3	2 6.7	3 10.0	1 3.3	- -	4.20
	20～29歳	110 100.0	49 44.5	28 25.5	18 16.4	8 7.3	6 5.5	1 0.9	3.97
	30～39歳	176 100.0	86 48.9	32 18.2	36 20.5	9 5.1	12 6.8	1 0.6	3.98
	40～49歳	146 100.0	77 52.7	24 16.4	26 17.8	6 4.1	11 7.5	2 1.4	4.04
	50～59歳	203 100.0	106 52.2	38 18.7	43 21.2	7 3.4	9 4.4	- -	4.11
	60歳以上	428 100.0	241 56.3	71 16.6	64 15.0	17 4.0	20 4.7	15 3.5	4.20

③仲間からの無視やいじめは人権侵害である

④塾などに通わせ、ゆとりを奪うのは間違っている

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	786 70.2	162 14.5	103 9.2	16 1.4	28 2.5	25 2.2	4.52	
性別	男性	509 100.0	329 64.6	82 16.1	58 11.4	11 2.2	19 3.7	10 2.0	4.38
	女性	583 100.0	436 74.8	78 13.4	44 7.5	5 0.9	7 1.2	13 2.2	4.63
年齢別	16～19歳	30 100.0	21 70.0	7 23.3	2 6.7	- -	- -	- -	4.63
	20～29歳	110 100.0	71 64.5	20 18.2	10 9.1	3 2.7	6 5.5	- -	4.34
	30～39歳	176 100.0	118 67.0	27 15.3	21 11.9	2 1.1	6 3.4	2 1.1	4.43
	40～49歳	146 100.0	104 71.2	18 12.3	17 11.6	1 0.7	4 2.7	2 1.4	4.51
	50～59歳	203 100.0	145 71.4	29 14.3	23 11.3	3 1.5	- -	3 1.5	4.58
	60歳以上	428 100.0	307 71.7	59 13.8	30 7.0	6 1.4	9 2.1	17 4.0	4.58

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	276 24.6	248 22.1	358 32.0	98 8.8	116 10.4	24 2.1	3.43	
性別	男性	509 100.0	135 26.5	111 21.8	140 27.5	50 9.8	67 13.2	6 1.2	3.39
	女性	583 100.0	136 23.3	133 22.8	206 35.3	47 8.1	46 7.9	15 2.6	3.47
年齢別	16～19歳	30 100.0	8 26.7	13 43.3	7 23.3	- -	2 6.7	- -	3.83
	20～29歳	110 100.0	28 25.5	24 21.8	41 37.3	9 8.2	7 6.4	1 0.9	3.52
	30～39歳	176 100.0	37 21.0	45 25.6	58 33.0	19 10.8	15 8.5	2 1.1	3.40
	40～49歳	146 100.0	29 19.9	26 17.8	62 42.5	12 8.2	16 11.0	1 0.7	3.28
	50～59歳	203 100.0	49 24.1	51 25.1	73 36.0	17 8.4	13 6.4	- -	3.52
	60歳以上	428 100.0	119 27.8	85 19.9	107 25.0	39 9.1	60 14.0	18 4.2	3.40

⑤社会に発言し参加する権利を制限するのは間違っている

⑥子どもに來た手紙などを勝手に読むのは権利の侵害である

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	366 32.7	249 22.2	289 25.8	84 7.5	101 9.0	31 2.8	3.64	
性別	男性	509 100.0	181 35.6	108 21.2	106 20.8	42 8.3	63 12.4	9 1.8	3.60
	女性	583 100.0	173 29.7	138 23.7	174 29.8	42 7.2	36 6.2	20 3.4	3.66
年齢別	16～19歳	30 100.0	10 33.3	7 23.3	11 36.7	1 3.3	1 3.3	- -	3.80
	20～29歳	110 100.0	39 35.5	22 20.0	24 21.8	14 12.7	10 9.1	1 0.9	3.61
	30～39歳	176 100.0	53 30.1	46 26.1	50 28.4	11 6.3	15 8.5	1 0.6	3.63
	40～49歳	146 100.0	44 30.1	34 23.3	37 25.3	16 11.0	13 8.9	2 1.4	3.56
	50～59歳	203 100.0	73 36.0	46 22.7	47 23.2	19 9.4	17 8.4	1 0.5	3.69
	60歳以上	428 100.0	135 31.5	91 21.3	112 26.2	23 5.4	42 9.8	25 5.8	3.63

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	537 47.9	272 24.3	175 15.6	50 4.5	63 5.6	23 2.1	4.07	
性別	男性	509 100.0	246 48.3	122 24.0	73 14.3	25 4.9	38 7.5	5 1.0	4.02
	女性	583 100.0	278 47.7	147 25.2	98 16.8	23 3.9	22 3.8	15 2.6	4.12
年齢別	16～19歳	30 100.0	15 50.0	9 30.0	3 10.0	3 10.0	- -	- -	4.20
	20～29歳	110 100.0	54 49.1	28 25.5	17 15.5	6 5.5	5 4.5	- -	4.09
	30～39歳	176 100.0	61 34.7	58 33.0	37 21.0	4 2.3	14 8.0	2 1.1	3.85
	40～49歳	146 100.0	58 39.7	32 21.9	34 23.3	9 6.2	12 8.2	1 0.7	3.79
	50～59歳	203 100.0	107 52.7	52 25.6	26 12.8	10 4.9	8 3.9	- -	4.18
	60歳以上	428 100.0	229 53.5	89 20.8	55 12.9	16 3.7	22 5.1	17 4.0	4.18

【図表3-4-1 性別・年齢別 子どもに関わる事柄についての考え②】

⑦教師による体罰は人権侵害である

⑧保護者による体罰は人権侵害である

		調査数 (N)	そう思う	どちらか といえば	どちらとも いえない	どちらか といえな い	そう 思わない	無 回答	平均 評価 点	(上段：人、下段：%)							
		調査数 (N)	そう思う	どちらか といえば	どちらとも いえない	どちらか といえな い	そう 思わない	無 回答	平均 評価 点	調査数 (N)	そう思う	どちらか といえば	どちらとも いえない	どちらか といえな い	そう 思わない	無 回答	平均 評価 点
全	体	1120 100.0	330 29.5	149 13.3	361 32.2	123 11.0	140 12.5	17 1.5	3.37	1120 100.0	265 23.7	149 13.3	392 35.0	143 12.8	153 13.7	18 1.6	3.21
性	男	509 100.0	128 25.1	54 10.6	149 29.3	82 16.1	91 17.9	5 1.0	3.09	509 100.0	105 20.6	62 12.2	153 30.1	84 16.5	99 19.4	6 1.2	2.98
	女	583 100.0	194 33.3	91 15.6	208 35.7	34 5.8	46 7.9	10 1.7	3.62	583 100.0	152 26.1	83 14.2	232 39.8	55 9.4	51 8.7	10 1.7	3.40
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	12 40.0	4 13.3	9 30.0	3 10.0	2 6.7	-	3.70	30 100.0	11 36.7	4 13.3	11 36.7	2 6.7	2 6.7	-	3.67
	20～29歳	110 100.0	33 30.0	21 19.1	35 31.8	12 10.9	9 8.2	-	3.52	110 100.0	25 22.7	15 13.6	46 41.8	15 13.6	9 8.2	-	3.29
	30～39歳	176 100.0	49 27.8	22 12.5	56 31.8	29 16.5	19 10.8	1 0.6	3.30	176 100.0	43 24.4	27 15.3	56 31.8	25 14.2	24 13.6	1 0.6	3.23
	40～49歳	146 100.0	42 28.8	16 11.0	54 37.0	14 9.6	19 13.0	1 0.7	3.33	146 100.0	33 22.6	16 11.0	54 37.0	22 15.1	20 13.7	1 0.7	3.14
	50～59歳	203 100.0	48 23.6	25 12.3	85 41.9	24 11.8	21 10.3	-	3.27	203 100.0	45 22.2	18 8.9	89 43.8	26 12.8	24 11.8	1 0.5	3.17
	60歳以上	428 100.0	138 32.2	57 13.3	116 27.1	36 8.4	67 15.7	14 3.3	3.39	428 100.0	100 23.4	64 15.0	128 29.9	51 11.9	71 16.6	14 3.3	3.17

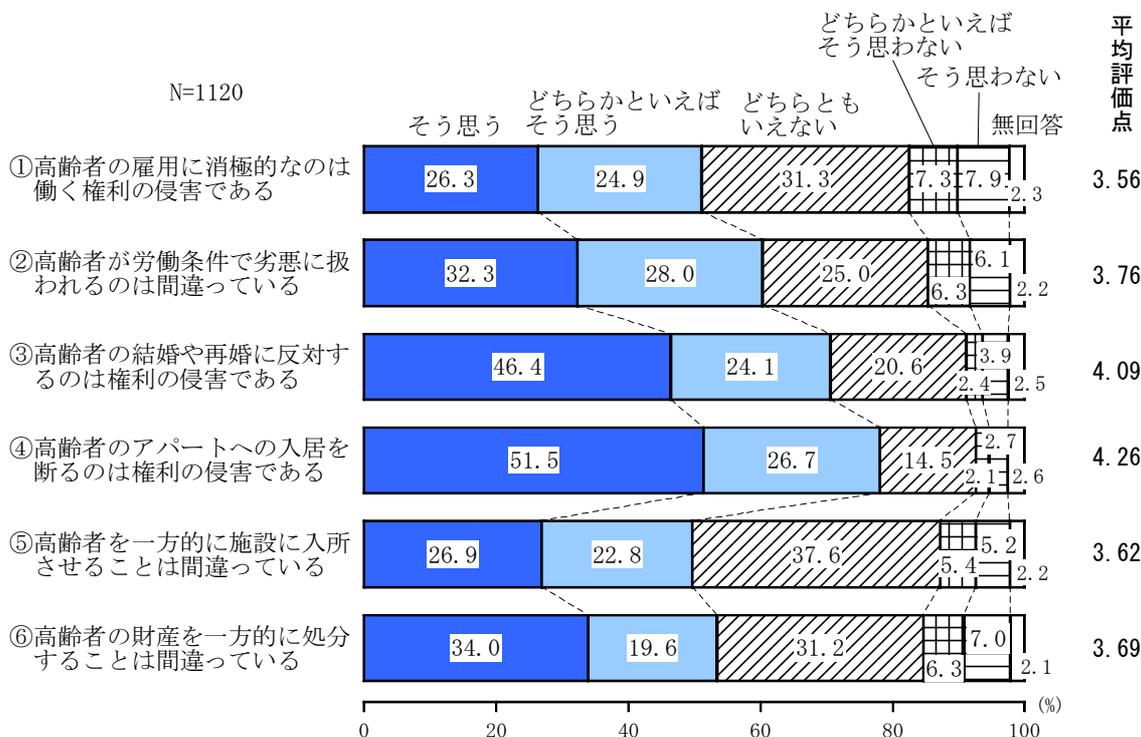
性別で平均評価点をみると、すべての項目において女性のほうが高く、中でも〔⑦教師による体罰は人権侵害である〕、〔②クラブ活動で先輩からしごきを受けるのは人権侵害である〕、〔⑧保護者による体罰は人権侵害である〕で差が大きくなっている。

年齢別で平均評価点をみると、〔⑦教師による体罰は人権侵害である〕、〔⑧保護者による体罰は人権侵害である〕は若年層のほうが高い傾向にある。また、〔④塾などに通わせ、ゆとりを奪うのは間違っている〕、〔⑤社会に発言し参加する権利を制限するのは間違っている〕、〔⑥子どもにきた手紙などを勝手に読むのは権利の侵害である〕、〔⑧保護者による体罰は人権侵害である〕は40～49歳が最も低くなっている。(図表3-4-1)

(5) 高齢者に関わる事柄についての考え

問6. あなたは、次にあげる高齢者に関わる事柄についてどのように思いますか。①～⑥のそれぞれについて、あなたのお考えに近いところに○をつけてください(○はそれぞれ1つずつ)。

【図表3-5 高齢者に関わる事柄についての考え】



(平均評価点について)

「そう思う」に5点、「どちらかといえばそう思う」に4点、「どちらともいえない」に3点、「どちらかといえばそう思わない」に2点、「そう思わない」に1点を与え、「無回答」を除いて平均評価点を算出した。得点が高いほど肯定的態度を、得点が低いほど否定的態度を表している。

高齢者に関わる事柄についての考えをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意見は〔④高齢者のアパートへの入居を断るのは権利の侵害である〕が78.2%で最も高く、次いで〔③高齢者の結婚や再婚に反対するのは権利の侵害である〕(70.5%)の順となっている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意見は〔①高齢者の雇用に消極的なのは働く権利の侵害である〕が15.2%で最も高く、次いで〔⑥高齢者の財産を一方的に処分することは間違っている〕(13.3%)の順となっている。

平均評価点でも、〔④高齢者のアパートへの入居を断るのは権利の侵害である〕が4.26で最も高く、〔①高齢者の雇用に消極的なのは働く権利の侵害である〕が3.56で最も低くなっている。(図表3-5)

【図表3-5-1 性別・年齢別 高齢者に関わる事柄についての考え】

①高齢者の雇用に消極的なのは働く権利の侵害である

		調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	295 26.3	279 24.9	350 31.3	82 7.3	88 7.9	26 2.3	3.56
性別	男性	509 100.0	122 24.0	105 20.6	157 30.8	54 10.6	62 12.2	9 1.8	3.34
	女性	583 100.0	166 28.5	170 29.2	182 31.2	28 4.8	23 3.9	14 2.4	3.75
年齢別	16～19歳	30 100.0	6 20.0	13 43.3	7 23.3	2 6.7	2 6.7	-	3.63
	20～29歳	110 100.0	16 14.5	34 30.9	41 37.3	10 9.1	9 8.2	-	3.35
	30～39歳	176 100.0	44 25.0	39 22.2	61 34.7	11 6.3	20 11.4	1 0.6	3.43
	40～49歳	146 100.0	38 26.0	36 24.7	49 33.6	7 4.8	14 9.6	2 1.4	3.53
	50～59歳	203 100.0	63 31.0	54 26.6	56 27.6	17 8.4	10 4.9	3 1.5	3.72
	60歳以上	428 100.0	122 28.5	97 22.7	126 29.4	35 8.2	30 7.0	18 4.2	3.60

②高齢者が労働条件で劣悪に扱われるのは間違っている

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	362 32.3	314 28.0	280 25.0	71 6.3	68 6.1	25 2.2	3.76
性別	男性	509 100.0	158 31.0	128 25.1	124 24.4	48 9.4	41 8.1	10 2.0	3.63
	女性	583 100.0	197 33.8	183 31.4	144 24.7	22 3.8	24 4.1	13 2.2	3.89
年齢別	16～19歳	30 100.0	10 33.3	8 26.7	6 20.0	3 10.0	3 10.0	-	3.63
	20～29歳	110 100.0	39 35.5	34 30.9	26 23.6	6 5.5	5 4.5	-	3.87
	30～39歳	176 100.0	66 37.5	50 28.4	35 19.9	8 4.5	16 9.1	1 0.6	3.81
	40～49歳	146 100.0	51 34.9	42 28.8	36 24.7	8 5.5	6 4.1	3 2.1	3.87
	50～59歳	203 100.0	64 31.5	69 34.0	46 22.7	11 5.4	10 4.9	3 1.5	3.83
	60歳以上	428 100.0	124 29.0	107 25.0	121 28.3	34 7.9	25 5.8	17 4.0	3.66

③高齢者の結婚や再婚に反対するのは権利の侵害である

		調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	520 46.4	270 24.1	231 20.6	27 2.4	44 3.9	28 2.5	4.09
性別	男性	509 100.0	241 47.3	121 23.8	98 19.3	15 2.9	24 4.7	10 2.0	4.08
	女性	583 100.0	269 46.1	146 25.0	124 21.3	11 1.9	17 2.9	16 2.7	4.13
年齢別	16～19歳	30 100.0	13 43.3	9 30.0	8 26.7	-	-	-	4.17
	20～29歳	110 100.0	58 52.7	27 24.5	20 18.2	1 0.9	4 3.6	-	4.22
	30～39歳	176 100.0	87 49.4	41 23.3	36 20.5	4 2.3	7 4.0	1 0.6	4.13
	40～49歳	146 100.0	79 54.1	30 20.5	26 17.8	6 4.1	3 2.1	2 1.4	4.22
	50～59歳	203 100.0	84 41.4	64 31.5	42 20.7	4 2.0	5 2.5	4 2.0	4.10
	60歳以上	428 100.0	188 43.9	96 22.4	93 21.7	11 2.6	22 5.1	18 4.2	4.02

④高齢者のアパートへの入居を断るのは権利の侵害である

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	577 51.5	299 26.7	162 14.5	23 2.1	30 2.7	29 2.6	4.26
性別	男性	509 100.0	281 55.2	124 24.4	63 12.4	16 3.1	15 2.9	10 2.0	4.28
	女性	583 100.0	284 48.7	169 29.0	95 16.3	6 1.0	12 2.1	17 2.9	4.25
年齢別	16～19歳	30 100.0	11 36.7	11 36.7	5 16.7	1 3.3	1 3.3	-	4.03
	20～29歳	110 100.0	67 60.9	26 23.6	14 12.7	2 1.8	1 0.9	-	4.42
	30～39歳	176 100.0	101 57.4	45 25.6	19 10.8	4 2.3	6 3.4	1 0.6	4.32
	40～49歳	146 100.0	74 50.7	39 26.7	24 16.4	4 2.7	3 2.1	2 1.4	4.23
	50～59歳	203 100.0	94 46.3	70 34.5	28 13.8	2 1.0	4 2.0	5 2.5	4.25
	60歳以上	428 100.0	219 51.2	102 23.8	69 16.1	9 2.1	12 2.8	17 4.0	4.23

⑤高齢者を一方的に施設に入所させることは間違っている

		調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	301 26.9	255 22.8	421 37.6	60 5.4	58 5.2	25 2.2	3.62
性別	男性	509 100.0	143 28.1	123 24.2	182 35.8	30 5.9	21 4.1	10 2.0	3.68
	女性	583 100.0	150 25.7	126 21.6	230 39.5	29 5.0	34 5.8	14 2.4	3.58
年齢別	16～19歳	30 100.0	11 36.7	9 30.0	9 30.0	-	1 3.3	-	3.97
	20～29歳	110 100.0	23 20.9	20 18.2	51 46.4	9 8.2	7 6.4	-	3.39
	30～39歳	176 100.0	42 23.9	38 21.6	79 44.9	7 4.0	9 5.1	1 0.6	3.55
	40～49歳	146 100.0	32 21.9	32 21.9	62 42.5	9 6.2	9 6.2	2 1.4	3.48
	50～59歳	203 100.0	46 22.7	56 27.6	76 37.4	10 4.9	12 5.9	3 1.5	3.57
	60歳以上	428 100.0	139 32.5	93 21.7	136 31.8	25 5.8	17 4.0	15 4.2	3.76

⑥高齢者の財産を一方的に処分することは間違っている

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	381 34.0	219 19.6	349 31.2	70 6.3	78 7.0	23 2.1	3.69
性別	男性	509 100.0	177 34.8	99 19.4	143 28.1	39 7.7	42 8.3	9 1.8	3.66
	女性	583 100.0	193 33.1	117 20.1	196 33.6	29 5.0	35 6.0	13 2.2	3.71
年齢別	16～19歳	30 100.0	12 40.0	6 20.0	11 36.7	-	1 3.3	-	3.93
	20～29歳	110 100.0	31 28.2	17 15.5	40 36.4	10 9.1	12 10.9	-	3.41
	30～39歳	176 100.0	46 26.1	30 17.0	80 45.5	7 4.0	11 6.3	2 1.1	3.53
	40～49歳	146 100.0	37 25.3	28 19.2	60 41.1	13 8.9	6 4.1	2 1.4	3.53
	50～59歳	203 100.0	70 34.5	50 24.6	54 26.6	11 5.4	15 7.4	3 1.5	3.75
	60歳以上	428 100.0	174 40.7	85 19.9	95 22.2	27 6.3	32 7.5	15 3.5	3.83

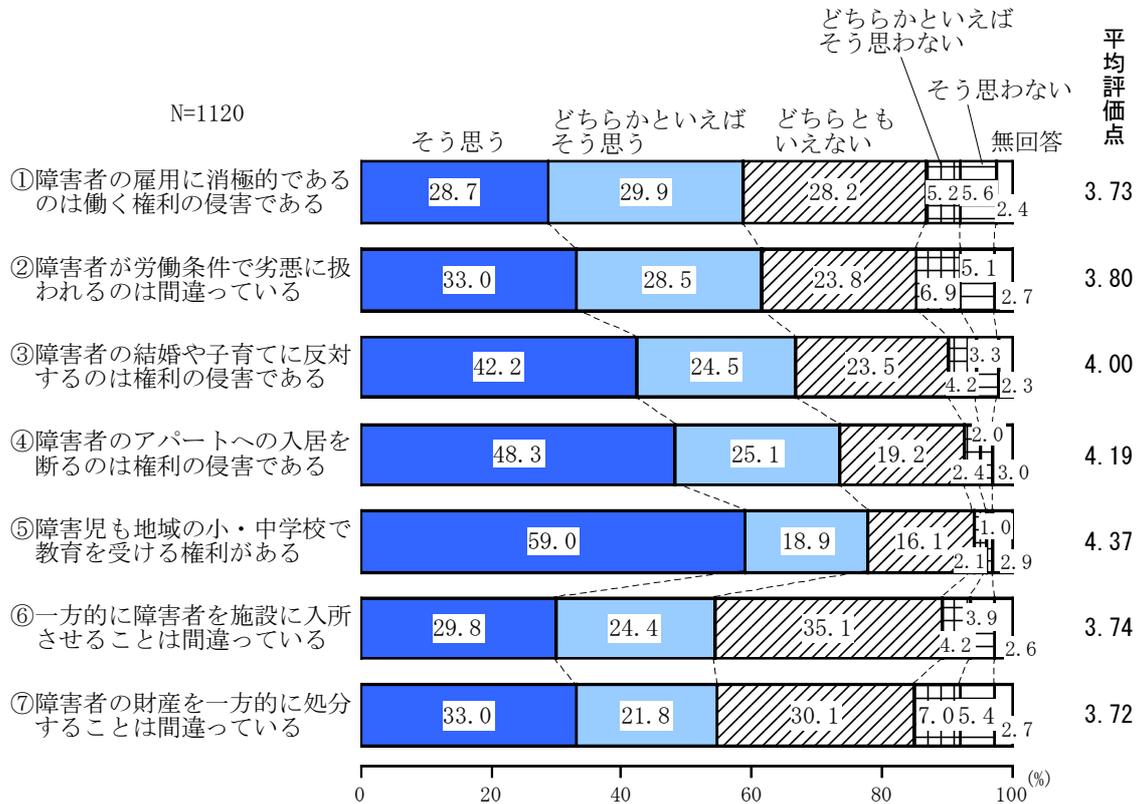
性別で平均評価点をみると、〔④高齢者のアパートへの入居を断るのは権利の侵害である〕、〔⑤高齢者を一方的に施設に入所させることは間違っている〕は男性が、それ以外の項目は女性が高くなっており、〔①高齢者の雇用に消極的なのは働く権利の侵害である〕で差が大きくなっている。

年齢別で平均評価点をみると、〔⑤高齢者を一方的に施設に入所させることは間違っている〕、〔⑥高齢者の財産を一方的に処分することは間違っている〕は16～19歳が最も高く、次いで60歳以上、50～59歳の順となっている。(図表3-5-1)

(6) 障害者に関わる事柄についての考え

問7. あなたは、次にあげる障害者に関わる事柄についてどのように思いますか。①～⑦のそれぞれについて、あなたのお考えに近いところに○をつけてください(○はそれぞれ1つずつ)。

【図表3-6 障害者に関わる事柄についての考え】



(平均評価点について)
 「そう思う」に5点、「どちらかといえばそう思う」に4点、「どちらともいえない」に3点、「どちらかといえばそう思わない」に2点、「そう思わない」に1点を与え、「無回答」を除いて平均評価点を算出した。得点が高いほど肯定的態度を、得点が低いほど否定的態度を表している。

障害者に関わる事柄についての考えをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意見は〔⑤障害児も地域の小・中学校で教育を受ける権利がある〕が77.9%で最も高く、次いで〔④障害者のアパートへの入居を断るのは権利の侵害である〕(73.4%)の順となっている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意見は〔⑦障害者の財産を一方的に処分することは間違っている〕が12.4%で最も高く、次いで〔②障害者が労働条件で劣悪に扱われるのは間違っている〕(12.0%)の順となっている。

平均評価点でも、〔⑤障害児も地域の小・中学校で教育を受ける権利がある〕が4.37で最も高く、〔⑦障害者の財産を一方的に処分することは間違っている〕が3.72で最も低くなっている。(図表3-6)

【図表3-6-1 性別・年齢別 障害者に関わる事柄についての考え①】

①障害者の雇用に消極的であるのは働く権利の侵害である

②障害者が労働条件で劣悪に扱われるのは間違っている

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	そう 思う	どちら かとい えば	いど ちらと もい えな	ど ちら かとい えな	ど ちら かとい えな	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	321 28.7	335 29.9	316 28.2	58 5.2	63 5.6	27 2.4	3.73	
性別	男性	509 100.0	124 24.4	154 30.3	145 28.5	35 6.9	43 8.4	8 1.6	3.56	
	女性	583 100.0	192 32.9	172 29.5	163 28.0	23 3.9	16 2.7	17 2.9	3.89	
年齢別	16～19歳	30 100.0	6 20.0	11 36.7	9 30.0	2 6.7	2 6.7	-	3.57	
	20～29歳	110 100.0	26 23.6	34 30.9	36 32.7	8 7.3	6 5.5	-	3.60	
	30～39歳	176 100.0	52 29.5	51 29.0	45 25.6	9 5.1	18 10.2	1 0.6	3.63	
	40～49歳	146 100.0	46 31.5	43 29.5	37 25.3	9 6.2	9 6.2	2 1.4	3.75	
	50～59歳	203 100.0	62 30.5	61 30.0	59 29.1	10 4.9	8 3.9	3 1.5	3.80	
	60歳以上	428 100.0	123 28.7	127 29.7	122 28.5	20 4.7	17 4.0	19 4.4	3.78	

		調査数 (N)	そう 思う	どちら かとい えば	いど ちらと もい えな	ど ちら かとい えな	ど ちら かとい えな	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	370 33.0	319 28.5	267 23.8	77 6.9	57 5.1	30 2.7	3.80	
性別	男性	509 100.0	157 30.8	146 28.7	119 23.4	43 8.4	33 6.5	11 2.2	3.70	
	女性	583 100.0	201 34.5	169 29.0	141 24.2	33 5.7	22 3.8	17 2.9	3.87	
年齢別	16～19歳	30 100.0	12 40.0	6 20.0	7 23.3	4 13.3	1 3.3	-	3.80	
	20～29歳	110 100.0	43 39.1	27 24.5	26 23.6	8 7.3	6 5.5	-	3.85	
	30～39歳	176 100.0	75 42.6	50 28.4	29 16.5	11 6.3	10 5.7	1 0.6	3.97	
	40～49歳	146 100.0	53 36.3	39 26.7	34 23.3	14 9.6	4 2.7	2 1.4	3.85	
	50～59歳	203 100.0	55 27.1	75 36.9	49 24.1	10 4.9	10 4.9	4 2.0	3.78	
	60歳以上	428 100.0	120 28.0	119 27.8	115 26.9	29 6.8	24 5.6	21 4.9	3.69	

③障害者の結婚や子育てに反対するのは権利の侵害である

④障害者のアパートへの入居を断るのは権利の侵害である

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	そう 思う	どちら かとい えば	いど ちらと もい えな	ど ちら かとい えな	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	473 42.2	274 24.5	263 23.5	47 4.2	37 3.3	26 2.3	4.00
性別	男性	509 100.0	240 47.2	118 23.2	105 20.6	20 3.9	17 3.3	9 1.8	4.09
	女性	583 100.0	222 38.1	151 25.9	152 26.1	26 4.5	17 2.9	15 2.6	3.94
年齢別	16～19歳	30 100.0	12 40.0	8 26.7	8 26.7	1 3.3	1 3.3	-	3.97
	20～29歳	110 100.0	39 35.5	32 29.1	28 25.5	7 6.4	4 3.6	-	3.86
	30～39歳	176 100.0	78 44.3	36 20.5	47 26.7	7 4.0	7 4.0	1 0.6	3.98
	40～49歳	146 100.0	68 46.6	36 24.7	30 20.5	8 5.5	2 1.4	2 1.4	4.11
	50～59歳	203 100.0	75 36.9	63 31.0	48 23.6	10 4.9	4 2.0	3 1.5	3.98
	60歳以上	428 100.0	189 44.2	94 22.0	97 22.7	14 3.3	16 3.7	18 4.2	4.04

		調査数 (N)	そう 思う	どちら かとい えば	いど ちらと もい えな	ど ちら かとい えな	ど ちら かとい えな	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	541 48.3	281 25.1	215 19.2	27 2.4	22 2.0	34 3.0	4.19	
性別	男性	509 100.0	274 53.8	110 21.6	90 17.7	11 2.2	12 2.4	12 2.4	4.25	
	女性	583 100.0	257 44.1	163 28.0	120 20.6	16 2.7	7 1.2	20 3.4	4.15	
年齢別	16～19歳	30 100.0	13 43.3	10 33.3	6 20.0	1 3.3	-	-	4.17	
	20～29歳	110 100.0	64 58.2	22 20.0	20 18.2	2 1.8	2 1.8	-	4.31	
	30～39歳	176 100.0	85 48.3	43 24.4	36 20.5	4 2.3	7 4.0	1 0.6	4.11	
	40～49歳	146 100.0	66 45.2	39 26.7	31 21.2	6 4.1	1 0.7	3 2.1	4.14	
	50～59歳	203 100.0	95 46.8	61 30.0	32 15.8	7 3.4	3 1.5	5 2.5	4.20	
	60歳以上	428 100.0	207 48.4	99 23.1	87 20.3	7 1.6	6 1.4	22 5.1	4.22	

⑤障害児も地域の小・中学校で教育を受ける権利がある

⑥一方的に障害者を施設に入所させることは間違っている

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	そう 思う	どちら かとい えば	いど ちらと もい えな	ど ちら かとい えな	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	661 59.0	212 18.9	180 16.1	23 2.1	11 1.0	33 2.9	4.37
性別	男性	509 100.0	316 62.1	93 18.3	71 13.9	15 2.9	5 1.0	9 1.8	4.40
	女性	583 100.0	325 55.7	117 20.1	106 18.2	8 1.4	5 0.9	22 3.8	4.34
年齢別	16～19歳	30 100.0	21 70.0	6 20.0	2 6.7	1 3.3	-	-	4.57
	20～29歳	110 100.0	72 65.5	18 16.4	16 14.5	3 2.7	1 0.9	-	4.43
	30～39歳	176 100.0	116 65.9	27 15.3	24 13.6	2 1.1	5 2.8	2 1.1	4.42
	40～49歳	146 100.0	87 59.6	25 17.1	29 19.9	2 1.4	-	3 2.1	4.38
	50～59歳	203 100.0	108 53.2	54 26.6	33 16.3	5 2.5	-	3 1.5	4.33
	60歳以上	428 100.0	238 55.6	81 18.9	73 17.1	10 2.3	4 0.9	22 5.1	4.33

		調査数 (N)	そう 思う	どちら かとい えば	いど ちらと もい えな	ど ちら かとい えな	ど ちら かとい えな	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全 体		1120 100.0	334 29.8	273 24.4	393 35.1	47 4.2	44 3.9	29 2.6	3.74	
性別	男性	509 100.0	160 31.4	133 26.1	159 31.2	24 4.7	24 4.7	9 1.8	3.76	
	女性	583 100.0	163 28.0	136 23.3	225 38.6	23 3.9	18 3.1	18 3.1	3.71	
年齢別	16～19歳	30 100.0	9 30.0	8 26.7	12 40.0	1 3.3	-	-	3.83	
	20～29歳	110 100.0	27 24.5	26 23.6	44 40.0	6 5.5	7 6.4	-	3.55	
	30～39歳	176 100.0	46 26.1	41 23.3	72 40.9	8 4.5	8 4.5	1 0.6	3.62	
	40～49歳	146 100.0	40 27.4	32 21.9	57 39.0	7 4.8	7 4.8	3 2.1	3.64	
	50～59歳	203 100.0	51 25.1	63 31.0	71 35.0	10 4.9	4 2.0	4 2.0	3.74	
	60歳以上	428 100.0	151 35.3	99 23.1	129 30.1	15 3.5	16 3.7	18 4.2	3.86	

【図表 3-6-1 性別・年齢別 障害者に関わる事柄についての考え②】

⑦障害者の財産を一方的に処分することは間違っている

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	い ど ち ら と も い え な	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	370 33.0	244 21.8	337 30.1	78 7.0	61 5.4	30 2.7	3.72	
性 別	男性	509 100.0	177 34.8	111 21.8	137 26.9	41 8.1	35 6.9	8 1.6	3.71
	女性	583 100.0	184 31.6	127 21.8	192 32.9	36 6.2	24 4.1	20 3.4	3.73
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	11 36.7	4 13.3	13 43.3	2 6.7	-	-	3.80
	20～29歳	110 100.0	36 32.7	18 16.4	40 36.4	8 7.3	8 7.3	-	3.60
	30～39歳	176 100.0	42 23.9	40 22.7	72 40.9	8 4.5	12 6.8	2 1.1	3.53
	40～49歳	146 100.0	35 24.0	33 22.6	62 42.5	9 6.2	4 2.7	3 2.1	3.60
	50～59歳	203 100.0	67 33.0	53 26.1	48 23.6	16 7.9	15 7.4	4 2.0	3.71
	60歳以上	428 100.0	172 40.2	90 21.0	94 22.0	34 7.9	20 4.7	18 4.2	3.88

性別で平均評価点をみると、〔①障害者の雇用に消極的であるのは働く権利の侵害である〕、〔②障害者が労働条件で劣悪に扱われるのは間違っている〕、〔⑦障害者の財産を一方的に処分することは間違っている〕は女性が、それ以外の項目は男性が高くなっており、〔①障害者の雇用に消極的であるのは働く権利の侵害である〕で差が大きくなっている。

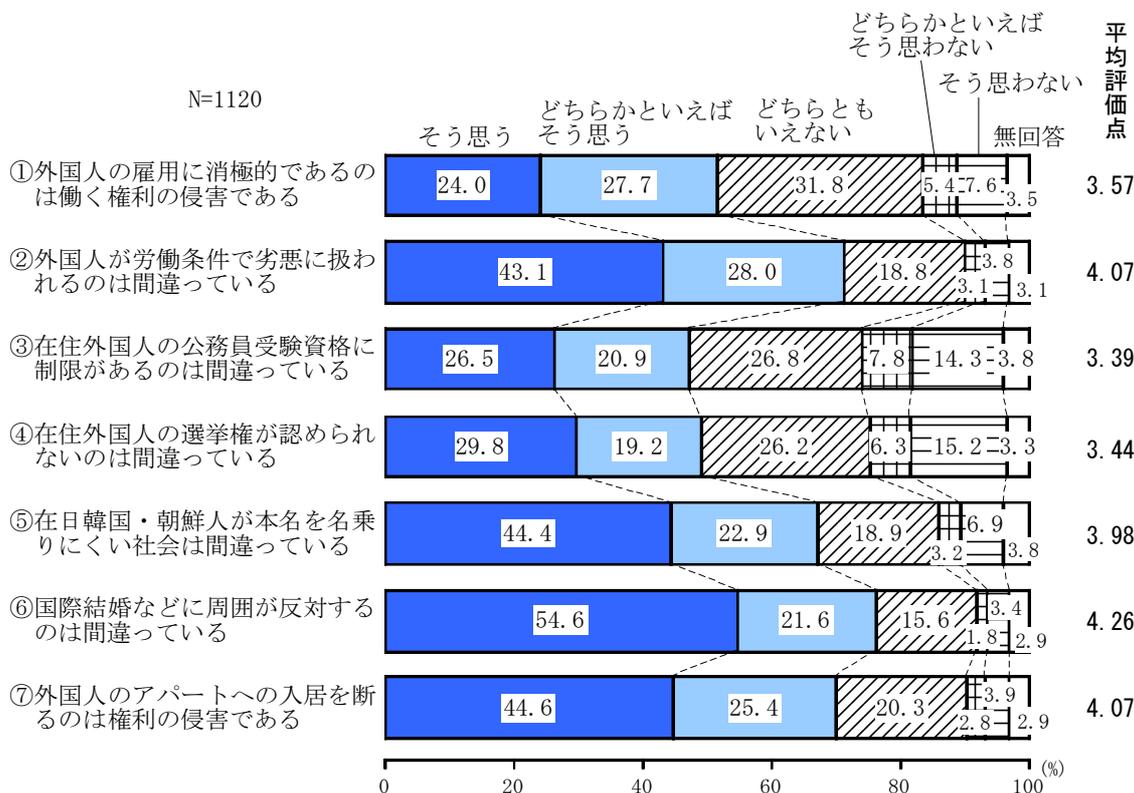
年齢別で平均評価点をみると、〔①障害者の雇用に消極的であるのは働く権利の侵害である〕は高年層のほうが高く、〔⑤障害児も地域の小・中学校で教育を受ける権利がある〕は若年層のほうが高い傾向にある。また、〔⑥一方的に障害者を施設に入所させることは間違っている〕、〔⑦障害者の財産を一方的に処分することは間違っている〕についても、16～19歳を除けば、高年層のほうが高い傾向にある。(図表 3-6-1)

(7) 外国人に関わる事柄についての考え

問8. あなたは、日本に定住する外国人に関わる事柄についてどのように思いますか。

①～⑦のそれぞれについて、あなたのお考えに近いところに○をつけてください
(○はそれぞれ1つずつ)。

【図表3-7 外国人に関わる事柄についての考え】



(平均評価点について)

「そう思う」に5点、「どちらかといえばそう思う」に4点、「どちらともいえない」に3点、「どちらかといえばそう思わない」に2点、「そう思わない」に1点を与え、「無回答」を除いて平均評価点を算出した。得点が高いほど肯定的態度を、得点が低いほど否定的態度を表している。

日本に定住する外国人に関わる事柄についての考えをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意見は〔⑥国際結婚などに周囲が反対するのは間違っている〕が76.2%で最も高く、次いで〔②外国人が労働条件で劣悪に扱われるのは間違っている〕(71.1%)の順となっている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意見は〔③在住外国人の公務員受験資格に制限があるのは間違っている〕が22.1%で最も高く、次いで〔④在住外国人の選挙権が認められないのは間違っている〕(21.5%)の順となっている。

平均評価点でも、〔⑥国際結婚などに周囲が反対するのは間違っている〕が4.26で最も高く、〔③在住外国人の公務員受験資格に制限があるのは間違っている〕が3.39で最も低くなっている。(図表3-7)

【図表3-7-1 性別・年齢別 外国人に関わる事柄についての考え①】

①外国人の雇用に消極的であるのは働く権利の侵害である

②外国人が労働条件で劣悪に扱われるのは間違っている

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう思う	どちらか かといえ ば	い ど ち ら と も い え な	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	269 24.0	310 27.7	356 31.8	61 5.4	85 7.6	39 3.5	3.57	
性別	男性	509 100.0	109 21.4	132 25.9	164 32.2	38 7.5	54 10.6	12 2.4	3.41
	女性	583 100.0	155 26.6	171 29.3	184 31.6	23 3.9	25 4.3	25 4.3	3.73
年齢別	16～19歳	30 100.0	10 33.3	9 30.0	9 30.0	1 3.3	1 3.3	-	3.87
	20～29歳	110 100.0	37 33.6	30 27.3	30 27.3	7 6.4	5 4.5	1 0.9	3.80
	30～39歳	176 100.0	44 25.0	50 28.4	55 31.3	10 5.7	14 8.0	3 1.7	3.58
	40～49歳	146 100.0	39 26.7	43 29.5	41 28.1	8 5.5	12 8.2	3 2.1	3.62
	50～59歳	203 100.0	46 22.7	55 27.1	70 34.5	19 9.4	10 4.9	3 1.5	3.54
	60歳以上	428 100.0	89 20.8	115 26.9	144 33.6	16 3.7	38 8.9	26 6.1	3.50

	調査数 (N)	そう思う	どちらか かといえ ば	い ど ち ら と も い え な	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	483 43.1	314 28.0	210 18.8	35 3.1	43 3.8	35 3.1	4.07	
性別	男性	509 100.0	223 43.8	136 26.7	94 18.5	19 3.7	26 5.1	11 2.2	4.03
	女性	583 100.0	245 42.0	174 29.8	113 19.4	15 2.6	14 2.4	22 3.8	4.11
年齢別	16～19歳	30 100.0	11 36.7	9 30.0	6 20.0	3 10.0	1 3.3	-	3.87
	20～29歳	110 100.0	59 53.6	28 25.5	17 15.5	2 1.8	3 2.7	1 0.9	4.27
	30～39歳	176 100.0	78 44.3	50 28.4	30 17.0	10 5.7	6 3.4	2 1.1	4.06
	40～49歳	146 100.0	68 46.6	41 28.1	24 16.4	5 3.4	5 3.4	3 2.1	4.13
	50～59歳	203 100.0	83 40.9	63 31.0	42 20.7	7 3.4	5 2.5	3 1.5	4.06
	60歳以上	428 100.0	169 39.5	119 27.8	89 20.8	8 1.9	20 4.7	23 5.4	4.01

③在住外国人の公務員受験資格に制限があるのは間違っている

④在住外国人の選挙権が認められないのは間違っている

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう思う	どちらか かといえ ば	い ど ち ら と も い え な	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	297 26.5	234 20.9	300 26.8	87 7.8	160 14.3	42 3.8	3.39	
性別	男性	509 100.0	133 26.1	94 18.5	124 24.4	44 8.6	101 19.8	13 2.6	3.23
	女性	583 100.0	155 26.6	137 23.5	170 29.2	43 7.4	51 8.7	27 4.6	3.54
年齢別	16～19歳	30 100.0	8 26.7	6 20.0	10 33.3	3 10.0	3 10.0	-	3.43
	20～29歳	110 100.0	42 38.2	21 19.1	32 29.1	4 3.6	10 9.1	1 0.9	3.74
	30～39歳	176 100.0	55 31.3	39 22.2	43 24.4	13 7.4	24 13.6	2 1.1	3.51
	40～49歳	146 100.0	42 28.8	28 19.2	39 26.7	11 7.5	19 13.0	7 4.8	3.45
	50～59歳	203 100.0	56 27.6	47 23.2	45 22.2	22 10.8	30 14.8	3 1.5	3.39
	60歳以上	428 100.0	84 19.6	91 21.3	125 29.2	34 7.9	68 15.9	26 6.1	3.22

	調査数 (N)	そう思う	どちらか かといえ ば	い ど ち ら と も い え な	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	334 29.8	215 19.2	293 26.2	71 6.3	170 15.2	37 3.3	3.44	
性別	男性	509 100.0	143 28.1	94 18.5	112 22.0	35 6.9	112 22.0	13 2.6	3.24
	女性	583 100.0	187 32.1	114 19.6	176 30.2	32 5.5	52 8.9	22 3.8	3.63
年齢別	16～19歳	30 100.0	12 40.0	8 26.7	5 16.7	2 6.7	2 6.7	1 3.3	3.90
	20～29歳	110 100.0	54 49.1	17 15.5	22 20.0	7 6.4	10 9.1	-	3.89
	30～39歳	176 100.0	70 39.8	27 15.3	54 30.7	5 2.8	19 10.8	1 0.6	3.71
	40～49歳	146 100.0	45 30.8	34 23.3	41 28.1	9 6.2	13 8.9	4 2.7	3.63
	50～59歳	203 100.0	68 33.5	46 22.7	42 20.7	14 6.9	30 14.8	3 1.5	3.54
	60歳以上	428 100.0	80 18.7	76 17.8	124 29.0	32 7.5	91 21.3	25 5.8	3.05

⑤在日韓国・朝鮮人が本名を名乗りにくい社会は間違っている

⑥国際結婚などに周囲が反対するのは間違っている

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう思う	どちらか かといえ ば	い ど ち ら と も い え な	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	497 44.4	256 22.9	212 18.9	36 3.2	77 6.9	42 3.8	3.98	
性別	男性	509 100.0	225 44.2	101 19.8	92 18.1	28 5.5	47 9.2	16 3.1	3.87
	女性	583 100.0	265 45.5	146 25.0	115 19.7	7 1.2	26 4.5	24 4.1	4.10
年齢別	16～19歳	30 100.0	13 43.3	5 16.7	9 30.0	2 6.7	1 3.3	-	3.90
	20～29歳	110 100.0	67 60.9	24 21.8	14 12.7	1 0.9	4 3.6	-	4.35
	30～39歳	176 100.0	87 49.4	48 27.3	26 14.8	2 1.1	11 6.3	2 1.1	4.14
	40～49歳	146 100.0	82 56.2	31 21.2	21 14.4	2 1.4	7 4.8	3 2.1	4.25
	50～59歳	203 100.0	93 45.8	50 24.6	38 18.7	8 3.9	11 5.4	3 1.5	4.03
	60歳以上	428 100.0	149 34.8	88 20.6	99 23.1	21 4.9	40 9.3	31 7.2	3.72

	調査数 (N)	そう思う	どちらか かといえ ば	い ど ち ら と も い え な	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	612 54.6	242 21.6	175 15.6	20 1.8	38 3.4	33 2.9	4.26	
性別	男性	509 100.0	284 55.8	116 22.8	72 14.1	10 2.0	16 3.1	11 2.2	4.29
	女性	583 100.0	319 54.7	121 20.8	96 16.5	9 1.5	19 3.3	19 3.3	4.26
年齢別	16～19歳	30 100.0	16 53.3	6 20.0	6 20.0	1 3.3	1 3.3	-	4.17
	20～29歳	110 100.0	73 66.4	23 20.9	13 11.8	-	1 0.9	-	4.52
	30～39歳	176 100.0	102 58.0	38 21.6	25 14.2	1 0.6	9 5.1	1 0.6	4.27
	40～49歳	146 100.0	89 61.0	32 21.9	15 10.3	4 2.7	3 2.1	3 2.1	4.40
	50～59歳	203 100.0	117 57.6	44 21.7	31 15.3	2 1.0	6 3.0	3 1.5	4.32
	60歳以上	428 100.0	206 48.1	94 22.0	79 18.5	12 2.8	15 3.5	22 5.1	4.14

【図表3-7-1 性別・年齢別 外国人に関わる事柄についての考え②】

⑦外国人のアパートへの入居を断るのは権利の侵害である
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	い ど ち ら と も い え な	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	500 44.6	285 25.4	227 20.3	31 2.8	44 3.9	33 2.9	4.07	
性 別	男性	509 100.0	228 44.8	123 24.2	102 20.0	22 4.3	24 4.7	10 2.0	4.02
	女性	583 100.0	264 45.3	156 26.8	117 20.1	9 1.5	16 2.7	21 3.6	4.14
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	15 50.0	5 16.7	9 30.0	- -	1 3.3	- -	4.10
	20～29歳	110 100.0	60 54.5	29 26.4	15 13.6	2 1.8	4 3.6	- -	4.26
	30～39歳	176 100.0	83 47.2	45 25.6	33 18.8	4 2.3	9 5.1	2 1.1	4.09
	40～49歳	146 100.0	62 42.5	43 29.5	28 19.2	8 5.5	2 1.4	3 2.1	4.08
	50～59歳	203 100.0	97 47.8	51 25.1	38 18.7	5 2.5	8 3.9	4 2.0	4.13
	60歳以上	428 100.0	175 40.9	106 24.8	97 22.7	12 2.8	17 4.0	21 4.9	4.01

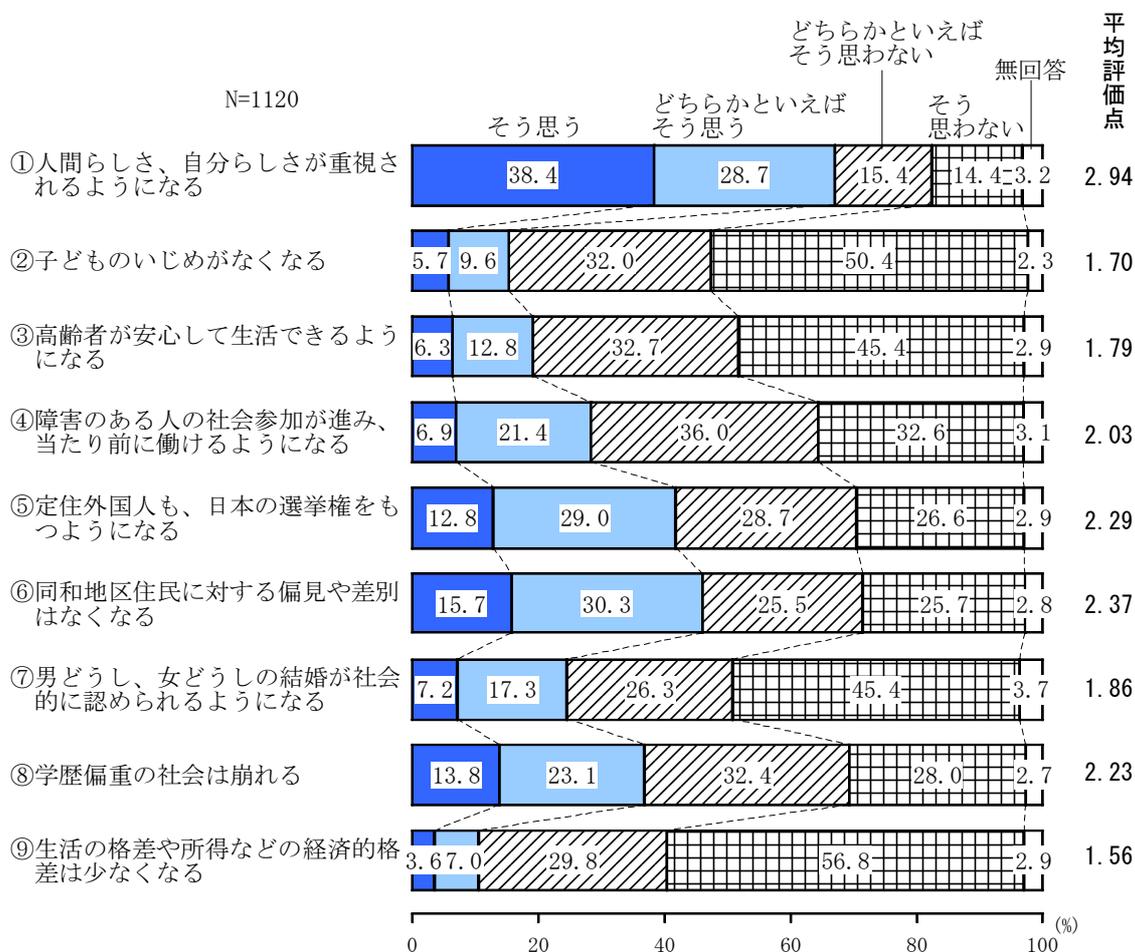
性別で平均評価点をみると、〔⑥国際結婚などに周囲が反対するのは間違っている〕は男性が、それ以外の項目は女性が高くなっており、〔④在住外国人の選挙権が認められないのは間違っている〕、〔①外国人の雇用に消極的であるのは働く権利の侵害である〕、〔③在住外国人の公務員受験資格に制限があるのは間違っている〕で差が大きくなっている。

年齢別で平均評価点をみると、〔①外国人の雇用に消極的であるのは働く権利の侵害である〕、〔③在住外国人の公務員受験資格に制限があるのは間違っている〕、〔④在住外国人の選挙権が認められないのは間違っている〕は若年層のほうが高い傾向にある。また、〔⑤在日韓国・朝鮮人が本名を名乗りにくい社会は間違っている〕、〔⑥国際結婚などに周囲が反対するのは間違っている〕は60歳以上および16～19歳が低くなっている。(図表3-7-1)

(8) 20年後の人権問題についての考え

問9. 人権に対する取組みが進んでいますが、あなたは20年後には、人権問題はどんなになっていると思いますか。①～⑨のそれぞれについてお答えください（〇はそれぞれ1つずつ）。

【図表3-8 20年後の人権問題についての考え】



(平均評価点について)

「そう思う」に4点、「どちらかといえばそう思う」に3点、「どちらかといえばそう思わない」に2点、「そう思わない」に1点を与え、「無回答」を除いて平均評価点を算出した。得点が高いほど肯定的態度を、得点が高いほど否定的態度を表している。

20年後の人権問題についての考えをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意見は〔①人間らしさ、自分らしさが重視されるようになる〕が67.1%で最も高く、次いで〔⑥同和地区住民に対する偏見や差別はなくなる〕(46.0%)、〔⑤定住外国人も、日本の選挙権をもつようになる〕(41.8%)の順となっている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意見は〔⑨生活の格差や所得などの経済的格差は少なくなる〕が86.6%で最も高く、次いで〔②子どものいじめがなくなる〕(82.4%)、〔③高齢者が安心して生活できるようになる〕(78.1%)の順となっている。

平均評価点でも、〔①人間らしさ、自分らしさが重視されるようになる〕が2.94で

最も高く、〔⑨生活の格差や所得などの経済的格差は少なくなる〕が1.56で最も低くなっている。(図表3-8)

前回調査と比較すると、〔⑤定住外国人も、日本の選挙権をもつようになる〕は肯定的意見が13.3ポイント低下し、否定的意見が13.3ポイント上昇している。〔④障害のある人の社会参加が進み、当たり前に働けるようになる〕は肯定的意見が8.9ポイント減少し、〔⑧学歴偏重の社会は崩れる〕でも肯定的意見が7.1ポイント減少している。(図表3-8-1)

【図表3-8-1 性別・年齢別 20年後の人権問題についての考え①】

①人間らしさ、自分らしさが重視されるようになる

②子どものいじめがなくなる

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全体		1120 100.0	430 38.4	321 28.7	172 15.4	161 14.4	36 3.2	2.94
性別	男性	509 100.0	195 38.3	131 25.7	82 16.1	89 17.5	12 2.4	2.87
	女性	583 100.0	223 38.3	183 31.4	88 15.1	68 11.7	21 3.6	3.00
年齢別	16～19歳	30 100.0	6 20.0	12 40.0	8 26.7	3 10.0	1 3.3	2.72
	20～29歳	110 100.0	35 31.8	40 36.4	21 19.1	14 12.7	-	2.87
	30～39歳	176 100.0	65 36.9	48 27.3	28 15.9	33 18.8	2 1.1	2.83
	40～49歳	146 100.0	53 36.3	48 32.9	20 13.7	22 15.1	3 2.1	2.92
	50～59歳	203 100.0	74 36.5	66 32.5	33 16.3	26 12.8	4 2.0	2.94
	60歳以上	428 100.0	185 43.2	101 23.6	60 14.0	60 14.0	22 5.1	3.01
1998年度 (平成10年度)		1116 100.0	348 31.2	421 37.7	191 17.1	117 10.5	39 3.5	-

		調査数 (N)	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全体		1120 100.0	64 5.7	108 9.6	358 32.0	564 50.4	26 2.3	1.70
性別	男性	509 100.0	28 5.5	52 10.2	161 31.6	260 51.1	8 1.6	1.70
	女性	583 100.0	34 5.8	56 9.6	193 33.1	284 48.7	16 2.7	1.72
年齢別	16～19歳	30 100.0	5 16.7	1 3.3	10 33.3	14 46.7	-	1.90
	20～29歳	110 100.0	1 0.9	2 1.8	30 27.3	77 70.0	-	1.34
	30～39歳	176 100.0	7 4.0	8 4.5	36 20.5	124 70.5	1 0.6	1.42
	40～49歳	146 100.0	6 4.1	18 12.3	43 29.5	77 52.7	2 1.4	1.67
	50～59歳	203 100.0	9 4.4	19 9.4	89 43.8	84 41.4	2 1.0	1.77
	60歳以上	428 100.0	34 7.9	60 14.0	146 34.1	169 39.5	19 4.4	1.90
1998年度 (平成10年度)		1116 100.0	37 3.3	93 8.3	340 30.5	615 55.1	31 2.8	-

③高齢者が安心して生活できるようになる

④障害のある人の社会参加が進み、当たり前
に働けるようになる

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全体		1120 100.0	70 6.3	143 12.8	366 32.7	508 45.4	33 2.9	1.79
性別	男性	509 100.0	28 5.5	71 13.9	163 32.0	234 46.0	13 2.6	1.78
	女性	583 100.0	41 7.0	68 11.7	200 34.3	256 43.9	18 3.1	1.81
年齢別	16～19歳	30 100.0	4 13.3	3 10.0	15 50.0	8 26.7	-	2.10
	20～29歳	110 100.0	4 3.6	18 16.4	41 37.3	47 42.7	-	1.81
	30～39歳	176 100.0	11 6.3	18 10.2	38 21.6	107 60.8	2 1.1	1.61
	40～49歳	146 100.0	9 6.2	16 11.0	53 36.3	65 44.5	3 2.1	1.78
	50～59歳	203 100.0	10 4.9	24 11.8	80 39.4	87 42.9	2 1.0	1.79
	60歳以上	428 100.0	31 7.2	60 14.0	135 31.5	178 41.6	24 5.6	1.86
1998年度 (平成10年度)		1116 100.0	53 4.7	196 17.6	379 34.0	463 41.5	25 2.2	-

		調査数 (N)	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点
全体		1120 100.0	77 6.9	240 21.4	403 36.0	365 32.6	35 3.1	2.03
性別	男性	509 100.0	31 6.1	129 25.3	173 34.0	164 32.2	12 2.4	2.05
	女性	583 100.0	44 7.5	107 18.4	223 38.3	188 32.2	21 3.6	2.01
年齢別	16～19歳	30 100.0	4 13.3	8 26.7	13 43.3	5 16.7	-	2.37
	20～29歳	110 100.0	3 2.7	24 21.8	46 41.8	37 33.6	-	1.94
	30～39歳	176 100.0	17 9.7	23 13.1	58 33.0	77 43.8	1 0.6	1.89
	40～49歳	146 100.0	7 4.8	30 20.5	62 42.5	45 30.8	2 1.4	1.99
	50～59歳	203 100.0	14 6.9	40 19.7	84 41.4	63 31.0	2 1.0	2.02
	60歳以上	428 100.0	29 6.8	111 25.9	133 31.1	128 29.9	27 6.3	2.10
1998年度 (平成10年度)		1116 100.0	62 5.6	353 31.6	433 38.8	237 21.2	31 2.8	-

【図表3-8-1 性別・年齢別 20年後の人権問題についての考え②】

⑤定住外国人も、日本の選挙権をもつようになる

⑥同和地区住民に対する偏見や差別はなくなる
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	143 12.8	325 29.0	321 28.7	298 26.6	33 2.9	2.29	
性 別	男性	509 100.0	71 13.9	137 26.9	140 27.5	153 30.1	8 1.6	2.25
	女性	583 100.0	69 11.8	181 31.0	176 30.2	134 23.0	23 3.9	2.33
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	5 16.7	8 26.7	11 36.7	6 20.0	-	2.40
	20～29歳	110 100.0	15 13.6	31 28.2	31 28.2	33 30.0	-	2.25
	30～39歳	176 100.0	16 9.1	39 22.2	61 34.7	58 33.0	2 1.1	2.07
	40～49歳	146 100.0	19 13.0	45 30.8	40 27.4	39 26.7	3 2.1	2.31
	50～59歳	203 100.0	22 10.8	74 36.5	60 29.6	44 21.7	3 1.5	2.37
	60歳以上	428 100.0	62 14.5	120 28.0	113 26.4	110 25.7	23 5.4	2.33
1998年度 (平成10年度)	1116 100.0	201 18.0	414 37.1	257 23.0	212 19.0	32 2.9	-	

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	176 15.7	339 30.3	286 25.5	288 25.7	31 2.8	2.37	
性 別	男性	509 100.0	79 15.5	144 28.3	130 25.5	148 29.1	8 1.6	2.31
	女性	583 100.0	92 15.8	185 31.7	153 26.2	132 22.6	21 3.6	2.42
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	3 10.0	8 26.7	8 26.7	10 33.3	1 3.3	2.14
	20～29歳	110 100.0	15 13.6	33 30.0	28 25.5	34 30.9	-	2.26
	30～39歳	176 100.0	24 13.6	38 21.6	43 24.4	69 39.2	2 1.1	2.10
	40～49歳	146 100.0	13 8.9	42 28.8	44 30.1	45 30.8	2 1.4	2.16
	50～59歳	203 100.0	27 13.3	74 36.5	56 27.6	44 21.7	2 1.0	2.42
	60歳以上	428 100.0	88 20.6	135 31.5	104 24.3	80 18.7	21 4.9	2.57
1998年度 (平成10年度)	1116 100.0	131 11.7	367 32.9	354 31.7	236 21.1	28 2.5	-	

⑦男どうし、女どうしの結婚が社会的に認められるようになる

⑧学歴偏重の社会は崩れる
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	81 7.2	194 17.3	295 26.3	509 45.4	41 3.7	1.86	
性 別	男性	509 100.0	30 5.9	70 13.8	127 25.0	269 52.8	13 2.6	1.72
	女性	583 100.0	49 8.4	120 20.6	165 28.3	224 38.4	25 4.3	1.99
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	3 10.0	8 26.7	7 23.3	12 40.0	-	2.07
	20～29歳	110 100.0	13 11.8	31 28.2	23 20.9	42 38.2	1 0.9	2.14
	30～39歳	176 100.0	19 10.8	36 20.5	49 27.8	70 39.8	2 1.1	2.02
	40～49歳	146 100.0	10 6.8	29 19.9	45 30.8	59 40.4	3 2.1	1.93
	50～59歳	203 100.0	9 4.4	41 20.2	54 26.6	94 46.3	5 2.5	1.82
	60歳以上	428 100.0	25 5.8	45 10.5	113 26.4	217 50.7	28 6.5	1.70
1998年度 (平成10年度)	1116 100.0	47 4.2	177 15.9	293 26.3	570 51.1	29 2.6	-	

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	154 13.8	259 23.1	363 32.4	314 28.0	30 2.7	2.23	
性 別	男性	509 100.0	69 13.6	110 21.6	162 31.8	159 31.2	9 1.8	2.18
	女性	583 100.0	80 13.7	144 24.7	196 33.6	144 24.7	19 3.3	2.28
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	1 3.3	8 26.7	9 30.0	12 40.0	-	1.93
	20～29歳	110 100.0	28 25.5	17 15.5	43 39.1	22 20.0	-	2.46
	30～39歳	176 100.0	22 12.5	41 23.3	51 29.0	60 34.1	2 1.1	2.14
	40～49歳	146 100.0	15 10.3	33 22.6	48 32.9	48 32.9	2 1.4	2.10
	50～59歳	203 100.0	23 11.3	52 25.6	74 36.5	52 25.6	2 1.0	2.23
	60歳以上	428 100.0	59 13.8	103 24.1	134 31.3	110 25.7	22 5.1	2.27
1998年度 (平成10年度)	1116 100.0	174 15.6	317 28.4	326 29.2	275 24.6	24 2.2	-	

⑨生活の格差や所得などの経済的格差は少なくなる

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	そう 思う	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない かとい え	そう 思わ ない	無 回 答	平均 評 価 点	
全 体	1120 100.0	40 3.6	78 7.0	334 29.8	636 56.8	32 2.9	1.56	
性 別	男性	509 100.0	19 3.7	32 6.3	139 27.3	310 60.9	9 1.8	1.52
	女性	583 100.0	20 3.4	43 7.4	190 32.6	309 53.0	21 3.6	1.60
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	1 3.3	3 10.0	12 40.0	14 46.7	-	1.70
	20～29歳	110 100.0	3 2.7	3 2.7	34 30.9	69 62.7	1 0.9	1.45
	30～39歳	176 100.0	5 2.8	7 4.0	43 24.4	119 67.6	2 1.1	1.41
	40～49歳	146 100.0	5 3.4	5 3.4	40 27.4	94 64.4	2 1.4	1.45
	50～59歳	203 100.0	6 3.0	16 7.9	69 34.0	110 54.2	2 1.0	1.59
	60歳以上	428 100.0	19 4.4	40 9.3	132 30.8	214 50.0	23 5.4	1.66
1998年度 (平成10年度)	-	-	-	-	-	-	-	

性別で平均評価点をみると、〔④障害のある人の社会参加が進み、当たり前になれるようになる〕は男性が、それ以外の項目は女性が高くなっており、〔⑦男どうし、女どうしの結婚が社会的に認められるようになる〕で差が大きくなっている。

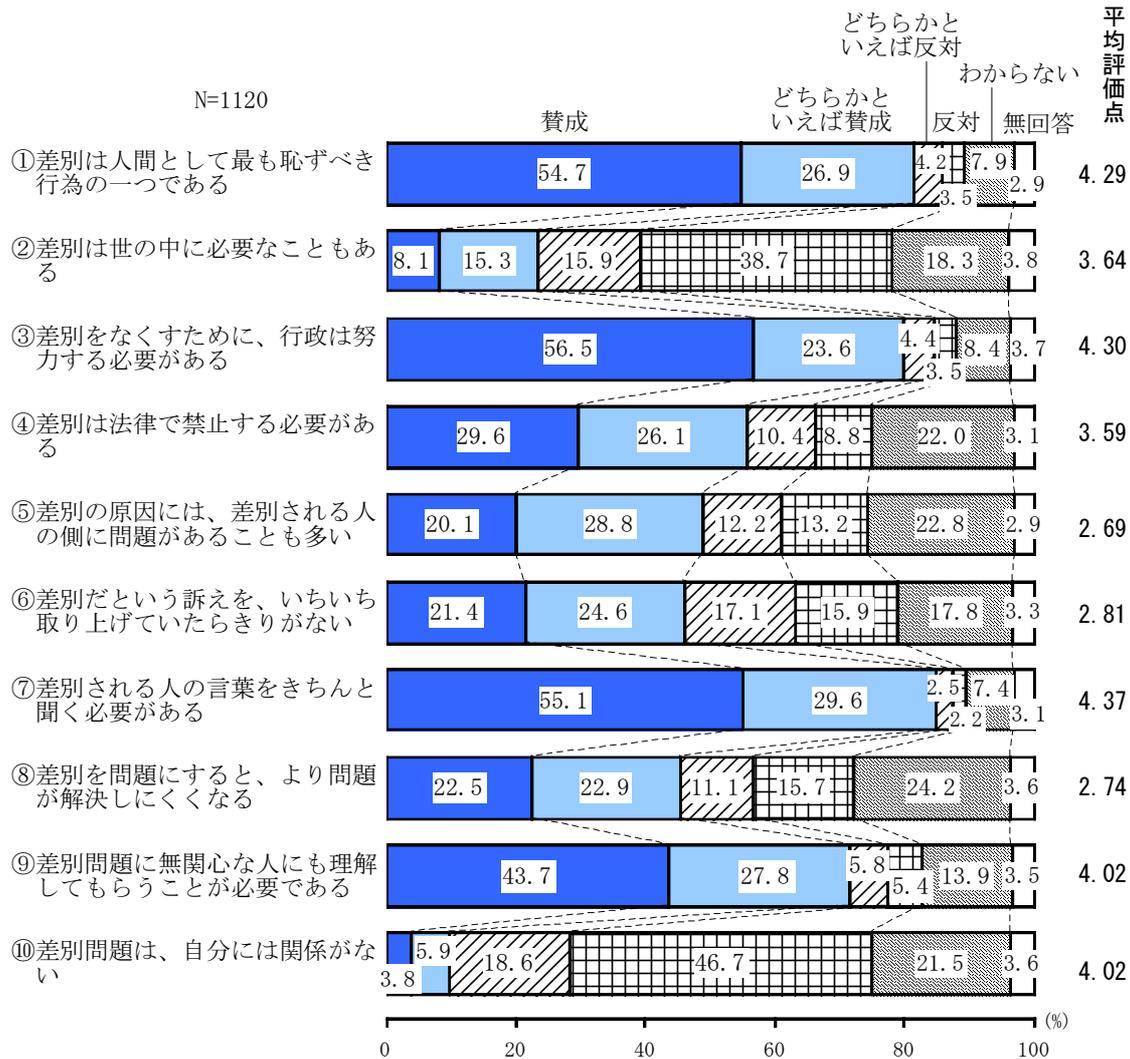
年齢別で平均評価点をみると、〔①人間らしさ、自分らしさが重視されるようになる〕〔⑥同和地区住民に対する偏見や差別はなくなる〕は高年層のほうが、〔⑦男どうし、女どうしの結婚が社会的に認められるようになる〕は若年層のほうが高い傾向にある。また、〔③高齢者が安心して生活できるようになる〕、〔④障害のある人の社会参加が進み、当たり前になれるようになる〕は16～19歳が目立って高くなっている。(図表3-8-1)

4. 差別問題や同和問題について

(1) 「差別」についての考え

問10. 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。次にあげる①～⑩のそれぞれについてお答えください。あまり深く考えず、頭に浮かんだことを気軽にお答えください（○はそれぞれ1つずつ）。

【図表4-1 「差別」についての考え】



(平均評価点について)

①③④⑦⑨については「賛成」に5点、「どちらかといえば賛成」に4点、「わからない」に3点、「どちらかといえば反対」に2点、「反対」に1点を、②⑤⑥⑧⑩については「反対」に5点、「どちらかといえば反対」に4点、「わからない」に3点、「どちらかといえば賛成」に2点、「賛成」に1点を与え、それぞれ「無回答」を除いて平均評価点を算出した。得点が高いほど肯定的態度を、得点が低いほど否定的態度を表している。

「差別」についての考えをみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」をあわせた『賛成』の割合は〔⑦差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある〕が84.7%で最も高く、次いで〔①差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである〕(81.6%)、〔③差別をなくすために、行政は努力する必要がある〕(80.1%)の順となっている。

一方、「反対」と「どちらかといえば反対」をあわせた『反対』の割合は〔⑩差別問題は、自分には関係がない〕が65.3%で最も高く、次いで〔②差別は世の中に必要なこともある〕(54.6%)、〔⑥差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない〕(33.0%)の順となっている。

平均評価点をみると、〔⑦差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある〕が4.37で最も高く、〔⑤差別の原因には、差別される側に原因があることも多い〕が2.69で最も低くなっている。(図表4-1)

【図表4-1-1 「差別」についての考え<大阪府(2005年度)>】

(上段：人、下段：%)

	調査数(N)	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答
①差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである	3675 100.0	1686 45.9	1270 34.6	209 5.7	67 1.8	307 8.4	136 3.7
②差別は世の中に必要なこともある	3675 100.0	145 3.9	549 14.9	719 19.6	1350 36.7	741 20.2	171 4.7
③差別をなくすために、行政は努力する必要がある	3675 100.0	1735 47.2	1143 31.1	132 3.6	61 1.7	450 12.2	154 4.2
④差別は法律で禁止する必要がある	3675 100.0	1016 27.6	1044 28.4	325 8.8	203 5.5	935 25.4	152 4.1
⑤差別される人の側に問題があることも多い	3675 100.0	476 13.0	1050 28.6	496 13.5	398 10.8	1088 29.6	167 4.5
⑥差別をいちいち取り上げていたらきりがない	3675 100.0	442 12.0	800 21.8	740 20.1	650 17.7	873 23.8	170 4.6
⑦差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある	3675 100.0	1519 41.3	1419 38.6	125 3.4	33 0.9	418 11.4	161 4.4
⑧差別を問題にすると、より問題が解決しにくくなる	3675 100.0	430 11.7	798 21.7	558 15.2	516 14.0	1185 32.2	188 5.1
⑨差別問題に無関心な人にも理解してもらうことが必要	3675 100.0	1110 30.2	1296 35.3	234 6.4	100 2.7	758 20.6	177 4.8
⑩差別問題は、自分には関係がない	3675 100.0	87 2.4	240 6.5	897 24.4	1412 38.4	871 23.7	168 4.6

大阪府の調査(2005年度)では、『賛成』の割合は〔①差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである〕が80.4%で最も高く、次いで〔⑦差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある〕(79.9%)の順となっており、本市とは順位が逆転している。

一方、『反対』の割合は本市同様〔⑩差別問題は、自分には関係がない〕が62.8%で最も高く、次いで〔②差別は世の中に必要なこともある〕(56.3%)の順となっている。(図表4-1-1)

【図表4-1-2 性別・年齢別 「差別」についての考え①】

①差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである

	調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わからない	無回答	平均 評価 点	
全体	1120 100.0	613 54.7	301 26.9	47 4.2	39 3.5	88 7.9	32 2.9	4.29	
性別	男性	509 100.0	288 56.6	130 25.5	24 4.7	21 4.1	33 6.5	13 2.6	4.29
	女性	583 100.0	309 53.0	168 28.8	22 3.8	18 3.1	51 8.7	15 2.6	4.28
年齢別	16～19歳	30 100.0	12 40.0	9 30.0	1 3.3	3 10.0	5 16.7	-	3.87
	20～29歳	110 100.0	55 50.0	35 31.8	1 0.9	10 9.1	9 8.2	-	4.13
	30～39歳	176 100.0	96 54.5	53 30.1	6 3.4	2 1.1	15 8.5	4 2.3	4.37
	40～49歳	146 100.0	95 65.1	38 26.0	4 2.7	2 1.4	5 3.4	2 1.4	4.53
	50～59歳	203 100.0	118 58.1	56 27.6	8 3.9	6 3.0	13 6.4	2 1.0	4.35
	60歳以上	428 100.0	222 51.9	107 25.0	26 6.1	15 3.5	37 8.6	21 4.9	4.22

②差別は世の中に必要なこともある

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わからない	無回答	平均 評価 点	
全体	1120 100.0	91 8.1	171 15.3	178 15.9	433 38.7	205 18.3	42 3.8	3.64	
性別	男性	509 100.0	55 10.8	90 17.7	79 15.5	203 39.9	67 13.2	15 2.9	3.58
	女性	583 100.0	33 5.7	77 13.2	98 16.8	221 37.9	131 22.5	23 3.9	3.71
年齢別	16～19歳	30 100.0	2 6.7	2 6.7	7 23.3	10 33.3	9 30.0	-	3.70
	20～29歳	110 100.0	13 11.8	15 13.6	17 15.5	40 36.4	24 21.8	1 0.9	3.51
	30～39歳	176 100.0	14 8.0	30 17.0	24 13.6	74 42.0	30 17.0	4 2.3	3.66
	40～49歳	146 100.0	7 4.8	26 17.8	19 13.0	72 49.3	20 13.7	2 1.4	3.85
	50～59歳	203 100.0	13 6.4	24 11.8	35 17.2	87 42.9	40 19.7	4 2.0	3.80
	60歳以上	428 100.0	39 9.1	70 16.4	74 17.3	141 32.9	76 17.8	28 6.5	3.52

③差別をなくすために、行政は努力する必要がある

	調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わからない	無回答	平均 評価 点	
全体	1120 100.0	633 56.5	264 23.6	49 4.4	39 3.5	94 8.4	41 3.7	4.30	
性別	男性	509 100.0	300 58.9	110 21.6	29 5.7	25 4.9	33 6.5	12 2.4	4.27
	女性	583 100.0	317 54.4	150 25.7	19 3.3	13 2.2	59 10.1	25 4.3	4.32
年齢別	16～19歳	30 100.0	11 36.7	14 46.7	1 3.3	1 3.3	3 10.0	-	4.10
	20～29歳	110 100.0	65 59.1	28 25.5	6 5.5	2 1.8	8 7.3	1 0.9	4.36
	30～39歳	176 100.0	107 60.8	33 18.8	10 5.7	5 2.8	17 9.7	4 2.3	4.32
	40～49歳	146 100.0	87 59.6	37 25.3	7 4.8	2 1.4	12 8.2	1 0.7	4.38
	50～59歳	203 100.0	109 53.7	53 26.1	8 3.9	7 3.4	23 11.3	3 1.5	4.25
	60歳以上	428 100.0	239 55.8	95 22.2	16 3.7	20 4.7	29 6.8	29 6.8	4.30

④差別は法律で禁止する必要がある

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わからない	無回答	平均 評価 点	
全体	1120 100.0	332 29.6	292 26.1	116 10.4	99 8.8	246 22.0	35 3.1	3.59	
性別	男性	509 100.0	165 32.4	133 26.1	56 11.0	65 12.8	78 15.3	12 2.4	3.56
	女性	583 100.0	159 27.3	152 26.1	57 9.8	32 5.5	163 28.0	20 3.4	3.62
年齢別	16～19歳	30 100.0	7 23.3	10 33.3	6 20.0	-	7 23.3	-	3.60
	20～29歳	110 100.0	28 25.5	29 26.4	20 18.2	10 9.1	23 20.9	-	3.41
	30～39歳	176 100.0	45 25.6	43 24.4	12 6.8	18 10.2	54 30.7	4 2.3	3.49
	40～49歳	146 100.0	49 33.6	36 24.7	13 8.9	8 5.5	39 26.7	1 0.7	3.72
	50～59歳	203 100.0	56 27.6	61 30.0	22 10.8	17 8.4	44 21.7	3 1.5	3.59
	60歳以上	428 100.0	139 32.5	107 25.0	40 9.3	44 10.3	73 17.1	25 5.8	3.64

⑤差別される人の側に問題があることも多い

	調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わからない	無回答	平均 評価 点	
全体	1120 100.0	225 20.1	322 28.8	137 12.2	148 13.2	255 22.8	33 2.9	2.69	
性別	男性	509 100.0	126 24.8	158 31.0	56 11.0	70 13.8	87 17.1	12 2.4	2.57
	女性	583 100.0	94 16.1	157 26.9	79 13.6	75 12.9	160 27.4	18 3.1	2.79
年齢別	16～19歳	30 100.0	3 10.0	4 13.3	8 26.7	3 10.0	12 40.0	-	3.13
	20～29歳	110 100.0	10 9.1	30 27.3	25 22.7	23 20.9	22 20.0	-	3.19
	30～39歳	176 100.0	34 19.3	59 33.5	20 11.4	20 11.4	40 22.7	3 1.7	2.61
	40～49歳	146 100.0	26 17.8	39 26.7	27 18.5	26 17.8	27 18.5	1 0.7	2.92
	50～59歳	203 100.0	45 22.2	63 31.0	19 9.4	23 11.3	50 24.6	3 1.5	2.56
	60歳以上	428 100.0	102 23.8	120 28.0	36 8.4	50 11.7	96 22.4	24 5.6	2.53

⑥差別だという訴えをいちいち取り上げていたらきりがない

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わからない	無回答	平均 評価 点	
全体	1120 100.0	240 21.4	275 24.6	191 17.1	178 15.9	199 17.8	37 3.3	2.81	
性別	男性	509 100.0	116 22.8	133 26.1	85 16.7	97 19.1	65 12.8	13 2.6	2.83
	女性	583 100.0	119 20.4	140 24.0	102 17.5	77 13.2	126 21.6	19 3.3	2.78
年齢別	16～19歳	30 100.0	5 16.7	7 23.3	4 13.3	2 6.7	12 40.0	-	2.70
	20～29歳	110 100.0	17 15.5	28 25.5	34 30.9	18 16.4	13 11.8	-	3.07
	30～39歳	176 100.0	28 15.9	45 25.6	29 16.5	34 19.3	37 21.0	3 1.7	2.98
	40～49歳	146 100.0	26 17.8	33 22.6	29 19.9	29 19.9	26 17.8	3 2.1	3.01
	50～59歳	203 100.0	38 18.7	56 27.6	35 17.2	29 14.3	43 21.2	2 1.0	2.81
	60歳以上	428 100.0	121 28.3	105 24.5	56 13.1	62 14.5	59 13.8	25 5.8	2.59

【図表4-1-2 性別・年齢別 「差別」についての考え②】

⑦差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある

		調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わから ない	無回 答	平均評 価点
全 体		1120 100.0	617 55.1	332 29.6	28 2.5	25 2.2	83 7.4	35 3.1	4.37
性別	男性	509 100.0	294 57.8	151 29.7	14 2.8	10 2.0	28 5.5	12 2.4	4.42
	女性	583 100.0	309 53.0	175 30.0	13 2.2	14 2.4	52 8.9	20 3.4	4.34
年齢別	16～19歳	30 100.0	14 46.7	10 33.3	1 3.3	1 3.3	4 13.3	-	4.17
	20～29歳	110 100.0	69 62.7	34 30.9	2 1.8	-	5 4.5	-	4.55
	30～39歳	176 100.0	96 54.5	52 29.5	4 2.3	3 1.7	17 9.7	4 2.3	4.36
	40～49歳	146 100.0	82 56.2	49 33.6	4 2.7	4 2.7	6 4.1	1 0.7	4.39
	50～59歳	203 100.0	107 52.7	72 35.5	5 2.5	4 2.0	13 6.4	2 1.0	4.36
	60歳以上	428 100.0	235 54.9	109 25.5	11 2.6	12 2.8	35 8.2	26 6.1	4.35

⑧差別を問題にすると、より問題が解決しにくくなる
(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わから ない	無回 答	平均評 価点
全 体		1120 100.0	252 22.5	257 22.9	124 11.1	176 15.7	271 24.2	40 3.6	2.74
性別	男性	509 100.0	125 24.6	126 24.8	63 12.4	92 18.1	90 17.7	13 2.6	2.74
	女性	583 100.0	122 20.9	127 21.8	59 10.1	78 13.4	173 29.7	24 4.1	2.72
年齢別	16～19歳	30 100.0	1 3.3	8 26.7	2 6.7	2 6.7	17 56.7	-	2.87
	20～29歳	110 100.0	17 15.5	24 21.8	14 12.7	19 17.3	36 32.7	-	2.95
	30～39歳	176 100.0	35 19.9	37 21.0	22 12.5	35 19.9	43 24.4	4 2.3	2.91
	40～49歳	146 100.0	21 14.4	40 27.4	21 14.4	28 19.2	34 23.3	2 1.4	2.97
	50～59歳	203 100.0	54 26.6	53 26.1	24 11.8	33 16.3	35 17.2	4 2.0	2.64
	60歳以上	428 100.0	119 27.8	92 21.5	40 9.3	53 12.4	96 22.4	28 6.5	2.54

⑨差別問題に無関心な人にも理解してもらうことが必要である

		調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わから ない	無回 答	平均評 価点
全 体		1120 100.0	489 43.7	311 27.8	65 5.8	60 5.4	156 13.9	39 3.5	4.02
性別	男性	509 100.0	243 47.7	146 28.7	28 5.5	31 6.1	50 9.8	11 2.2	4.09
	女性	583 100.0	237 40.7	159 27.3	36 6.2	27 4.6	101 17.3	23 3.9	3.97
年齢別	16～19歳	30 100.0	13 43.3	9 30.0	1 3.3	2 6.7	5 16.7	-	4.00
	20～29歳	110 100.0	57 51.8	29 26.4	6 5.5	5 4.5	12 10.9	1 0.9	4.17
	30～39歳	176 100.0	65 36.9	46 26.1	12 6.8	10 5.7	39 22.2	4 2.3	3.84
	40～49歳	146 100.0	67 45.9	55 37.7	5 3.4	5 3.4	13 8.9	1 0.7	4.20
	50～59歳	203 100.0	80 39.4	66 32.5	14 6.9	6 3.0	34 16.7	3 1.5	4.00
	60歳以上	428 100.0	198 46.3	100 23.4	26 6.1	30 7.0	48 11.2	26 6.1	4.02

⑩差別問題は、自分には関係がない
(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わから ない	無回 答	平均評 価点
全 体		1120 100.0	42 3.8	66 5.9	208 18.6	523 46.7	241 21.5	40 3.6	4.02
性別	男性	509 100.0	25 4.9	28 5.5	90 17.7	254 49.9	98 19.3	14 2.8	4.05
	女性	583 100.0	17 2.9	36 6.2	117 20.1	255 43.7	137 23.5	21 3.6	3.99
年齢別	16～19歳	30 100.0	-	3 10.0	8 26.7	14 46.7	5 16.7	-	4.10
	20～29歳	110 100.0	2 1.8	6 5.5	20 18.2	64 58.2	15 13.6	3 2.7	4.29
	30～39歳	176 100.0	6 3.4	10 5.7	37 21.0	80 45.5	39 22.2	4 2.3	4.02
	40～49歳	146 100.0	3 2.1	7 4.8	36 24.7	77 52.7	22 15.1	1 0.7	4.22
	50～59歳	203 100.0	4 2.0	7 3.4	44 21.7	96 47.3	47 23.2	5 2.5	4.12
	60歳以上	428 100.0	27 6.3	30 7.0	62 14.5	178 41.6	107 25.0	24 5.6	3.83

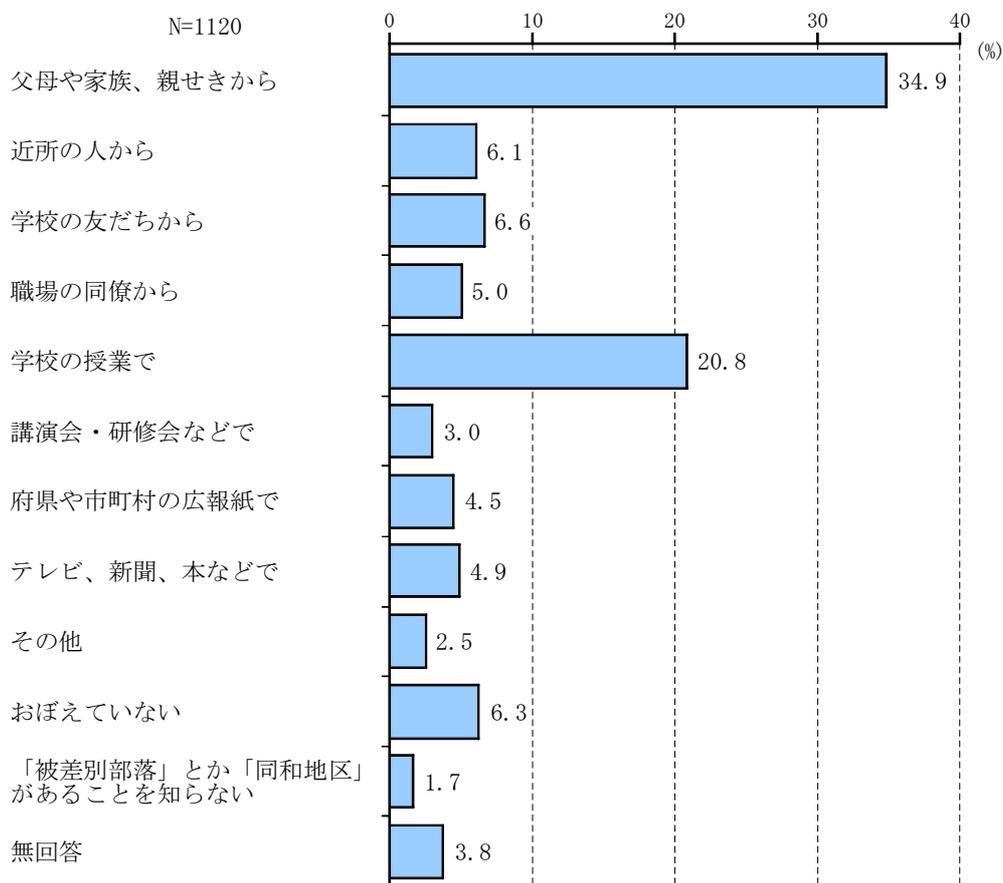
性別で平均評価点をみると、〔②差別は世の中に必要なこともある〕、〔③差別をなくすために、行政は努力する必要がある〕、〔④差別は法律で禁止する必要がある〕、〔⑤差別される人の側に問題があることも多い〕は女性が、その他の項目は男性が高くなっており、〔⑤差別される人の側に問題があることも多い〕で差が大きくなっている。

年齢別で平均評価点をみると、〔①差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである〕、〔②差別は世の中に必要なこともある〕、〔③差別をなくすために、行政は努力する必要がある〕、〔④差別は法律で禁止する必要がある〕、〔⑧差別を問題にすると、より問題が解決しにくくなる〕、〔⑨差別問題に無関心な人にも理解してもらうことが必要〕は40～49歳が最も高くなっている。また、〔⑤差別される人の側に問題があることも多い〕は若年層のほうが高い傾向にある。(図表4-1-2)

(2) 「被差別部落」や「同和地区」などを知ったきっかけ

問11. あなたは、日本の社会に「被差別部落」とか「同和地区」などによばれて差別を受けている地区があることを知っていますか。知っている場合、はじめて知ったのはどのようにしてですか。(〇は1つ)。

【図表4-2 「被差別部落」などを知ったきっかけ】



「被差別部落」や「同和地区」などを知ったきっかけをみると、「父母や家族、親せきから」が34.9%で最も多く、次いで「学校の授業で」(20.8%)の順となっている。(図表4-2)

前回調査と比較すると、「学校の授業で」が7.2ポイント、「学校の友だちから」が5.0ポイント減少し、「父母や家族、親せきから」が3.9ポイント上昇している。(図表4-2-1)

【図表 4-2-1 性別・年齢別 「被差別部落」などを知ったきっかけ】

(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	ら父母や家族、 親せきか	近所の 人から	学校の友だち から	職場の同僚 から	学校の授業 で	講演会・研 修会など で	府県や市 町村の広 報紙	でテレビ、 新聞、本 など	その他	おぼえて いない	「同和地 区」があ るこ	「被差別 部落」と か	無回 答
全 体		1120 100.0	391 34.9	68 6.1	74 6.6	56 5.0	233 20.8	34 3.0	50 4.5	55 4.9	28 2.5	70 6.3	19 1.7	42 3.8	
性 別	男性	509 100.0	171 33.6	35 6.9	41 8.1	29 5.7	89 17.5	22 4.3	26 5.1	27 5.3	13 2.6	36 7.1	4 0.8	16 3.1	
	女性	583 100.0	209 35.8	31 5.3	32 5.5	24 4.1	141 24.2	12 2.1	23 3.9	27 4.6	15 2.6	32 5.5	14 2.4	23 3.9	
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	8 26.7	1 3.3	3 10.0	-	9 30.0	1 3.3	1 3.3	2 6.7	2 6.7	1 3.3	2 6.7	-	
	20～29歳	110 100.0	31 28.2	2 1.8	2 1.8	2 1.8	55 50.0	1 0.9	-	4 3.6	4 3.6	4 3.6	4 3.6	1 0.9	
	30～39歳	176 100.0	46 26.1	6 3.4	9 5.1	10 5.7	75 42.6	1 0.6	4 2.3	4 2.3	2 1.1	10 5.7	5 2.8	4 2.3	
	40～49歳	146 100.0	46 31.5	5 3.4	9 6.2	6 4.1	55 37.7	4 2.7	2 1.4	3 2.1	3 2.1	12 8.2	-	1 0.7	
	50～59歳	203 100.0	88 43.3	11 5.4	20 9.9	11 5.4	21 10.3	6 3.0	11 5.4	13 6.4	6 3.0	10 4.9	2 1.0	4 2.0	
	60歳以上	428 100.0	161 37.6	41 9.6	30 7.0	24 5.6	15 3.5	21 4.9	31 7.2	28 6.5	11 2.6	31 7.2	6 1.4	29 6.8	
1998年度 (平成10年度)		1116 100.0	346 31.0	71 6.4	130 11.6	38 3.4	313 28.0	19 1.7	34 3.0	41 3.7	13 1.2	82 7.3		29 2.6	

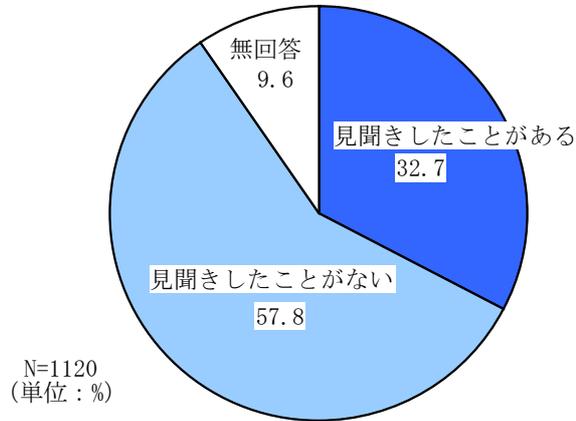
性別でみると、「学校の授業で」の割合は、女性が24.2%と男性（17.5%）を上回っている。それ以外では、「学校の友だちから」、「講演会・研修会などで」の割合は男性が、「父母や家族、親せきから」の割合は女性が高くなっている。

年齢別でみると、「学校の授業で」の割合は20～29歳が最も高く5割を占めている一方、50～59歳は10.3%、60歳以上は3.5%となっている。また、「父母や家族、親せきから」の割合は50～59歳が、「近所の人から」の割合は60歳以上が、それぞれ最も高くなっている。（図表 4-2-1）

(3) 同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験

問12. あなたは、ここ10年くらいの間に同和地区に対する差別的な発言や行動を直接見聞きされたことがありますか（○は1つ）。

【図表4-3 同和地区に対する差別的な言動を見聞きした経験】



同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験をみると、「見聞きしたことがない」が57.8%と過半数を占め、「見聞きしたことがある」は32.7%となっている。（図表4-3）

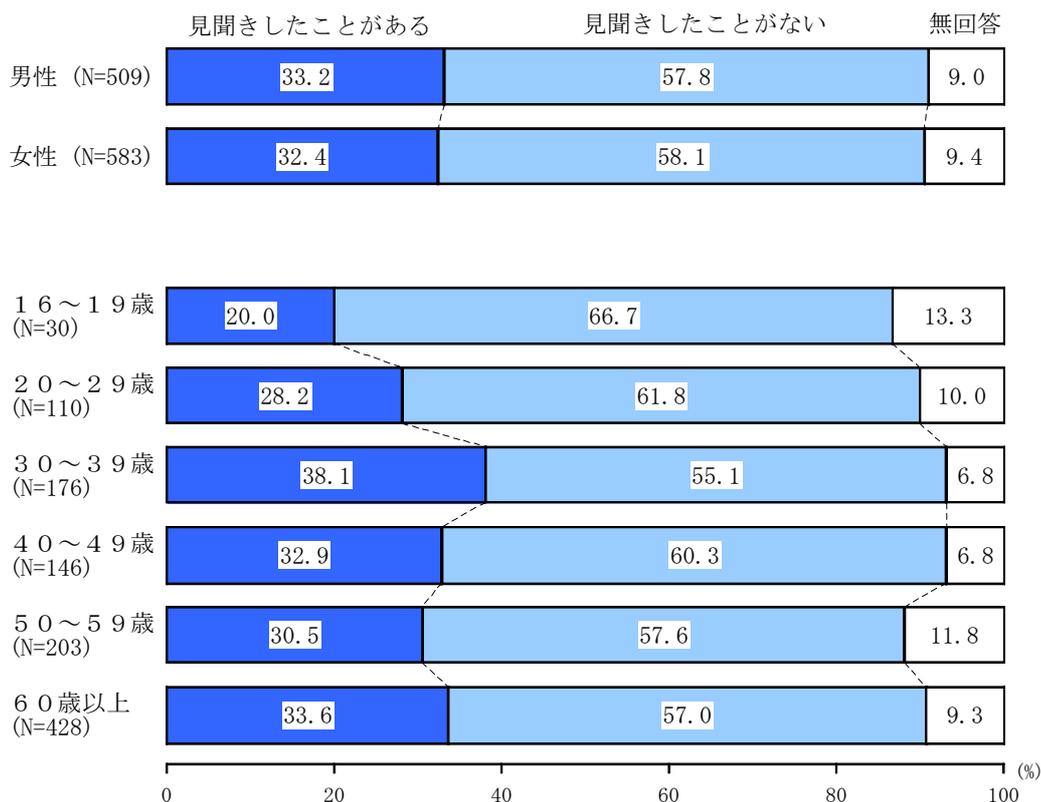
【図表4-3-1 同和地区に対する差別的な言動を見聞きした経験<過去の調査との比較>】

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	見聞きしたことがある	見聞きしたことがない	無回答
2006年度 (平成18年度)	1120	366	647	107
	100.0	32.7	57.8	9.6
1998年度 (平成10年度)	1116	301	649	166
	100.0	27.0	58.2	14.9

前回調査と比較すると、「見聞きしたことがある」が5.7ポイント上昇し、「見聞きしたことがない」が0.4ポイント減少している。（図表4-3-1）

【図表4-3-2 性別・年齢別 同和地区に対する差別的な言動を見聞きした経験】



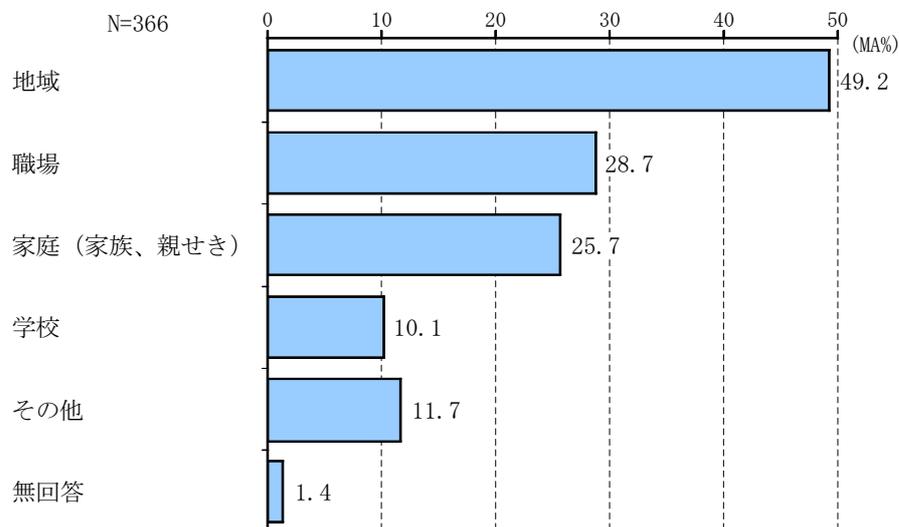
性別では、「見聞きしたことがある」の割合は男性のほうがやや高くなっているものの、大きな差はみられない。

年齢別でみると、「見聞きしたことがある」の割合は30～39歳が38.1%で最も高く、次いで60歳以上（33.6%）、40～49歳（32.9%）の順となっている。（図表4-3-2）

① 差別的な発言や行動を見聞きした場所

問12-1. どのような場面で見聞きされましたか（〇はいくつでも）。

【図表4-3A 差別的な言動を見聞きした場所】



問12で差別的な発言や行動を「見聞きしたことがある」と回答した人に、それを見聞きした場所をたずねたところ、「地域」が49.2%で最も多く、次いで「職場」(28.7%)、「家庭(家族、親せき)」(25.7%)の順となっている。(図表4-3A)

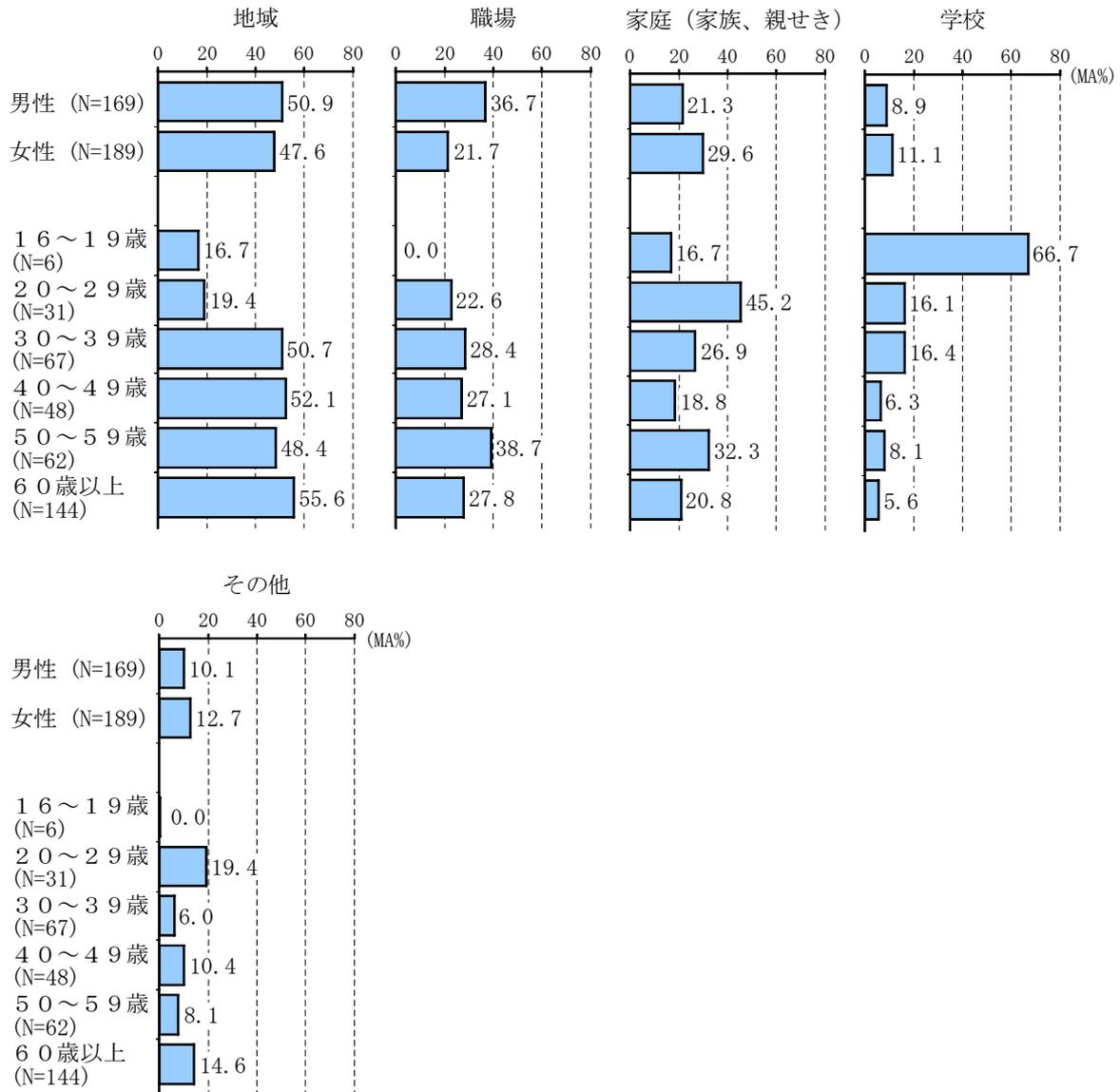
【図表4-3A-1 差別的な言動を見聞きした場所<過去の調査との比較>】

(上段：人、下段：MA%)

	調査数 (N)	家庭 (家族、 親せき)	地域	学校	職場	その他	無回答
2006年度(平成18年度)	366 100.0	94 25.7	180 49.2	37 10.1	105 28.7	43 11.7	5 1.4
1998年度(平成10年度)	301 100.0	99 32.9	134 44.5	34 11.3	106 35.2	14 4.7	5 1.7

前回調査と比較すると、「地域」が4.7ポイント上昇しているものの、「家庭(家族、親せき)」は7.2ポイント、「職場」は6.5ポイント減少している。(図表4-3A-1)

【図表4-3A-2 性別・年齢別 差別的な言動を見聞きした場所】



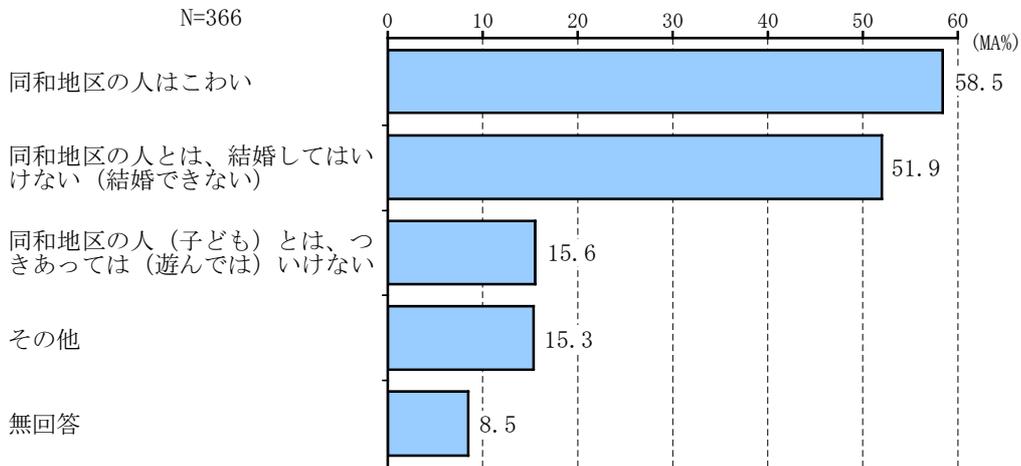
性別で見ると、「職場」、「地域」の割合は男性が、「家庭（家族、親せき）」「学校」の割合は女性が高くなっている。

年齢別で見ると、「地域」の割合は30歳以上で5割前後を占めているのに対し、29歳以下では20%未満となっている。「家庭（家族、親せき）」の割合は20～29歳が45.2%で最も高く、次いで50～59歳（32.3%）、30～39歳（26.9%）の順となっている。また、「学校」の割合は若年層のほうが高い傾向にある。（図表4-3A-2）

② 見聞きした差別的な発言や行動の内容

問12-2. あなたは、次のようなことを見聞きしたことがありますか（〇はいくつでも）。

【図表4-3B 見聞きした差別的な発言や行動の内容】



問12で差別的な発言や行動を「見聞きしたことがある」と回答した人に、その内容をたずねたところ、「同和地区の人はこわい」が58.5%で最も多く、次いで「同和地区の人とは、結婚してはいけない (結婚できない)」(51.9%)の順となっている。(図表4-3B)

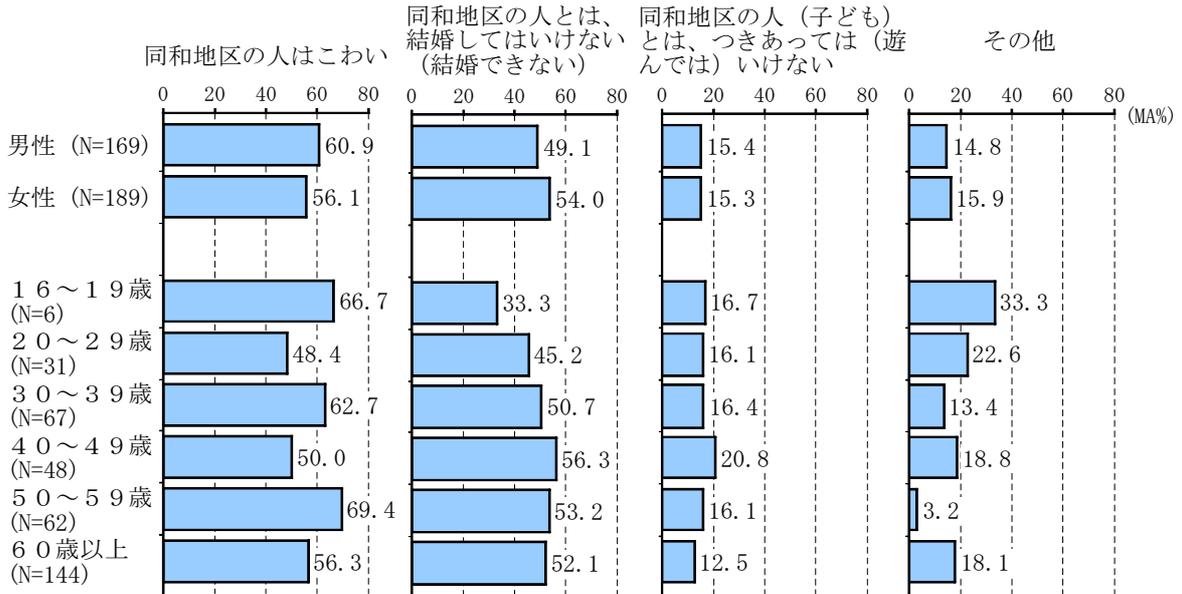
【図表4-3B-1 見聞きした差別的な発言や行動の内容<過去の調査との比較>】

(上段：人、下段：MA%)

	調査数 (N)	同和地区の人とは、つきあっては (遊んでは) いけない	同和地区の人はこわい	同和地区の人とは、結婚してはいけない (結婚できない)	同和地区の人とは、結婚してはいけない (結婚できない)	同和地区の人とは、結婚してはいけない (結婚できない)	その他	聞いたことがない	無回答
2006年度 (平成18年度)	366 100.0	57 15.6	190 51.9	214 58.5			56 15.3		31 8.5
1998年度 (平成10年度)	1116 100.0	168 15.1	550 49.3	511 45.8	194 17.4		60 5.4	207 18.5	71 6.4

前回調査と比較すると、「同和地区の人はこわい」の割合が12.7ポイント増と上昇が目立っている。(図表4-3B-1)

【図表 4-3B-2 性別・年齢別 見聞きした差別的な発言や行動の内容】



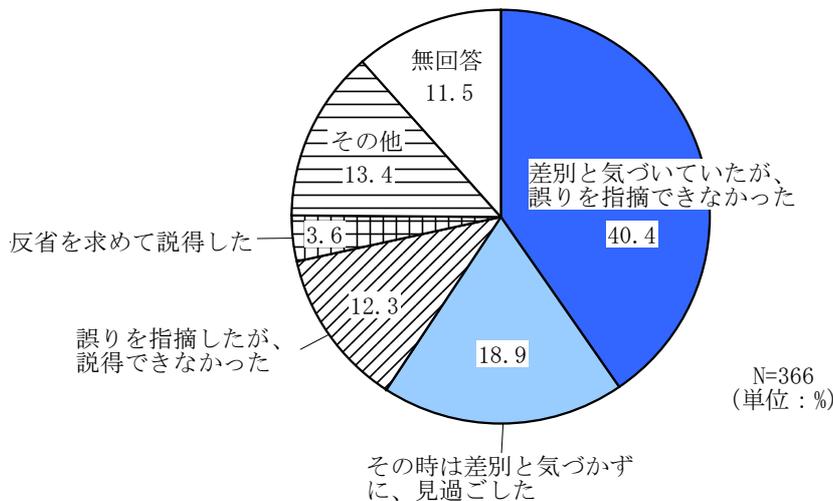
性別で見ると、「同和地区の人とは、結婚してはいけない (結婚できない)」の割合は女性が、「同和地区の人は怖い」の割合は男性が高くなっている。

年齢別で見ると、「同和地区の人 (子ども) とは、つきあっては (遊んでは) いけない」、「同和地区の人とは、結婚してはいけない (結婚できない)」の割合は、40~49歳が最も高くなっている。「同和地区の人は怖い」の割合は50~59歳が69.4%で最も高く、20~29歳が48.4%で最も低くなっている。(図表 4-3B-2)

③ 差別的な発言や行動を見聞きした時の対応

問12-3. 見聞きされた時、あなたはどうかされましたか (〇はいくつでも)。

【図表 4-3C 差別的な言動を見聞きした時の対応】



問12で差別的な発言や行動を「見聞きしたことがある」と回答した人に、その時の対応をたずねたところ、「差別と気づいていたが、誤りを指摘できなかった」が40.4%で最

も多く、次いで「その時は差別と気づかずに、見過ごした」(18.9%)、「誤りを指摘したが、説得できなかった」(12.3%)の順となっている。(図表4-3C)

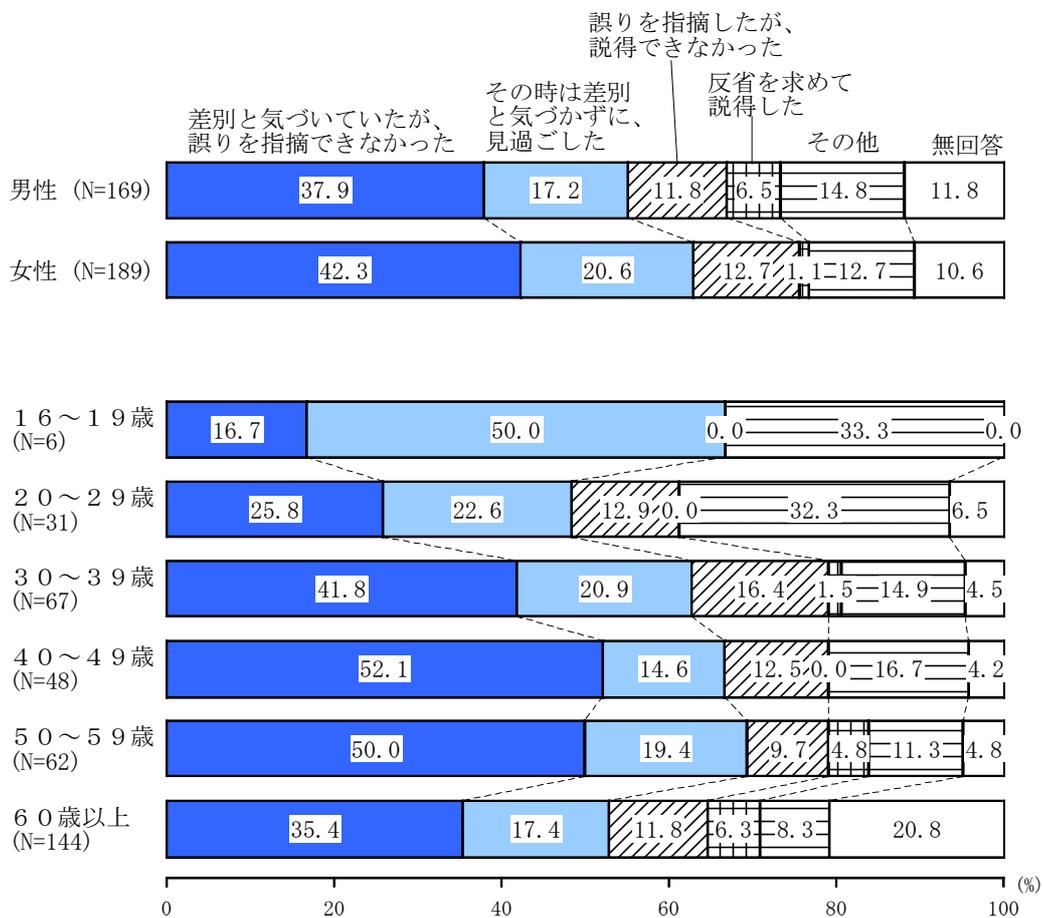
【図表4-3C-1 差別的な言動を見聞きした時の対応<過去の調査との比較>】

(上段：人、下段：%)

	調査数(N)	誤差別を指摘できていなかったが、	にその時は差別と気づかず見過ごした	で誤りを指摘したが、説得できなかった	反省を求めて説得した	その他	無回答
2006年度(平成18年度)	366	148	69	45	13	49	42
	100.0	40.4	18.9	12.3	3.6	13.4	11.5
1998年度(平成10年度)	301	127	58	29	26	46	15
	100.0	42.2	19.3	9.6	8.6	15.3	5.0

前回調査と比較すると、「誤りを指摘したが、説得できなかった」の割合が2.7ポイント上昇し、それ以外の項目の割合は低下している。(図表4-3C-1)

【図表4-3C-2 性別 差別的な言動を見聞きした時の対応】



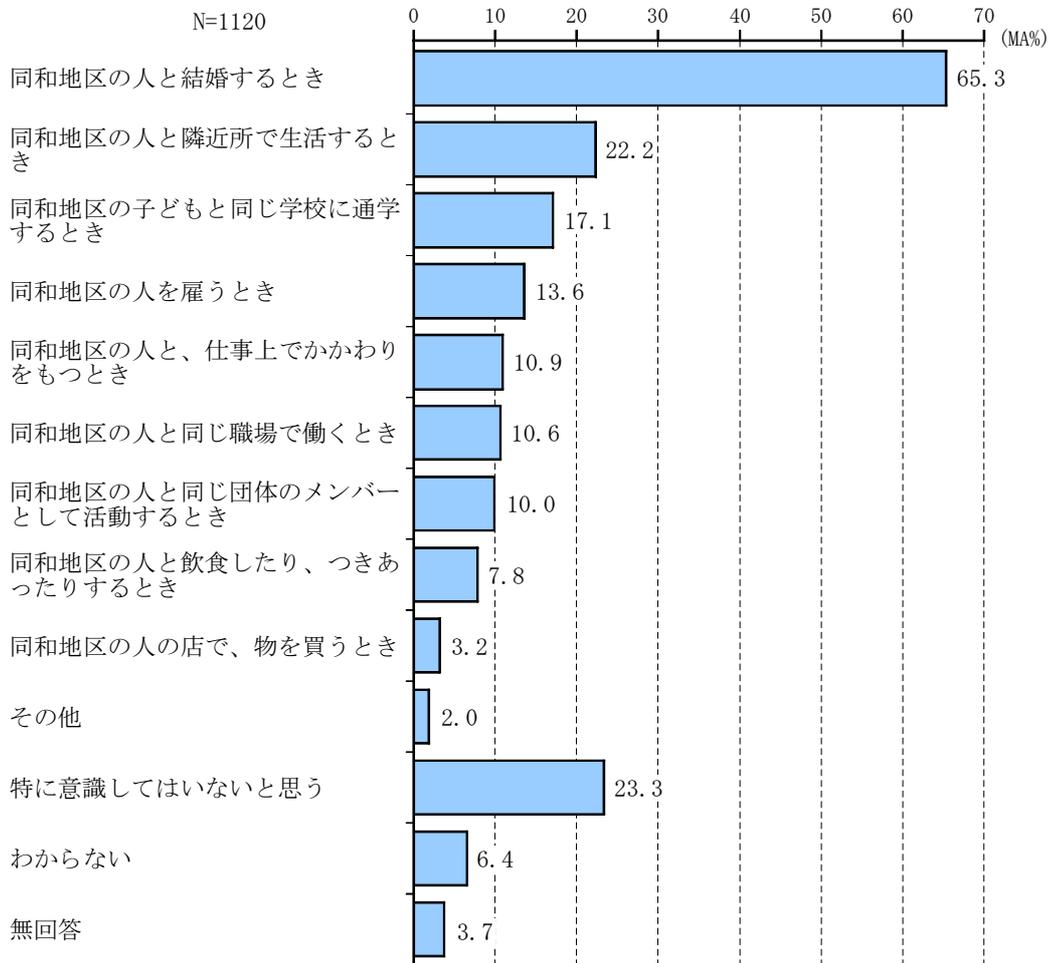
性別で見ると、「差別と気づいていたが、誤りを指摘できなかった」、「その時は差別と気づかずに、見過ごした」、「誤りを指摘したが、説得できなかった」の割合は女性が、「反省を求めて説得した」の割合は男性が高くなっている。

年齢別で見ると、「差別と気づいていたが、誤りを指摘できなかった」は40～49歳（52.1%）が最も高く、「反省を求めて説得した」の割合は高年層のほうが、「その時は差別と気づかずに、見過ごした」の割合は若年層のほうが高い傾向にある。（図表4－3C－2）

(4) 世間の人々が同和地区の人を意識していると思う時

問13. あなたは、世間の人々が、どういう場合に同和地区の人のことを気にしたり、意識しているとお考えですか（〇はいくつでも）。

【図表4-4 世間が同和地区の人を意識していると思う時】



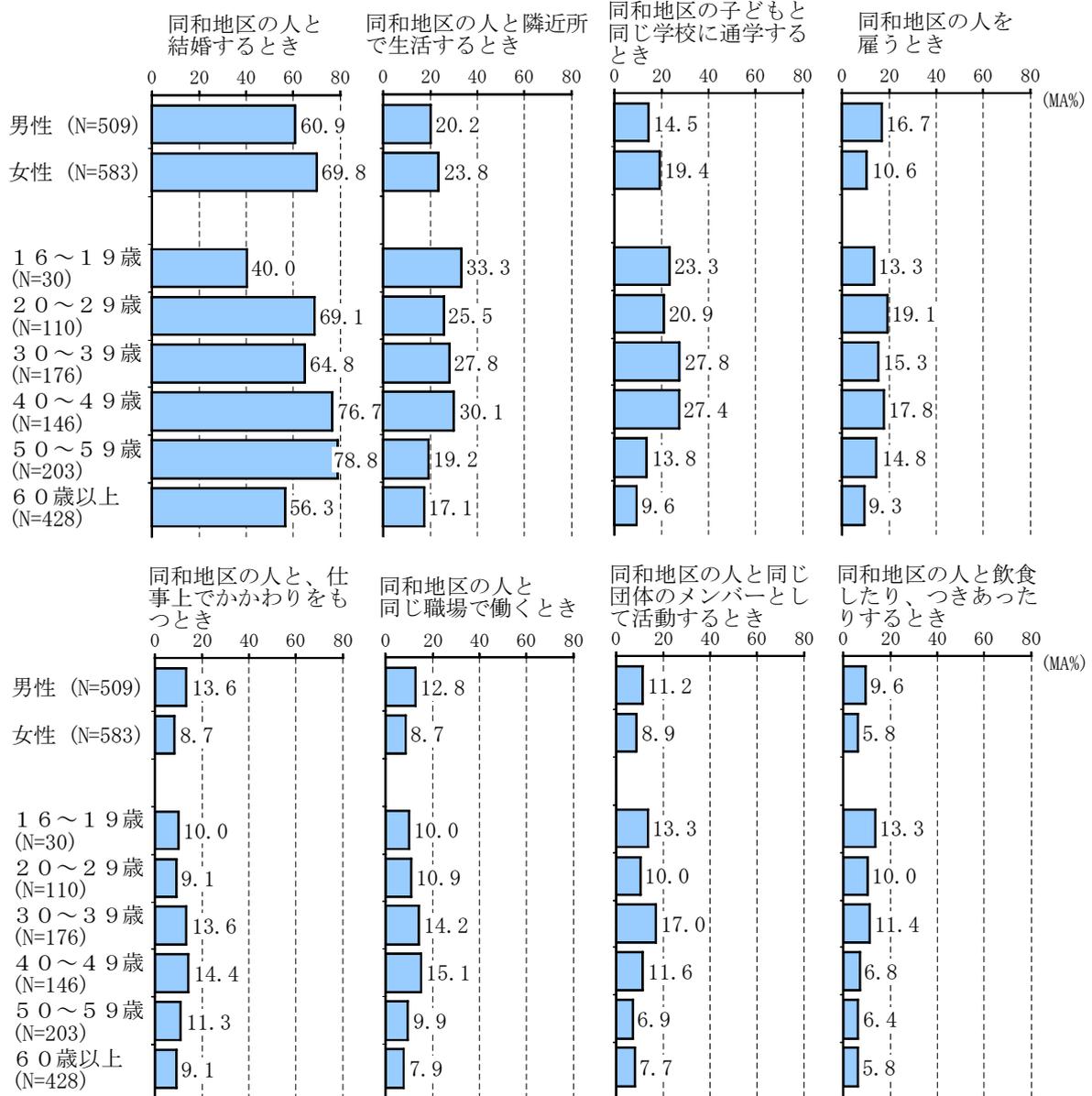
世間の人々が同和地区の人を意識していると思う時をみると、「同和地区の人と結婚するとき」が65.3%で最も多く、「特に意識してはいないと思う」は23.3%となっており、全体の66.6%が何らかの場面で意識していると考えている。(図表4-4)

【図表4-4-1 世間が同和地区の人を意識していると思う時<過去の調査との比較>】

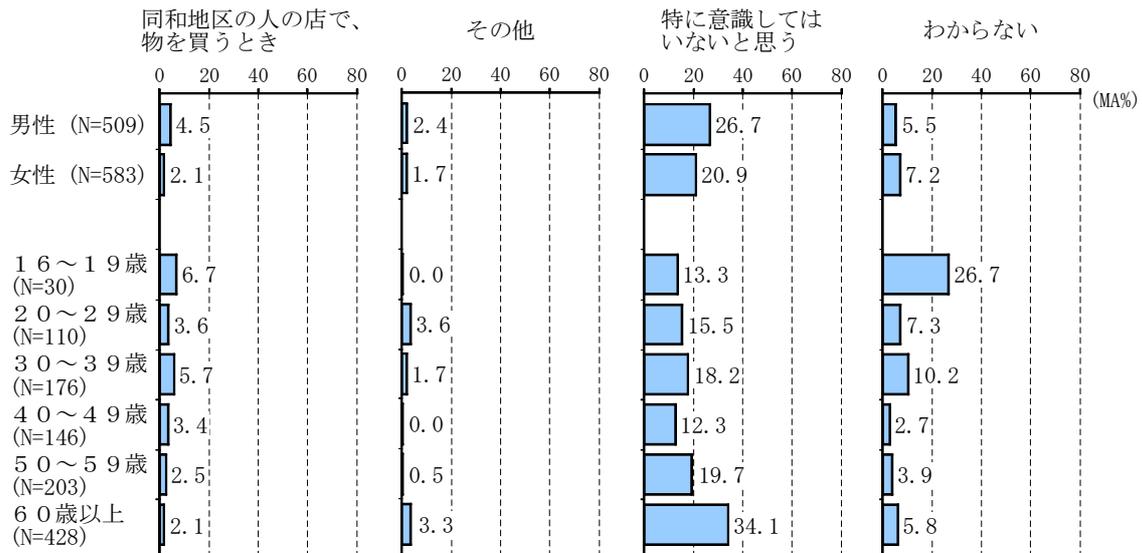
調査年度	調査数 (N)	(上段：人、下段：MA%)												
		同和地区の人と結婚するとき	同和地区の人を雇うとき	同和地区の人と同じ職場で働くとき	同和地区の子どもと同じ学校に通学するとき	同和地区の人と隣近所で生活するとき	同和地区の人の人と同じ団体のメンバーとして活動するとき	同和地区の人と飲食したり、つきあったりするとき	同和地区の人の店で、物を買うとき	その他	特に意識してはいないと思う	わからない	無回答	
2006年度 (平成18年度)	1120	731	152	119	191	249	112	87	36	122	22	261	72	41
	100.0	65.3	13.6	10.6	17.1	22.2	10.0	7.8	3.2	10.9	2.0	23.3	6.4	3.7
1998年度 (平成10年度)	1116	756	175	138	167	256	120	89	58	143	18	236	74	33
	100.0	67.7	15.7	12.4	15.0	22.9	10.8	8.0	5.2	12.8	1.6	21.1	6.6	3.0

前回調査と比較すると、「同和地区の子どもと同じ学校に通学するとき」の割合は2.1ポイント上昇しているが、それ以外の項目の割合は低下している。また、意識している人の割合は、前回調査（69.3%）に比べ2.7ポイント低下している。（図表4-4-1）

【図表4-4-2 性別・年齢別 世間が同和地区の人を意識していると思う時①】



【図表4-4-2 性別・年齢別 世間が同和地区の人を意識していると思う時②】



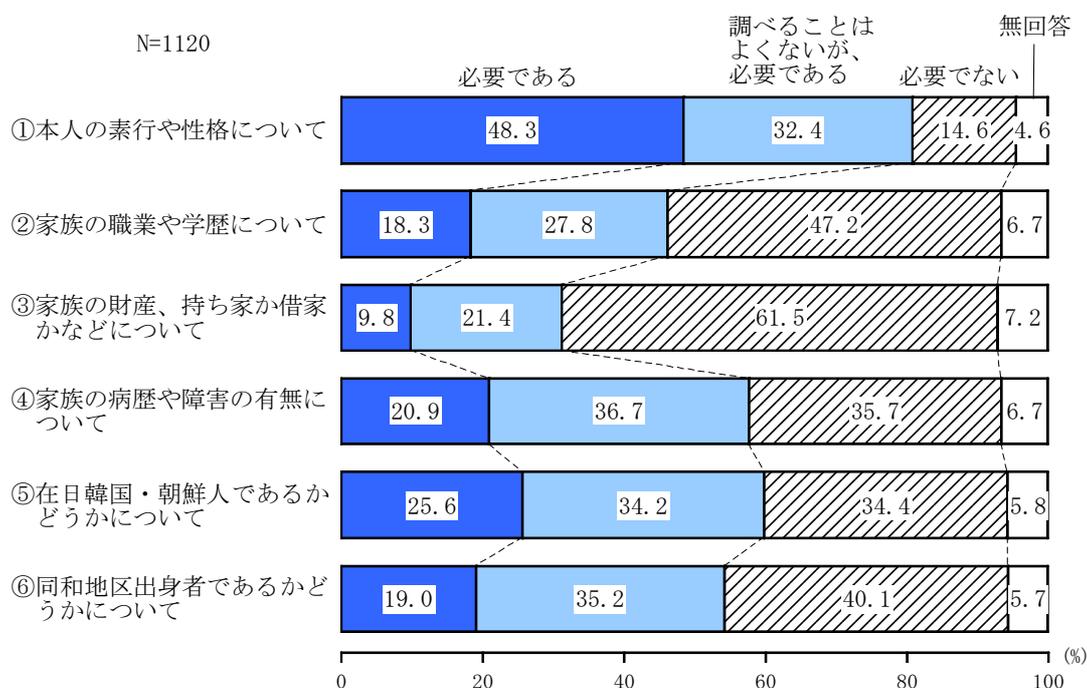
性別で見ると、「同和地区の人と結婚するとき」、「同和地区の人と隣近所で生活するとき」、「同和地区の子どもと同じ学校に通学するとき」の割合は女性が、「同和地区の人を雇うとき」、「同和地区の人と、仕事上でかかわりをもつとき」、「同和地区の人と同じ職場で働くとき」、「同和地区の人と同じ団体のメンバーとして活動するとき」、「同和地区の人と飲食したり、つきあったりするとき」、「同和地区の人の店で、物を買うとき」の割合は男性が高くなっている。

年齢別で見ると、「同和地区の子どもと同じ学校に通学するとき」、「同和地区の人と、仕事上でかかわりをもつとき」、「同和地区の人と同じ職場で働くとき」の割合は、30～49歳が高くなっている。また、「同和地区の人と同じ団体のメンバーとして活動するとき」、「同和地区の人と飲食したり、つきあったりするとき」の割合は、若年層のほうが高い傾向にある。(図表4-4-2)

(5) 子どもの結婚相手に対する調査の必要性

問14. あなたのお子さんや結婚相手について（お子さんがいない場合はいと仮定して）、次のようなことを調べることについて、どのようにお考えですか。①～⑥のそれぞれについてお答えください（○はそれぞれ1つずつ）。

【図表4-5 子どもの結婚相手に対する調査の必要性】



子どもの結婚相手に対する調査の必要性をみると、「必要である」の割合は〔①本人の素行や性格について〕が48.3%で最も高く、次いで〔⑤在日韓国・朝鮮人であるかどうかについて〕(25.6%)の順となっている。また、これに「調べることはよくないが、必要である」をあわせた『必要である』の割合も、同じ順で高くなっている。

一方、「必要でない」の割合は〔③家族の財産、持ち家か借家かなどについて〕が61.5%で最も高く、次いで〔②家族の職業や学歴について〕(47.2%)の順となっている。(図表4-5)

前回調査と比較すると、『必要である』は〔④家族の病歴や障害の有無について〕で5.2ポイント上昇しており、「必要でない」は〔⑥同和地区出身者であるかどうかについて〕で2.6ポイント上昇している。(図表4-5-1)

【図表４－５－１ 性別・年齢別 子どもの結婚相手に対する調査の必要性】

①本人の素行や性格について

②家族の職業や学歴について

③家族の財産、持ち家か借家かなどについて
(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	必要である	が調べることはよくない	必要でない	無回答			調査数 (N)	必要である	が調べることはよくない	必要でない	無回答			調査数 (N)	必要である	が調べることはよくない	必要でない	無回答											
全体		1120	541	363	164	52	100.0	48.3	32.4	14.6	4.6	1120	205	311	529	75	100.0	18.3	27.8	47.2	6.7	1120	110	240	689	81	100.0	9.8	21.4	61.5	7.2
性別	男性	509	258	150	78	23	100.0	50.7	29.5	15.3	4.5	509	96	144	241	28	100.0	18.9	28.3	47.3	5.5	509	58	102	319	30	100.0	11.4	20.0	62.7	5.9
	女性	583	272	205	83	23	100.0	46.7	35.2	14.2	3.9	583	101	161	280	41	100.0	17.3	27.6	48.0	7.0	583	45	133	361	44	100.0	7.7	22.8	61.9	7.5
年齢別	16～19歳	30	12	14	2	2	100.0	40.0	46.7	6.7	6.7	30	5	8	15	2	100.0	16.7	26.7	50.0	6.7	30	4	5	19	2	100.0	13.3	16.7	63.3	6.7
	20～29歳	110	68	30	12	-	100.0	61.8	27.3	10.9	-	110	27	37	46	-	100.0	24.5	33.6	41.8	-	110	10	32	68	-	100.0	9.1	29.1	61.8	-
	30～39歳	176	87	50	35	4	100.0	49.4	28.4	19.9	2.3	176	45	45	81	5	100.0	25.6	25.6	46.0	2.8	176	23	38	111	4	100.0	13.1	21.6	63.1	2.3
	40～49歳	146	66	52	24	4	100.0	45.2	35.6	16.4	2.7	146	26	34	83	3	100.0	17.8	23.3	56.8	2.1	146	15	31	96	4	100.0	10.3	21.2	65.8	2.7
	50～59歳	203	95	66	39	3	100.0	46.8	32.5	19.2	1.5	203	27	61	109	6	100.0	13.3	30.0	53.7	3.0	203	17	44	136	6	100.0	8.4	21.7	67.0	3.0
	60歳以上	428	201	144	48	35	100.0	47.0	33.6	11.2	8.2	428	68	120	186	54	100.0	15.9	28.0	43.5	12.6	428	35	85	249	59	100.0	8.2	19.9	58.2	13.8
1998年度 (平成10年度)		1116	423	437	187	69	100.0	37.9	39.2	16.8	6.2	1116	121	342	552	101	100.0	10.8	30.6	49.5	9.1	1116	78	222	706	110	100.0	7.0	19.9	63.3	9.9

④家族の病歴や障害の有無について

⑤在日韓国・朝鮮人であるかどうかについて

⑥同和地区出身者であるかどうかについて
(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	必要である	が調べることはよくない	必要でない	無回答			調査数 (N)	必要である	が調べることはよくない	必要でない	無回答			調査数 (N)	必要である	が調べることはよくない	必要でない	無回答											
全体		1120	234	411	400	75	100.0	20.9	36.7	35.7	6.7	1120	287	383	385	65	100.0	25.6	34.2	34.4	5.8	1120	213	394	449	64	100.0	19.0	35.2	40.1	5.7
性別	男性	509	104	180	195	30	100.0	20.4	35.4	38.3	5.9	509	124	168	192	25	100.0	24.4	33.0	37.7	4.9	509	92	169	223	25	100.0	18.1	33.2	43.8	4.9
	女性	583	121	224	199	39	100.0	20.8	38.4	34.1	6.7	583	154	206	189	34	100.0	26.4	35.3	32.4	5.8	583	112	217	220	34	100.0	19.2	37.2	37.7	5.8
年齢別	16～19歳	30	5	12	11	2	100.0	16.7	40.0	36.7	6.7	30	5	10	13	2	100.0	16.7	33.3	43.3	6.7	30	3	11	14	2	100.0	10.0	36.7	46.7	6.7
	20～29歳	110	26	39	45	-	100.0	23.6	35.5	40.9	-	110	27	28	55	-	100.0	24.5	25.5	50.0	-	110	23	31	56	-	100.0	20.9	28.2	50.9	-
	30～39歳	176	38	66	68	4	100.0	21.6	37.5	38.6	2.3	176	44	58	70	4	100.0	25.0	33.0	39.8	2.3	176	30	59	82	5	100.0	17.0	33.5	46.6	2.8
	40～49歳	146	28	51	63	4	100.0	19.2	34.9	43.2	2.7	146	35	44	63	4	100.0	24.0	30.1	43.2	2.7	146	31	46	65	4	100.0	21.2	31.5	44.5	2.7
	50～59歳	203	31	84	81	7	100.0	15.3	41.4	39.9	3.4	203	45	85	70	3	100.0	22.2	41.9	34.5	1.5	203	41	75	83	4	100.0	20.2	36.9	40.9	2.0
	60歳以上	428	98	151	126	53	100.0	22.9	35.3	29.4	12.4	428	121	150	110	47	100.0	28.3	35.0	25.7	11.0	428	76	163	144	45	100.0	17.8	38.1	33.6	10.5
1998年度 (平成10年度)		1116	168	416	430	102	100.0	15.1	37.3	38.5	9.1	1116	207	457	365	87	100.0	18.5	40.9	32.7	7.8	1116	160	447	419	90	100.0	14.3	40.1	37.5	8.1

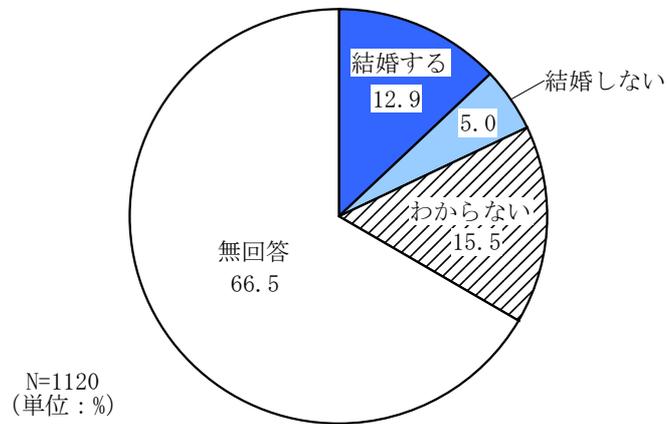
性別でみると、『必要である』の割合は、〔②家族の職業や学歴について〕、〔③家族の財産、持ち家か借家かなどについて〕は男性が、〔④家族の病歴や障害の有無について〕、〔⑤在日韓国・朝鮮人であるかどうかについて〕、〔⑥同和地区出身者であるかどうかについて〕は女性が高くなっている。なお、〔①本人の素行や性格について〕は、「必要である」の割合は男性のほうがやや高いが、「調べることはよくないが、必要である」の割合は逆に女性のほうがやや高くなっている。

年齢別でみると、『必要である』の割合は、〔①本人の素行や性格について〕、〔②家族の職業や学歴について〕は若年層のほうが高く、〔⑤在日韓国・朝鮮人であるかどうかについて〕、〔⑥同和地区出身者であるかどうかについて〕は高年層のほうが高い傾向にある。(図表４－５－１)

(6) 結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応

問15. もし、あなたが恋愛し、結婚を決めた人が同和地区の人であるとわかった場合、どうされますか（○は1つ）。

【図表4-6 結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合】



結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応をみると、「結婚する」が12.9%、「結婚しない」が5.0%となっている。(図表4-6)

【図表4-6-1 結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合<過去の調査との比較>】

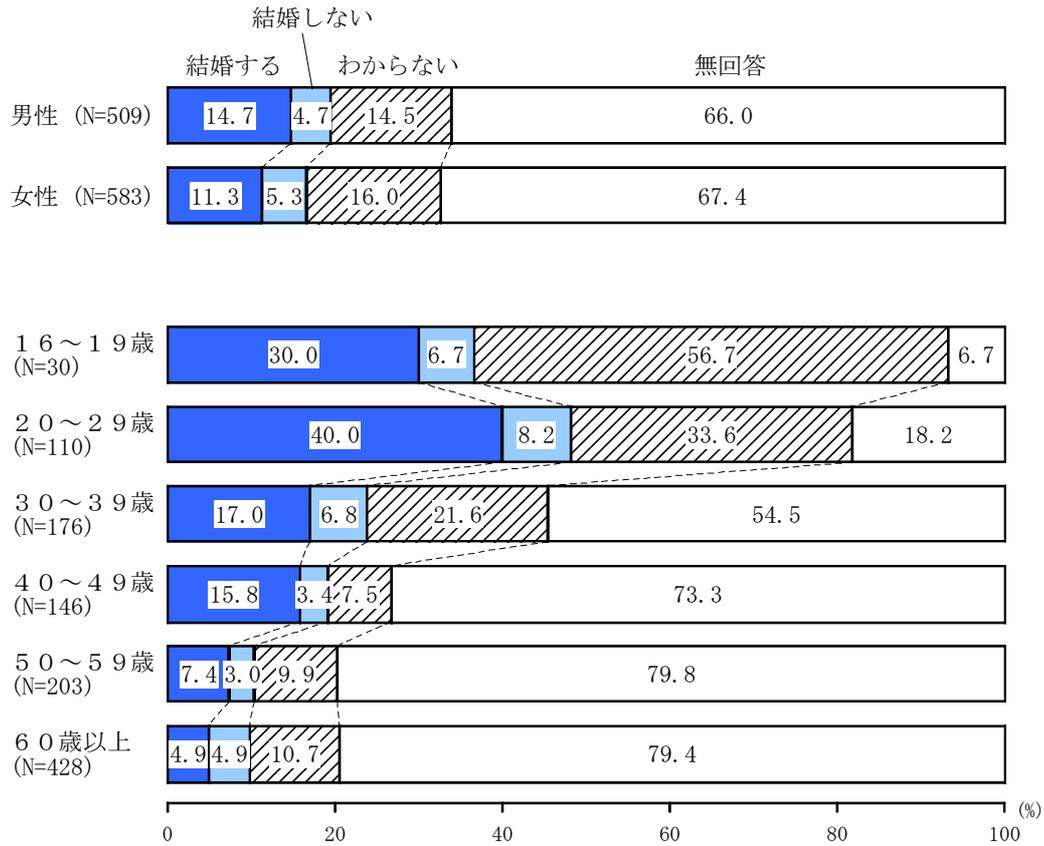
(上段: 人、下段: %)

	調査数 (N)	結婚する	結婚しない	わからない
2006年度 (平成18年度)	375	145	56	174
	100.0	38.7	14.9	46.4
1998年度 (平成10年度)	253	120	33	100
	100.0	47.4	13.0	39.5

※1998年度調査と比較するため、無回答を除外した。

前回調査と比較すると、「結婚する」の割合は8.7ポイント低下し、「結婚しない」の割合は1.9ポイント上昇している。(図表4-6-1)

【図表4-6-2 性別・年齢別 結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合】



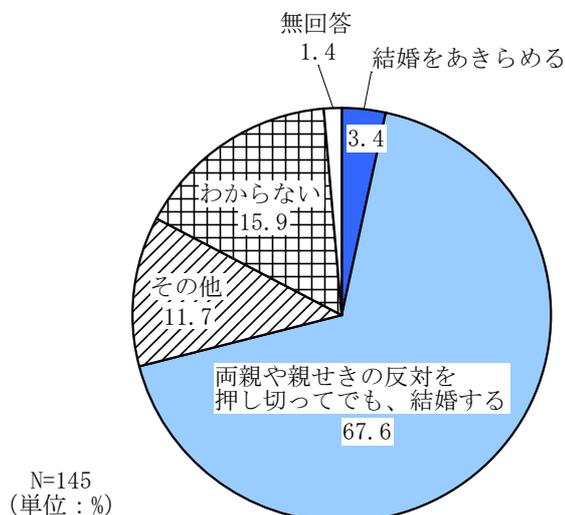
性別で見ると、「結婚する」の割合は男性のほうが高くなっている。

年齢別で見ると、「結婚する」の割合は若年層のほうが高く、20～29歳で40.0%と最も高くなっている。(図表4-6-2)

① 両親や親せきに反対された場合の対応

問15-1. もし、両親や親せきが「家族の縁談にさしさわりのある」などと言って、あなたが説得しても強く反対した場合、どうされますか（○は1つ）。

【図表4-6A 両親や親せきに反対された場合】



問15で「結婚する」と回答した人に、両親や親せきに反対された場合の対応をたずねたところ、「両親や親せきの反対を押し切ってでも、結婚する」が67.6%と全体の3分の2を占め、「結婚をあきらめる」は3.4%となっている。(図表4-6A)

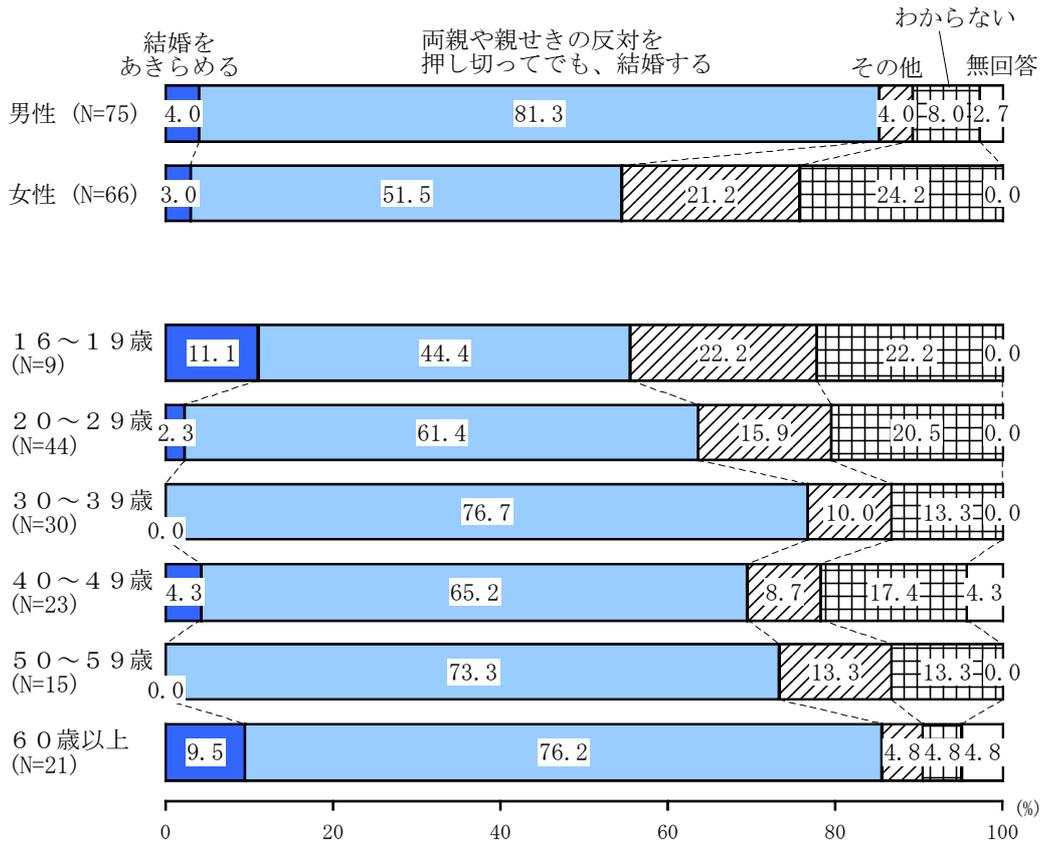
【図表4-6A-1 両親や親せきに反対された場合<過去の調査との比較>】

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	結婚をあきらめる	両親や親せきの反対を押し切る	その他	わからない	無回答
2006年度 (平成18年度)	145	5	98	17	23	2
	100.0	3.4	67.6	11.7	15.9	1.4
1998年度 (平成10年度)	120	8	68	15	28	1
	100.0	6.7	56.7	12.5	23.3	0.8

前回調査と比較すると、「結婚をあきらめる」の割合は3.3ポイント低下し、「両親や親せきの反対を押し切ってでも、結婚する」の割合は10.9ポイント上昇している。(図表4-6A-1)

【図表4-6A-2 性別・年齢別 両親や親せきに反対された場合】



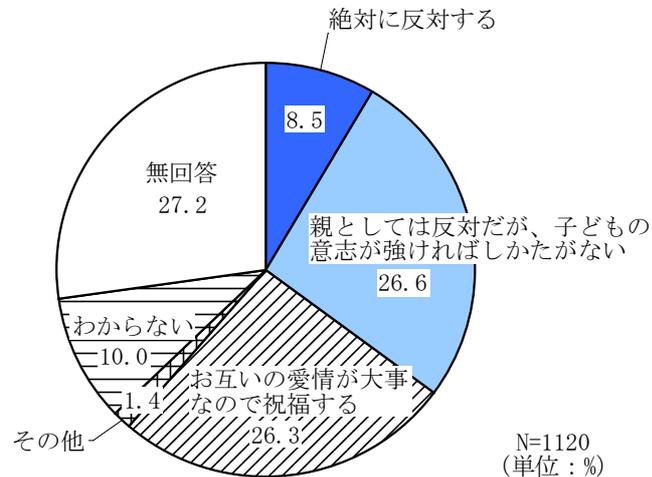
性別で見ると、「両親や親せきの反対を押し切ってでも、結婚する」の割合は、女性の51.5%に対し、男性は81.3%と29.8ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「両親や親せきの反対を押し切ってでも、結婚する」の割合は30～39歳が76.7%で最も高く、次いで60歳以上（76.2%）、50～59歳（73.3%）の順となっている。（図表4-6A-2）

(7) 子どもと同和地区の人との結婚話が進んでいる場合の対応

問16. もし、あなたのお子さんが、同和地区の人と恋愛し、結婚まで話が進んでいる場合、どうされますか（○は1つ）。

【図表4-7 子どもと同和地区の人との結婚】



子どもと同和地区の人との結婚話が進んでいる場合の対応をみると、「親としては反対だが、子どもの意志が強ければしかたがない」(26.6%) および「お互いの愛情が大事なので祝福する」(26.3%) が多く、「絶対に反対する」は8.5%となっている。(図表4-7)

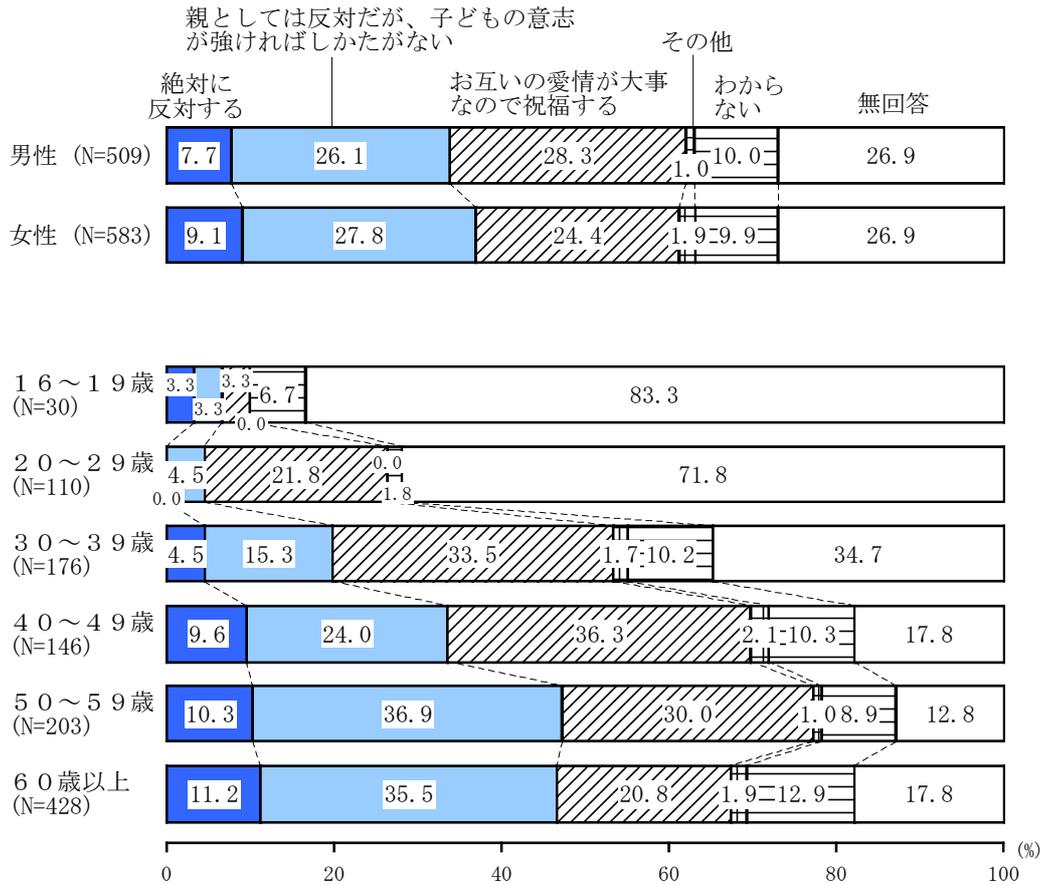
【図表4-7-1 子どもと同和地区の人との結婚<過去の調査との比較>】

(上段: 人、下段: %)

	調査数 (N)	絶対に反対する	かど親 たもとの がのし な意て い志は が反 強対 けだ れが、 ばし子	でお 祝互 福い すの る愛 情が 大事 なの	そ の 他	わ か ら な い
2006年度 (平成18年度)	815	95	298	294	16	112
	100.0	11.7	36.6	36.1	2.0	13.7
1998年度 (平成10年度)	736	83	286	218	29	120
	100.0	11.3	38.9	29.6	3.9	16.3

前回調査と比較すると、「お互いの愛情が大事なので祝福する」の割合は6.5ポイント上昇し、「親としては反対だが、子どもの意志が強ければしかたがない」の割合は2.3ポイント低下している。(図表4-7-1)

【図表4-7-2 性別・年齢別 子どもと同和地区の人との結婚】



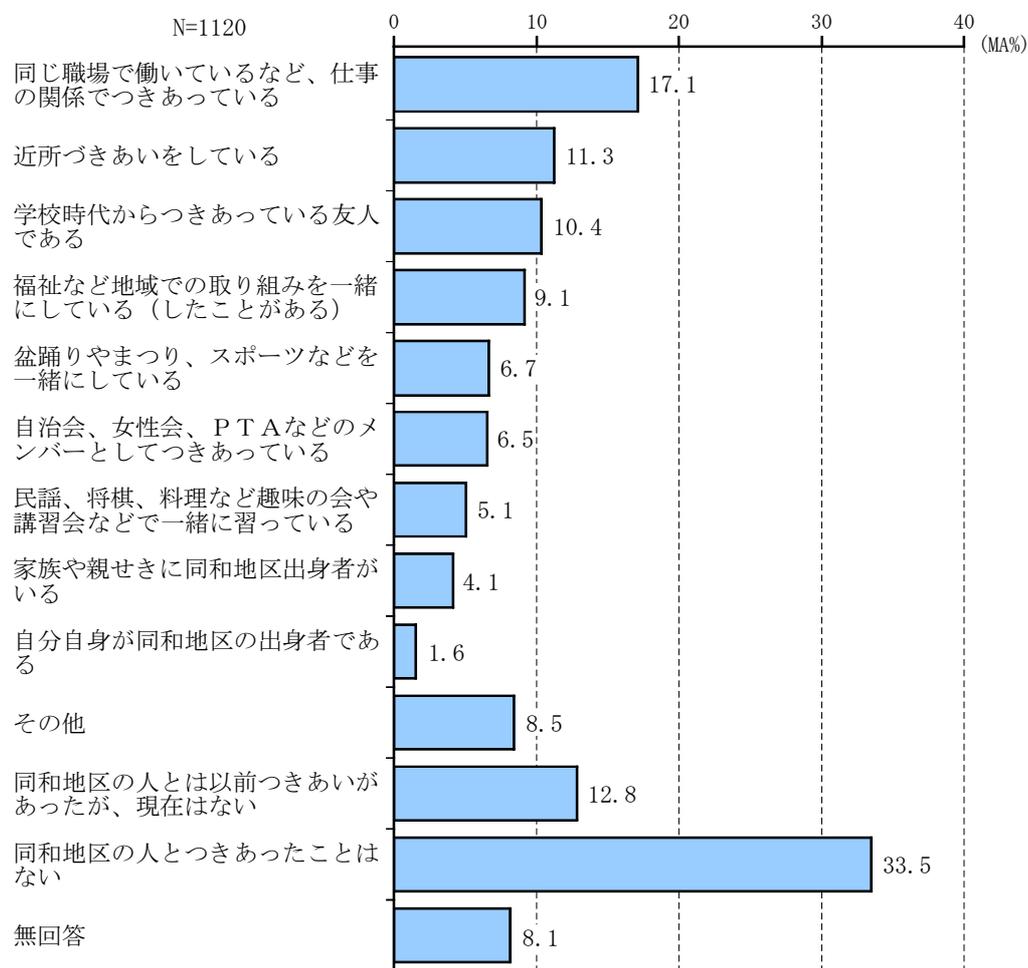
性別でみると、「絶対に反対する」、「親としては反対だが、子どもの意志が強ければしかたがない」の割合は女性がやや高く、「お互いの愛情が大事なので祝福する」の割合は男性が高くなっている。

年齢別でみると、「親としては反対だが、子どもの意志が強ければしかたがない」の割合は、高年層のほうが高い傾向にある。(図表4-7-2)

(8) 同和地区に住んでいる人とのつきあいの程度

問17. あなたご自身、同和地区に住んでいる人とのどの程度のつきあいがありますか
(〇はいくつでも)。

【図表4-8 同和地区に住んでいる人とのつきあいの程度】



同和地区に住んでいる人とのつきあいの程度をみると、「同和地区の人とつきあったことはない」が33.5%で最も多く、「同和地区の人とは以前つきあいがあったが、現在は無い」(12.8%)をあわせると、全体の半数近くが現在、同和地区に住んでいる人とのつきあいが無い。

何らかのつきあいがあると回答した人は全体の45.6%となっており、「同じ職場で働いているなど、仕事の関係でつきあっている」が17.1%で最も多く、次いで「近所づきあいをしている」(11.3%)、「学校時代からつきあっている友人である」(10.4%)の順となっている。(図表4-8)

【図表 4-8-1 同和地区に住んでいる人とのつきあいの程度<過去の調査との比較>】

	調査数 (N)	(上段：人、下段：MA%)																	
		近所づきあいをしている	福祉など地域での取り組みを一緒にしている(したことがある)	自治会、女性会、PTAなどのメンバーとしてつきあっている	関係でつきあっているなど、仕事の関係でつきあっている	取引先など仕事上のつきあいがある	習いごと、将棋、料理など趣味の会や講習会などで一緒に習っている	民話、将棋、料理など趣味の会や講習会などで一緒に習っている	盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている	学校時代からつきあっている友人である	自分自身が同和地区の出身者である	家族や親せきに同和地区出身者がいる	親しい友人がいる	知人がいる	現在、同和地区に隣接した地域に住んでいる	かつて同和地区に隣接した地域に住んでいたことがある	その他	同和地区の人とは以前つきあいがあつたが、現在ははない	同和地区の人とつきあつたことはない
2006年度 (平成18年度)	1120 100.0	127 11.3	102 9.1	73 6.5	192 17.1		57 5.1	75 6.7	116 10.4	18 1.6	46 4.1					95 8.5	143 12.8	375 33.5	91 8.1
1998年度 (平成10年度)	1116 100.0	38 3.4			106 9.5	96 8.6				7 0.6	35 3.1	197 17.7	307 27.5	109 9.8	74 6.6	73 6.5		423 37.9	63 5.6

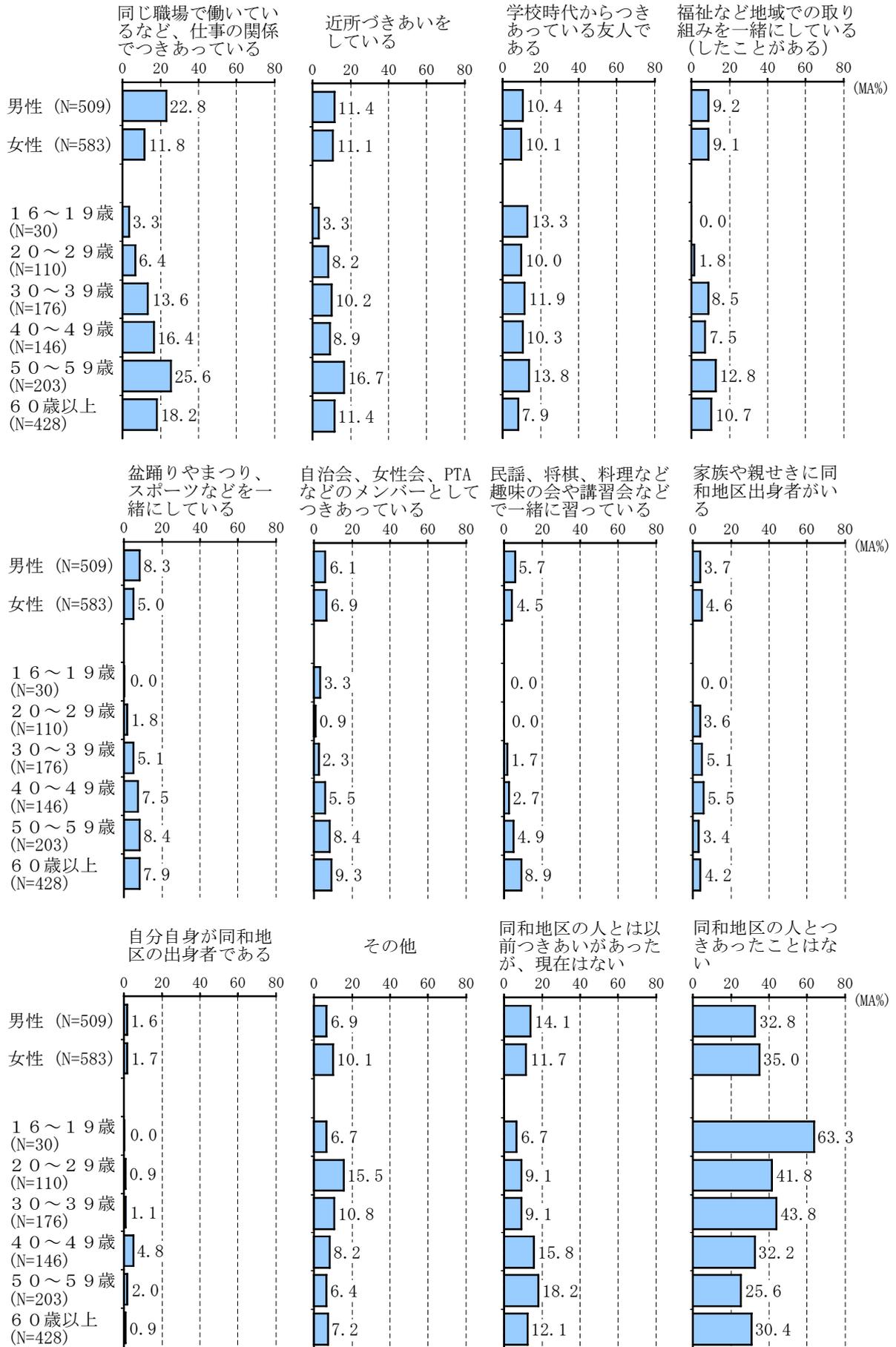
前回調査と比較すると、前回とは選択肢が多少異なっているので一概にはいえないが、同じ選択肢であるもののみをみると、「近所づきあいをしている」の割合は7.9ポイント、「同じ職場で働いているなど、仕事の関係でつきあっている」の割合は7.6ポイント、それぞれ上昇している。(図表 4-8-1)

【図表 4-8-2 同和地区に住んでいる人とのつきあいの程度<大阪府(2005年度)>】

	調査数 (N)	(上段：人、下段：MA%)											
		近所づきあいをしている	福祉など地域での取り組みを一緒にしている(したことがある)	自治会、女性会、PTAなどのメンバーとしてつきあっている	同じ職場で働いているなど、仕事の関係でつきあっている	学校時代からつきあっている友人である	自分自身が同和地区の出身者である	家族や親せきに同和地区出身者がいる	親しい友人がいる	知人がいる	現在、同和地区に隣接した地域に住んでいる	かつて同和地区に隣接した地域に住んでいたことがある	その他
大阪府 2005年度 (平成17年度)	860 100.0	172 20.0	89 10.3	61 7.1	301 35.0		40 4.7	101 11.7	307 35.7	99 11.5	11 1.3		

大阪府の調査(2005年度)では、つきあいのある人のみが設問の対象となっているが、「学校時代からつきあっている友人である」の割合が最も高く、次いで「同じ職場で働いているなど、仕事の関係でつきあっている」の順となっており、本市の傾向とはやや異なっている。(図表 4-8-2)

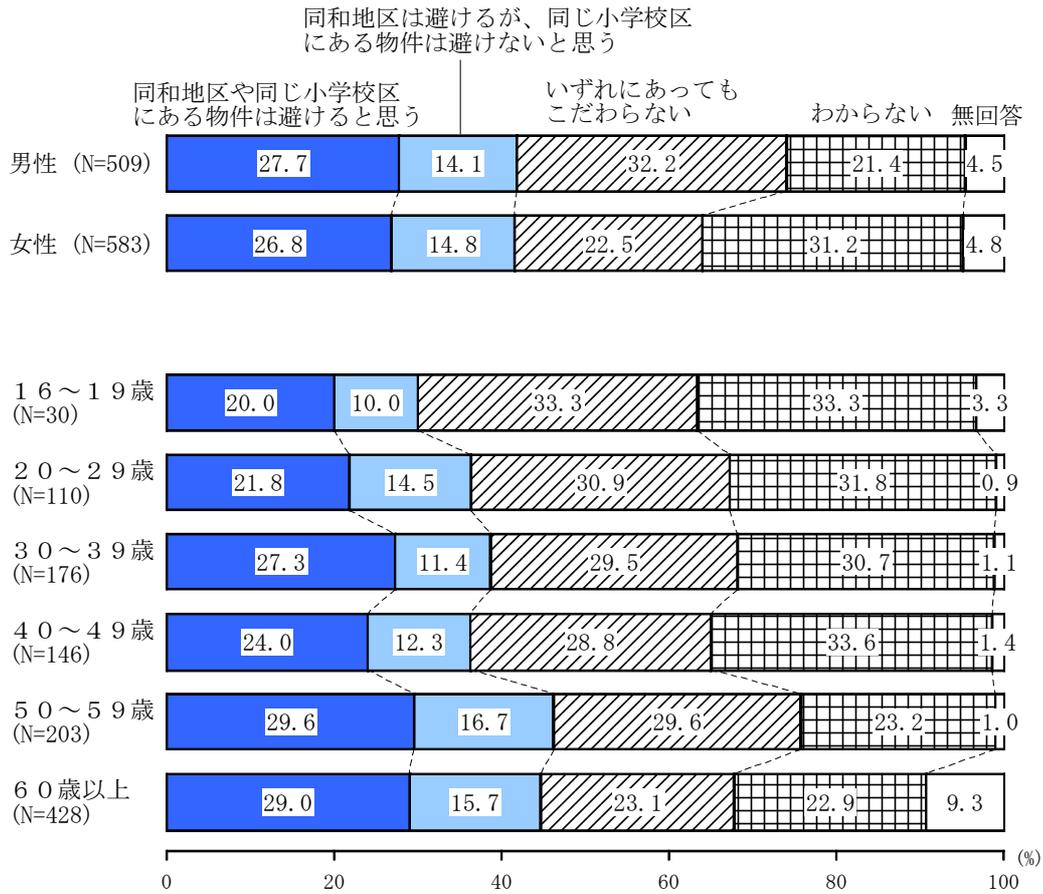
【図表4-8-3 性別・年齢別 同和地区に住んでいる人とのつきあいの程度】



性別で見ると、「同じ職場で働いているなど、仕事の関係でつきあっている」の割合は、男性が22.8%と女性（11.8%）を大きく上回っている。

年齢別で見ると、全般的に高年層のほうが割合の高い項目が多く、「同和地区の人とつきあったことはない」の割合は16～19歳が63.3%、20～39歳が40%以上と高くなっている。（図表4－8－3）

【図表4-9-2 性別・年齢別 同和地区や同じ小学校区にある物件の忌避意識】

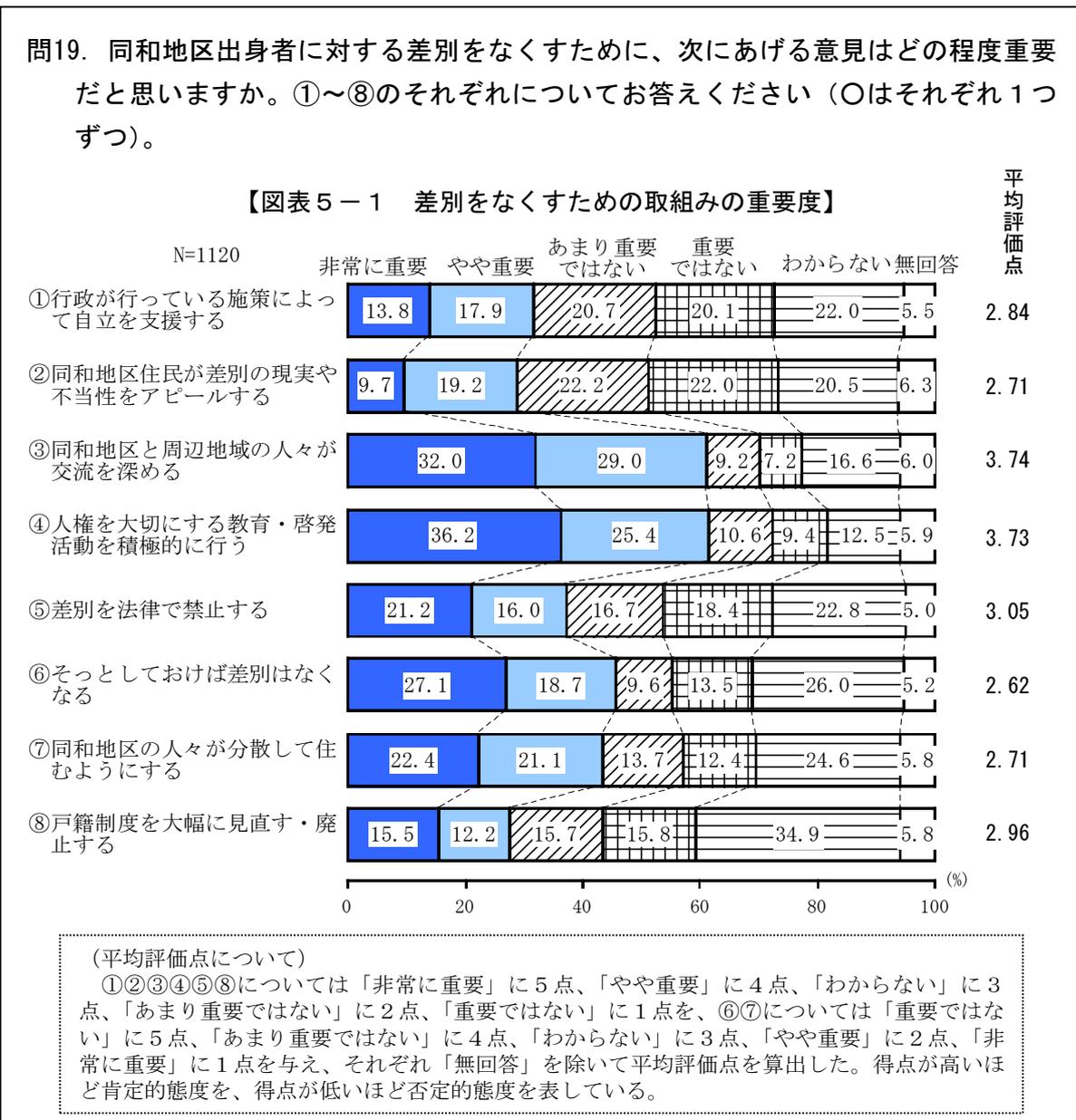


性別で見ると、「いずれにあってもこだわらない」の割合は、男性（32.2%）が女性（22.5%）よりも9.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「同和地区や同じ小学校区にある物件は避けると思う」の割合は高年齢層のほうが高い傾向にある。（図表4-9-2）

5. 同和問題や差別をなくすための取組みについて

(1) 同和地区出身者に対する差別をなくすための取組みの重要度



同和地区出身者に対する差別をなくすための取組みの重要度をみると、「非常に重要」と「やや重要」をあわせた『重要』の割合は〔④人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う〕が61.6%で最も高く、次いで〔③同和地区と周辺地域の人々が交流を深める〕(61.0%)、〔⑥そっとしておけば差別はなくなる〕(45.8%)の順となっている。

一方、「重要ではない」と「あまり重要ではない」をあわせた『重要ではない』の割合は〔②同和地区住民が差別の現実や不当性をアピールする〕が44.2%で最も高く、次いで〔①行政が行っている施策によって自立を支援する〕(40.8%)、〔⑤差別を法律で禁止する〕(35.1%)の順となっている。

平均評価点をみると、〔③同和地区と周辺地域の人々が交流を深める〕が3.74で最も高く、〔⑥そっとしておけば差別はなくなる〕が2.62で最も低くなっている。(図表5-1)

【図表 5-1-1 差別をなくすための取組みの重要度〈大阪府（2005年度）〉】

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	非常に重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答
①行政が行っている施策によって自立を支援する	3675 100.0	508 13.8	1009 27.5	672 18.3	318 8.7	982 26.7	186 5.1
②同和地区住民が差別の現実や不当性をアピールする	3675 100.0	377 10.3	909 24.7	812 22.1	421 11.5	959 26.1	197 5.4
③同和地区と周辺地域の人々が交流を深める	3675 100.0	859 23.4	1336 36.4	372 10.1	142 3.9	774 21.1	192 5.2
④人権を大切にす教育・啓発活動を積極的に行う	3675 100.0	1222 33.3	1150 31.3	370 10.1	193 5.3	560 15.2	180 4.9
⑤差別を法律で禁止する	3675 100.0	666 18.1	735 20.0	652 17.7	454 12.4	996 27.1	172 4.7
⑥そっとしておけば差別はなくなる	3675 100.0	575 15.6	729 19.8	471 12.8	614 16.7	1104 30.0	182 5.0
⑦同和地区の人々が分散して住むようにする	3675 100.0	568 15.5	1021 27.8	561 15.3	335 9.1	1021 27.8	169 4.6
⑧戸籍制度を大幅に見直す・廃止する	3675 100.0	518 14.1	649 17.7	588 16.0	407 11.1	1342 36.5	171 4.7

大阪府の調査（2005年度）でも、『重要』の割合は本市同様〔④人権を大切にす教育・啓発活動を積極的に行う〕が64.5%で最も高く、次いで〔③同和地区と周辺地域の人々が交流を深める〕（59.7%）の順となっている。

一方、『重要ではない』の割合は〔②同和地区住民が差別の現実や不当性をアピールする〕（33.6%）が最も高いのは同じだが、大阪府では次いで〔⑤差別を法律で禁止する〕が30.1%で続いており、〔①行政が行っている施策によって自立を支援する〕は26.9%となっている。（図表 5-1-1）

【図表5-1-2 性別・年齢別 差別をなくすための取組みの重要度①】

①行政が行っている施策によって自立を支援する

	調査数 (N)	非常に重要	やや重要	いあまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答	平均評価点	
全体	1120 100.0	155 13.8	200 17.9	232 20.7	225 20.1	246 22.0	62 5.5	2.84	
性別	男性	509 100.0	80 15.7	101 19.8	109 21.4	115 22.6	84 16.5	20 3.9	2.84
	女性	583 100.0	71 12.2	97 16.6	118 20.2	103 17.7	159 27.3	35 6.0	2.84
年齢別	16～19歳	30 100.0	7 23.3	7 23.3	2 6.7	2 6.7	11 36.7	1 3.3	3.52
	20～29歳	110 100.0	17 15.5	33 30.0	16 14.5	20 18.2	22 20.0	2 1.8	3.10
	30～39歳	176 100.0	32 18.2	27 15.3	26 14.8	47 26.7	42 23.9	2 1.1	2.83
	40～49歳	146 100.0	20 13.7	32 21.9	31 21.2	30 20.5	33 22.6	-	2.87
	50～59歳	203 100.0	16 7.9	32 15.8	57 28.1	44 21.7	48 23.6	6 3.0	2.59
	60歳以上	428 100.0	60 14.0	68 15.9	95 22.2	76 17.8	87 20.3	42 9.8	2.85

②同和地区住民が差別の現実や不当性をアピールする
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	非常に重要	やや重要	いあまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答	平均評価点	
全体	1120 100.0	109 9.7	215 19.2	249 22.2	246 22.0	230 20.5	71 6.3	2.71	
性別	男性	509 100.0	58 11.4	102 20.0	118 23.2	131 25.7	75 14.7	25 4.9	2.67
	女性	583 100.0	51 8.7	111 19.0	126 21.6	107 18.4	150 25.7	38 6.5	2.77
年齢別	16～19歳	30 100.0	5 16.7	8 26.7	6 20.0	1 3.3	9 30.0	1 3.3	3.34
	20～29歳	110 100.0	13 11.8	41 37.3	21 19.1	17 15.5	16 14.5	2 1.8	3.11
	30～39歳	176 100.0	26 14.8	24 13.6	38 21.6	48 27.3	38 21.6	2 1.1	2.67
	40～49歳	146 100.0	16 11.0	38 26.0	31 21.2	28 19.2	31 21.2	2 1.4	2.88
	50～59歳	203 100.0	16 7.9	33 16.3	56 27.6	45 22.2	47 23.2	6 3.0	2.59
	60歳以上	428 100.0	33 7.7	69 16.1	92 21.5	100 23.4	85 19.9	49 11.4	2.59

③同和地区と周辺地域の人々が交流を深める

	調査数 (N)	非常に重要	やや重要	いあまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答	平均評価点	
全体	1120 100.0	358 32.0	325 29.0	103 9.2	81 7.2	186 16.6	67 6.0	3.74	
性別	男性	509 100.0	188 36.9	152 29.9	49 9.6	39 7.7	63 12.4	18 3.5	3.82
	女性	583 100.0	166 28.5	168 28.8	52 8.9	39 6.7	117 20.1	41 7.0	3.68
年齢別	16～19歳	30 100.0	9 30.0	9 30.0	3 10.0	1 3.3	7 23.3	1 3.3	3.76
	20～29歳	110 100.0	39 35.5	40 36.4	8 7.3	6 5.5	15 13.6	2 1.8	3.91
	30～39歳	176 100.0	55 31.3	52 29.5	13 7.4	13 7.4	40 22.7	3 1.7	3.71
	40～49歳	146 100.0	49 33.6	46 31.5	12 8.2	17 11.6	22 15.1	-	3.67
	50～59歳	203 100.0	60 29.6	67 33.0	27 13.3	17 8.4	28 13.8	4 2.0	3.63
	60歳以上	428 100.0	142 33.2	107 25.0	38 8.9	24 5.6	69 16.1	48 11.2	3.80

④人権を大切にせる教育・啓発活動を積極的に行う
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	非常に重要	やや重要	いあまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答	平均評価点	
全体	1120 100.0	405 36.2	285 25.4	119 10.6	105 9.4	140 12.5	66 5.9	3.73	
性別	男性	509 100.0	211 41.5	124 24.4	54 10.6	56 11.0	47 9.2	17 3.3	3.77
	女性	583 100.0	187 32.1	154 26.4	62 10.6	48 8.2	91 15.6	41 7.0	3.68
年齢別	16～19歳	30 100.0	10 33.3	8 26.7	2 6.7	1 3.3	8 26.7	1 3.3	3.83
	20～29歳	110 100.0	43 39.1	30 27.3	12 10.9	17 15.5	6 5.5	2 1.8	3.65
	30～39歳	176 100.0	61 34.7	43 24.4	18 10.2	17 9.7	35 19.9	2 1.1	3.65
	40～49歳	146 100.0	65 44.5	42 28.8	10 6.8	12 8.2	17 11.6	-	3.95
	50～59歳	203 100.0	63 31.0	62 30.5	34 16.7	15 7.4	23 11.3	6 3.0	3.63
	60歳以上	428 100.0	157 36.7	94 22.0	40 9.3	42 9.8	49 11.4	46 10.7	3.74

⑤差別を法律で禁止する

	調査数 (N)	非常に重要	やや重要	いあまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答	平均評価点	
全体	1120 100.0	237 21.2	179 16.0	187 16.7	206 18.4	255 22.8	56 5.0	3.05	
性別	男性	509 100.0	129 25.3	74 14.5	80 15.7	124 24.4	85 16.7	17 3.3	3.01
	女性	583 100.0	105 18.0	103 17.7	102 17.5	78 13.4	164 28.1	31 5.3	3.10
年齢別	16～19歳	30 100.0	5 16.7	4 13.3	5 16.7	4 13.3	11 36.7	1 3.3	3.03
	20～29歳	110 100.0	15 13.6	20 18.2	20 18.2	29 26.4	24 21.8	2 1.8	2.74
	30～39歳	176 100.0	29 16.5	30 17.0	33 18.8	35 19.9	47 26.7	2 1.1	2.91
	40～49歳	146 100.0	37 25.3	21 14.4	31 21.2	23 15.8	33 22.6	1 0.7	3.12
	50～59歳	203 100.0	32 15.8	37 18.2	42 20.7	36 17.7	53 26.1	3 1.5	2.94
	60歳以上	428 100.0	117 27.3	66 15.4	51 11.9	75 17.5	81 18.9	38 8.9	3.25

⑥そっとしておけば差別はなくなる
(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	非常に重要	やや重要	いあまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答	平均評価点	
全体	1120 100.0	304 27.1	209 18.7	107 9.6	151 13.5	291 26.0	58 5.2	2.62	
性別	男性	509 100.0	152 29.9	92 18.1	50 9.8	90 17.7	106 20.8	19 3.7	2.66
	女性	583 100.0	148 25.4	113 19.4	52 8.9	60 10.3	179 30.7	31 5.3	2.57
年齢別	16～19歳	30 100.0	7 23.3	6 20.0	4 13.3	2 6.7	10 33.3	1 3.3	2.59
	20～29歳	110 100.0	26 23.6	24 21.8	8 7.3	22 20.0	28 25.5	2 1.8	2.78
	30～39歳	176 100.0	45 25.6	36 20.5	13 7.4	33 18.8	47 26.7	2 1.1	2.73
	40～49歳	146 100.0	30 20.5	27 18.5	18 12.3	28 19.2	43 29.5	-	2.91
	50～59歳	203 100.0	59 29.1	41 20.2	23 11.3	22 10.8	56 27.6	2 1.0	2.54
	60歳以上	428 100.0	135 31.5	72 16.8	36 8.4	43 10.0	101 23.6	41 9.6	2.43

【図表5-1-2 性別・年齢別 差別をなくすための取組みの重要度②】

⑦同和地区の人々が分散して住むようにする

⑧戸籍制度を大幅に見直す・廃止する

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	非常に重要	やや重要	いあまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答	平均評価点		調査数 (N)	非常に重要	やや重要	いあまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答	平均評価点
全体	1120 100.0	251 22.4	236 21.1	153 13.7	139 12.4	276 24.6	65 5.8	2.71		1120 100.0	174 15.5	137 12.2	176 15.7	177 15.8	391 34.9	65 5.8	2.96
性別	男性	509 100.0	126 24.8	109 21.4	76 14.9	84 16.5	96 18.9	18 3.5	2.76	509 100.0	69 13.6	71 13.9	91 17.9	118 23.2	138 27.1	22 4.3	2.76
	女性	583 100.0	119 20.4	122 20.9	74 12.7	52 8.9	176 30.2	40 6.9	2.66	583 100.0	102 17.5	64 11.0	81 13.9	56 9.6	245 42.0	35 6.0	3.14
年齢別	16～19歳	30 100.0	6 20.0	6 20.0	4 13.3	4 13.3	9 30.0	1 3.3	2.79	30 100.0	3 10.0	3 10.0	3 10.0	6 20.0	14 46.7	1 3.3	2.79
	20～29歳	110 100.0	29 26.4	29 26.4	14 12.7	11 10.0	24 21.8	3 2.7	2.52	110 100.0	24 21.8	15 13.6	17 15.5	16 14.5	36 32.7	2 1.8	3.13
	30～39歳	176 100.0	42 23.9	37 21.0	20 11.4	28 15.9	47 26.7	2 1.1	2.74	176 100.0	30 17.0	23 13.1	19 10.8	29 16.5	70 39.8	5 2.8	3.04
	40～49歳	146 100.0	21 14.4	27 18.5	28 19.2	20 13.7	49 33.6	1 0.7	2.99	146 100.0	19 13.0	19 13.0	23 15.8	23 15.8	62 42.5	-	2.92
	50～59歳	203 100.0	41 20.2	54 26.6	32 15.8	27 13.3	46 22.7	3 1.5	2.75	203 100.0	28 13.8	30 14.8	39 19.2	26 12.8	76 37.4	4 2.0	2.97
	60歳以上	428 100.0	108 25.2	78 18.2	53 12.4	46 10.7	97 22.7	46 10.7	2.61	428 100.0	67 15.7	45 10.5	72 16.8	74 17.3	126 29.4	44 10.3	2.89

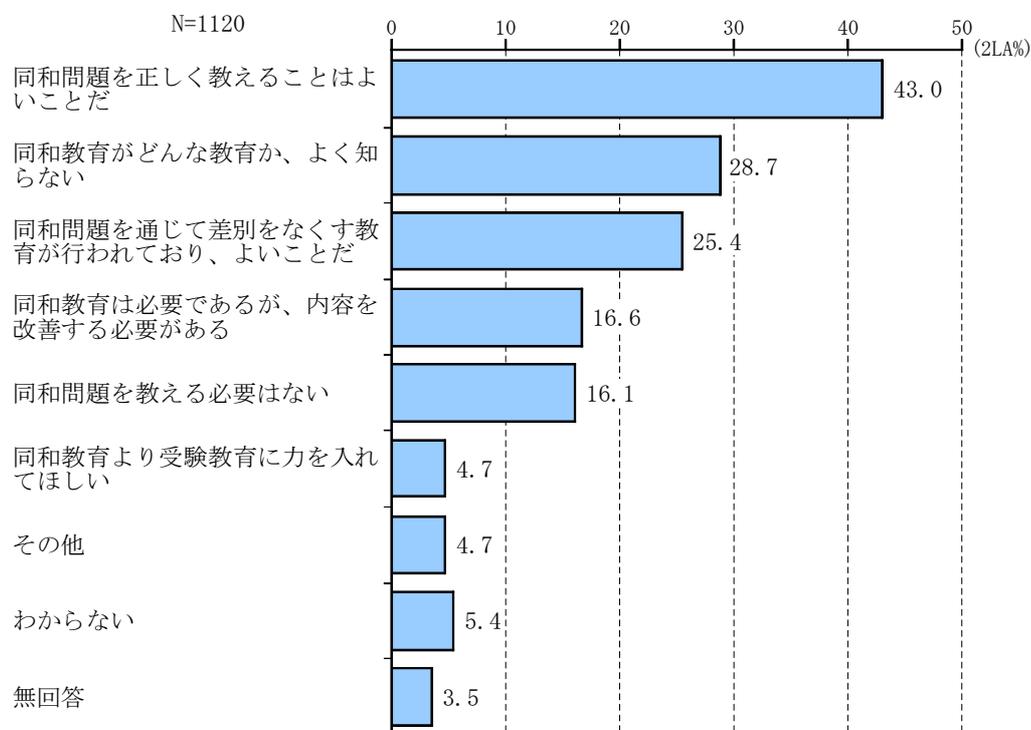
性別で平均評価点をみると、〔②同和地区住民が差別の現実や不当性をアピールする〕〔⑤差別を法律で禁止する〕、〔⑧戸籍制度を大幅に見直す・廃止する〕は女性が、〔③同和地区と周辺地域の人々が交流を深める〕、〔④人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う〕、〔⑥そっとしておけば差別はなくなる〕、〔⑦同和地区の人々が分散して住むようにする〕は男性が高くなっている。

年齢別で平均評価点をみると、〔①行政が行っている施策によって自立を支援する〕、〔②同和地区住民が差別の現実や不当性をアピールする〕は若年層のほうが高い傾向にあり、特に16～19歳の高さが目立っている。(図表5-1-2)

(2) 学校での「同和教育」についての考え

問20. 泉南市では、学校で「同和教育」が行われていますが、どのようにお考えでしょうか（〇は2つまで）。

【図表5-2 学校での「同和教育」についての考え】



学校での「同和教育」についての考えをみると、「同和問題を正しく教えることはよいことだ」が43.0%で最も多く、次いで「同和教育がどんな教育か、よく知らない」(28.7%)、「同和問題を通じて差別をなくす教育が行われており、よいことだ」(25.4%)の順となっている。(図表5-2)

【図表5-2-1 学校での「同和教育」についての考え<過去の調査との比較>】

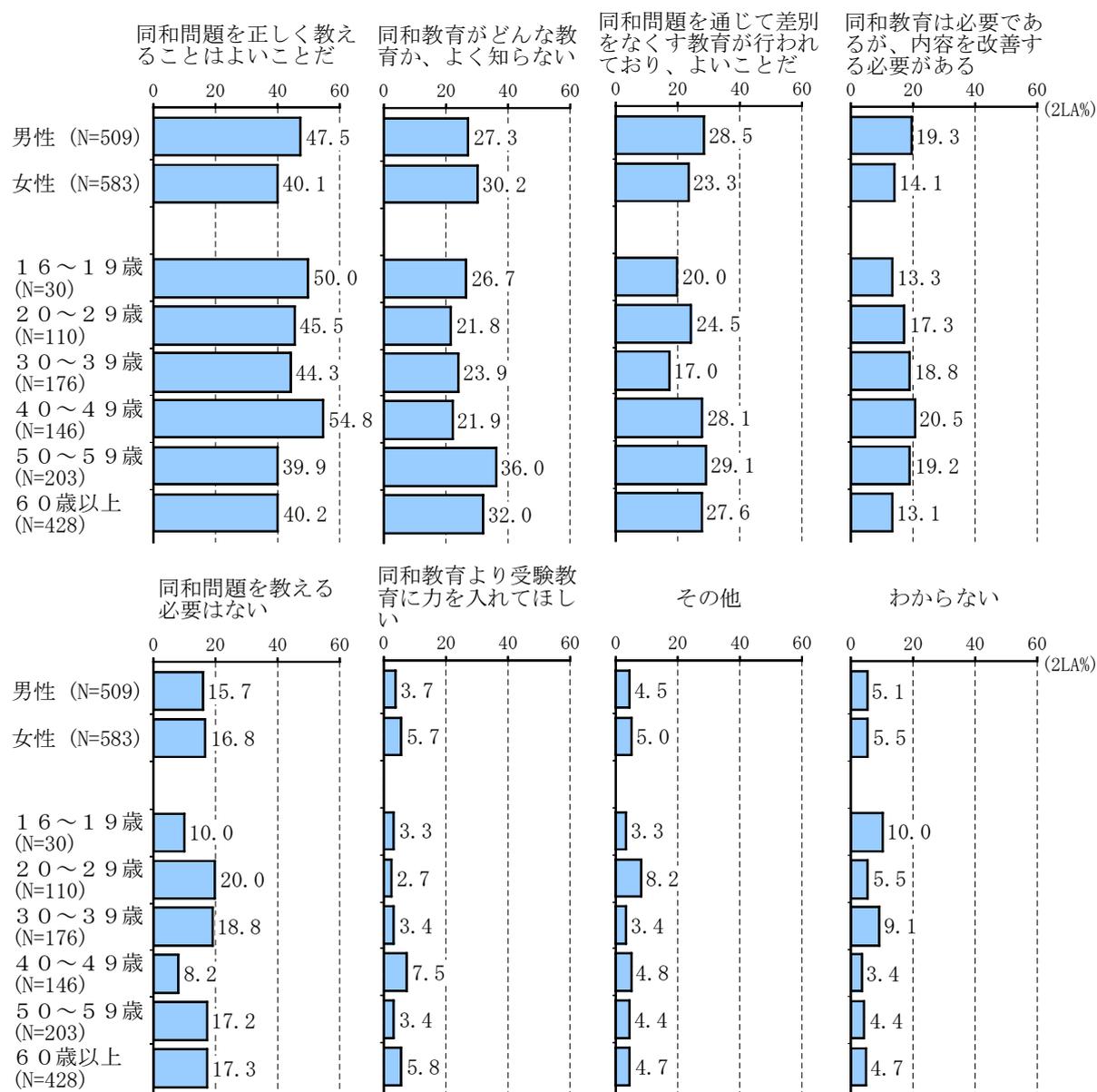
(上段：人、下段：2LA%)

	調査数 (N)	同和問題はよいことを正しく教える	同和問題を教える必要はない								
2006年度 (平成18年度)	1120	482	180	285	186	53	321	53	60	39	
	100.0	43.0	16.1	25.4	16.6	4.7	28.7	4.7	5.4	3.5	
1998年度 (平成10年度)	1116	483	210	373		31	232	85	75	40	
	100.0	43.3	18.8	33.4		2.8	20.8	7.6	6.7	3.6	

前回調査と比較すると、「同和教育がどんな教育か、よく知らない」の割合は7.9ポイント上昇し、「同和問題を通じて差別をなくす教育が行われており、よいことだ」の割合

は8.0ポイント低下している。(図表5-2-1)

【図表5-2-2 性別・年齢別 学校での「同和教育」についての考え】



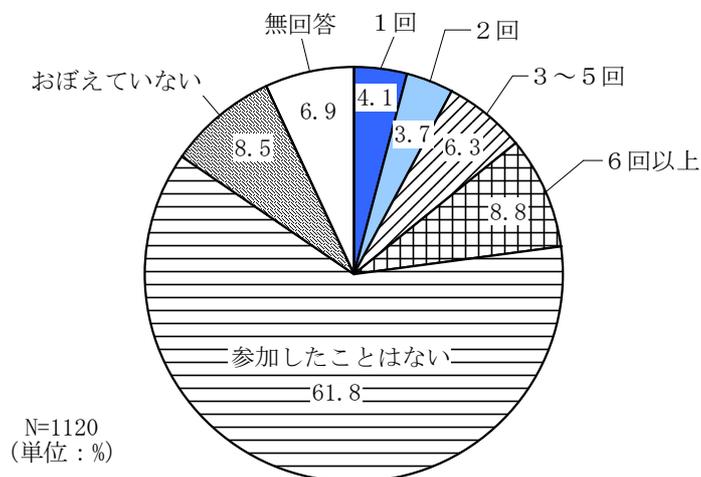
性別で見ると、「同和問題を正しく教えることはよいことだ」、「同和問題を通じて差別をなくす教育が行われており、よいことだ」、「同和教育は必要であるが、内容を改善する必要がある」の割合は男性が、「同和教育がどんな教育か、よく知らない」、「同和問題を教える必要はない」、「同和教育より受験教育に力を入れてほしい」の割合は女性が高くなっている。

年齢別で見ると、「同和教育がどんな教育か、よく知らない」、「同和問題を通じて差別をなくす教育が行われており、よいことだ」の割合は高年層のほうが高い傾向にある。また、40～49歳は「同和問題を正しく教えることはよいことだ」、「同和教育は必要であるが、内容を改善する必要がある」、「同和教育より受験教育に力を入れてほしい」の割合が最も高く、「同和問題を教える必要はない」の割合が最も低くなっている。(図表5-2-2)

(3) 同和地区に関する講演会や研修会への参加経験

問21. あなたは、同和問題に関する講演会や研修会に、今までに合計して何回ぐらい参加されましたか（〇は1つ）。

【図表5-3 同和地区に関する講演会や研修会への参加経験】



同和地区に関する講演会や研修会への参加経験は、「参加したことはない」が61.8%と過半数を占めている。参加した人の中では、「6回以上」が8.8%で最も多く、次いで「3～5回」(6.3%)の順となっている。(図表5-3)

【図表5-3-1 同和地区に関する講演会や研修会への参加経験<過去の調査との比較>】

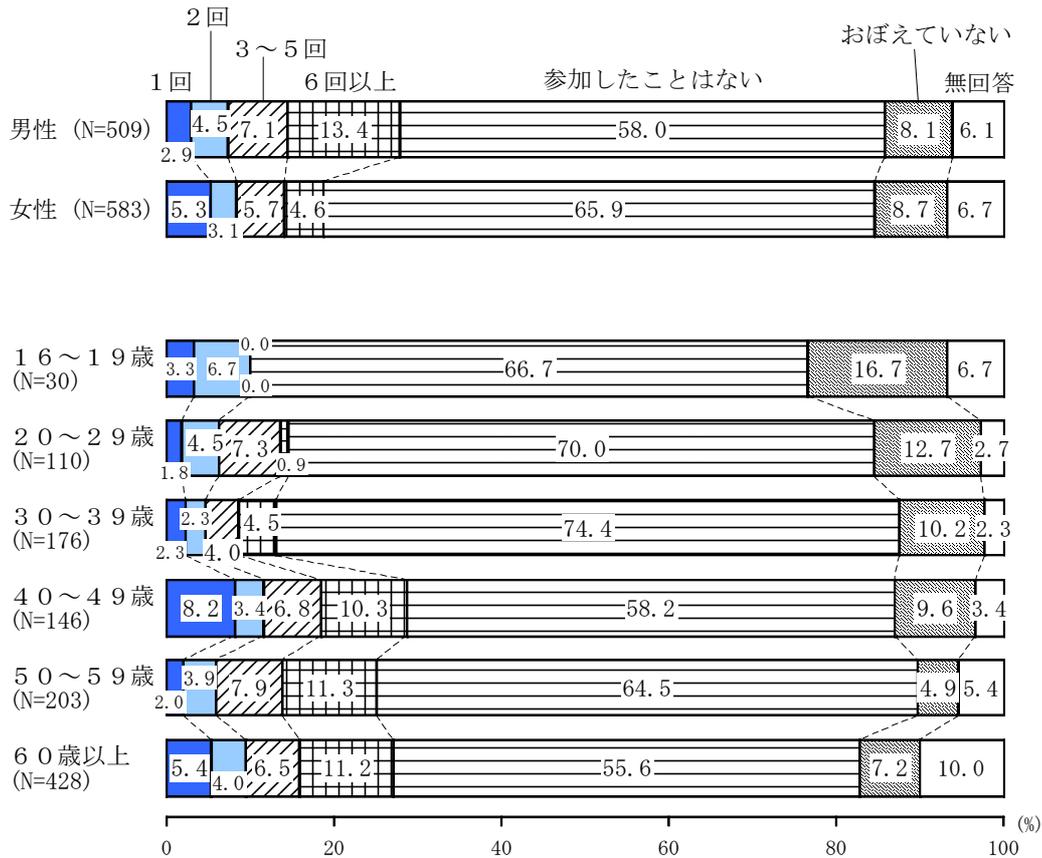
(上段: 人、下段: %)

	調査数 (N)	1回	2回	3～5回	6回以上	おぼえていない	無回答
2006年度 (平成18年度)	428	46	41	70	99	95	77
	100.0	10.7	9.6	16.4	23.1	22.2	18.0
1998年度 (平成10年度)	299	54	53	72	72	41	7
	100.0	18.1	17.7	24.1	24.1	13.7	2.3

※1998年度調査との比較のため、「参加したことはない」は除外している。

前回調査と比較すると、「1回」、「2回」、「3～5回」の割合はいずれも7ポイント以上低下している。(図表5-3-1)

【図表 5-3-2 性別・年齢別 同和地区に関する講演会や研修会への参加経験】



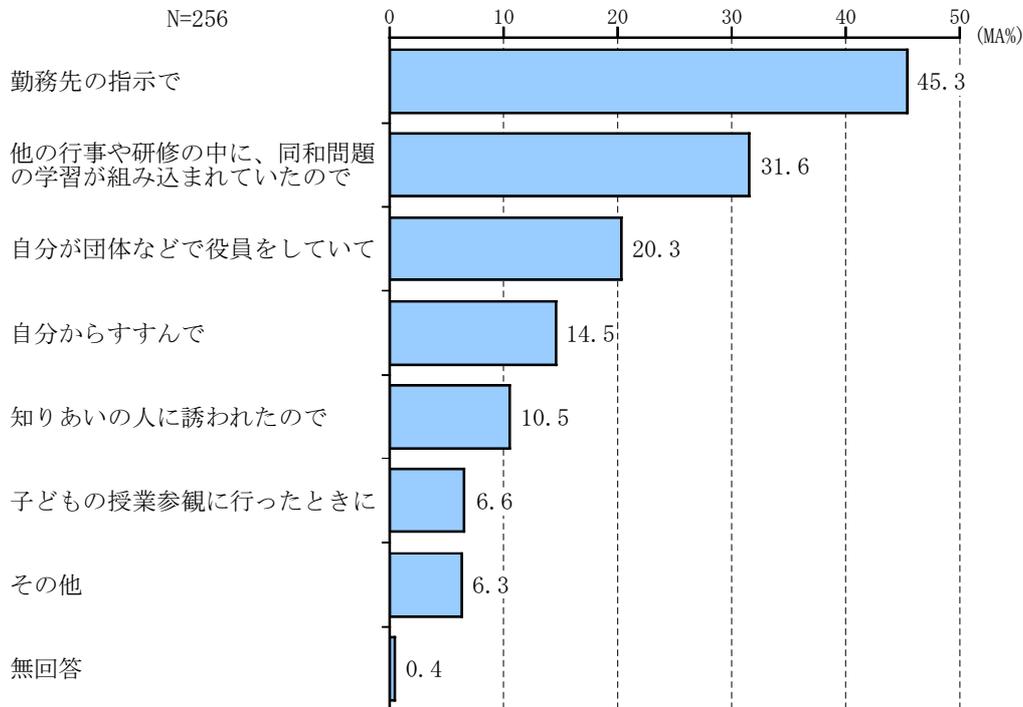
性別で見ると、「1回」、「2回」、「3~5回」、「6回以上」をあわせた『参加したことがある』の割合は、男性が27.9%と女性の18.7%を9.2ポイント上回っている。

年齢別で見ると、『参加したことがある』の割合は高年層のほうが高く、40~49歳で28.7%と最も高くなっている。(図表 5-3-2)

① 講演会や研修会に参加したきっかけ

問21-1. あなたが参加されたきっかけは何ですか（〇はいくつでも）。

【図表5-3A 講演会や研修会に参加したきっかけ】



問21で「1回」、「2回」、「3～5回」、「6回以上」（参加したことがある）と回答した人に、参加したきっかけをたずねたところ、「勤務先の指示で」が45.3%で最も多く、次いで「他の行事や研修の中に、同和問題の学習が組み込まれていた」（31.6%）、「自分が団体などで役員をしている」（20.3%）の順となっている。（図表5-3A）

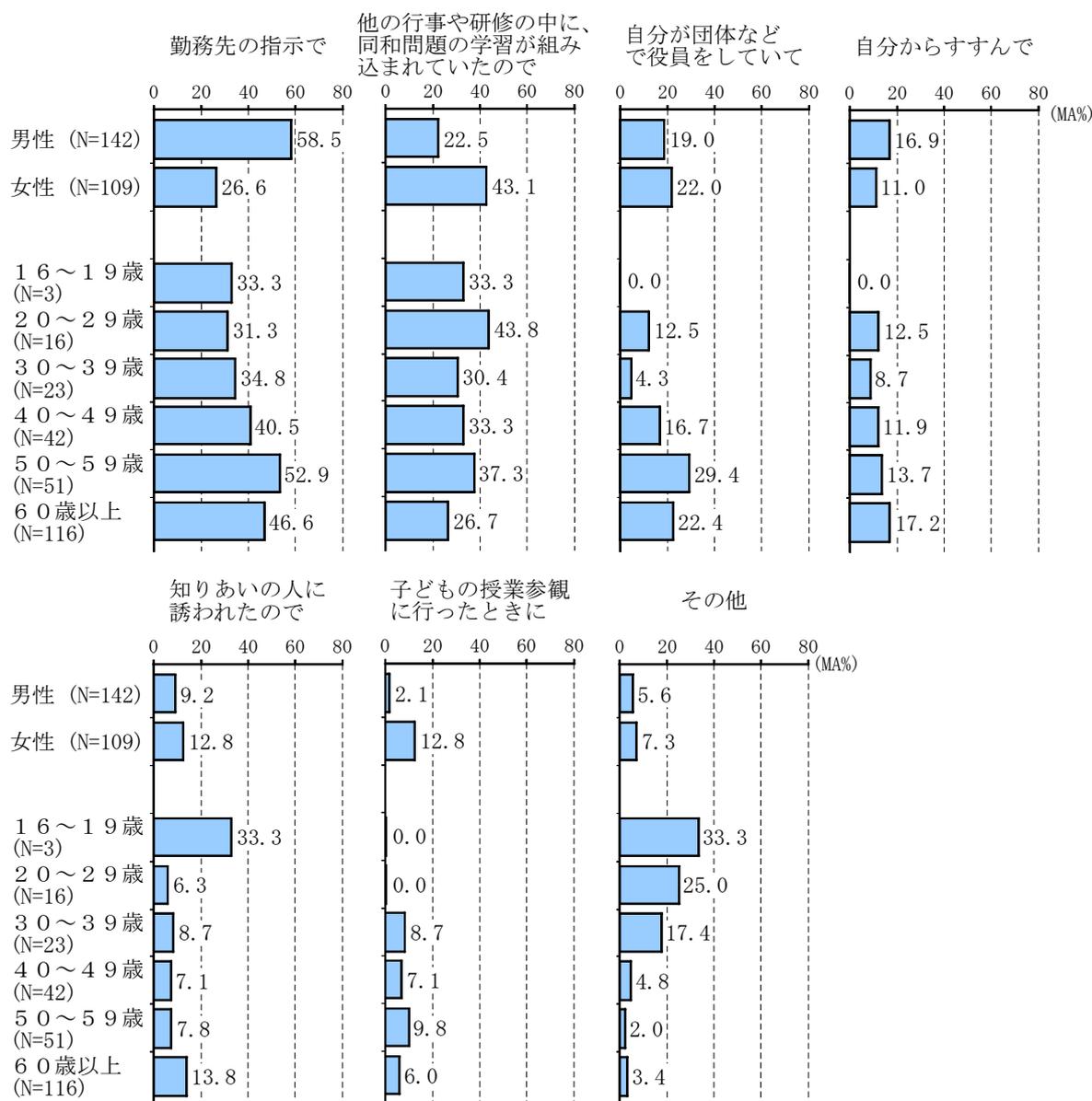
【図表5-3A-1 講演会や研修会に参加したきっかけ<過去の調査との比較>】

（上段：人、下段：MA%）

	調査数 (N)	自分からすすんで	勤務先の指示で	自分が団体などで役員をしている	知りあいの人に誘われた	他の行事や研修の中に、同和問題の学習が組み込まれていた	子どもの授業参観に行ったとき	その他	無回答
2006年度 (平成18年度)	256 100.0	37 14.5	116 45.3	52 20.3	27 10.5	81 31.6	17 6.6	16 6.3	1 0.4
1998年度 (平成10年度)	299 100.0	35 11.7	107 35.8	58 19.4	33 11.0	100 33.4	24 8.0	18 6.0	31 10.4

前回調査と比較すると、「勤務先の指示で」の割合が9.5ポイント上昇している。（図表5-3A-1）

【図表5-3A-2 性別・年齢別 講演会や研修会に参加したきっかけ】



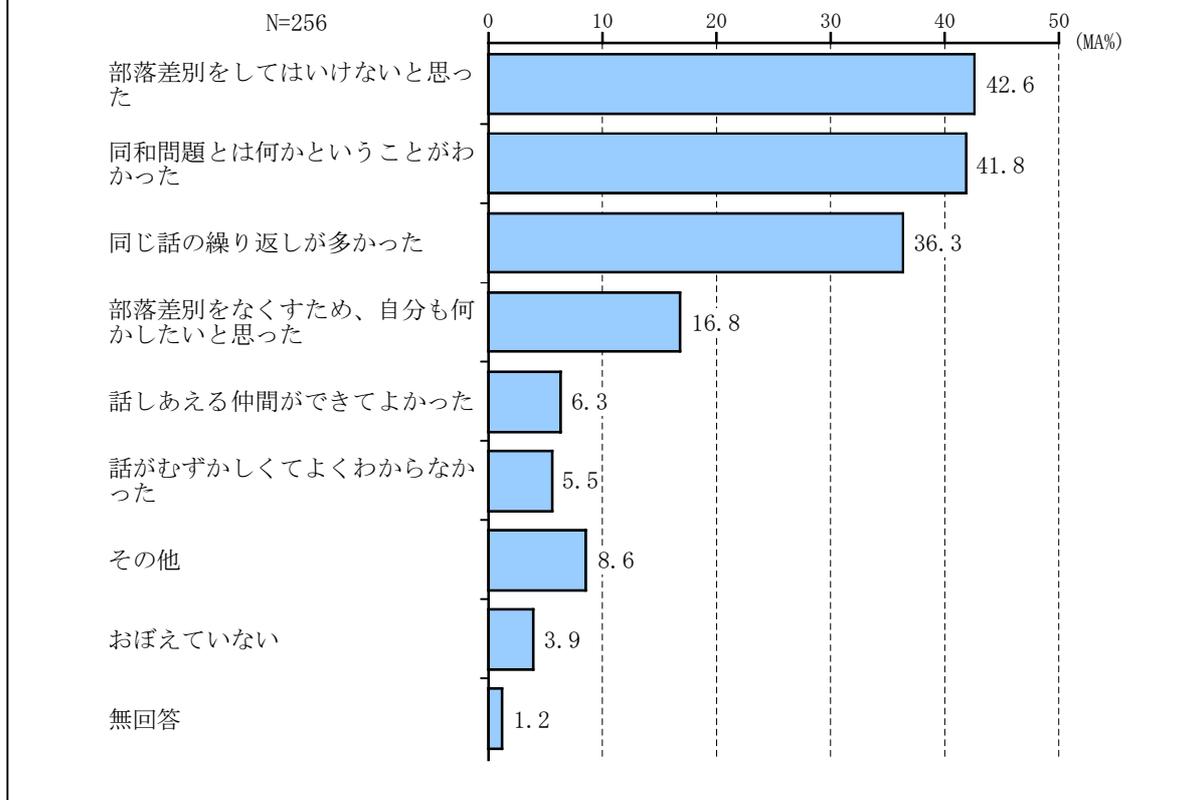
性別で見ると、「勤務先の指示で」の割合は、男性が58.5%と女性（26.6%）を大きく上回っている。一方、「他の行事や研修の中に、同和問題の学習が組み込まれていたため」、「子どもの授業参観に行ったときに」の割合は、女性が目立って高くなっている。

年齢別で見ると、「勤務先の指示で」、「自分が団体などで役員をしていて」の割合は、高年層のほうが高くなっている。（図表5-3A-2）

② 講演会や研修会に参加しての印象や感想

問21-2. 参加されて、どのような印象や感想をもたれましたか（〇はいくつでも）。

【図表5-3B 講演会や研修会に参加しての印象や感想】



問21で「1回」、「2回」、「3～5回」、「6回以上」（参加したことがある）と回答した人に、参加しての印象や感想をたずねたところ、「部落差別をしてはいけないと思った」（42.6%）および「同和問題とは何かということがわかった」（41.8%）が多く、次いで「同じ話の繰り返しが多かった」（36.3%）の順となっている。（図表5-3B）

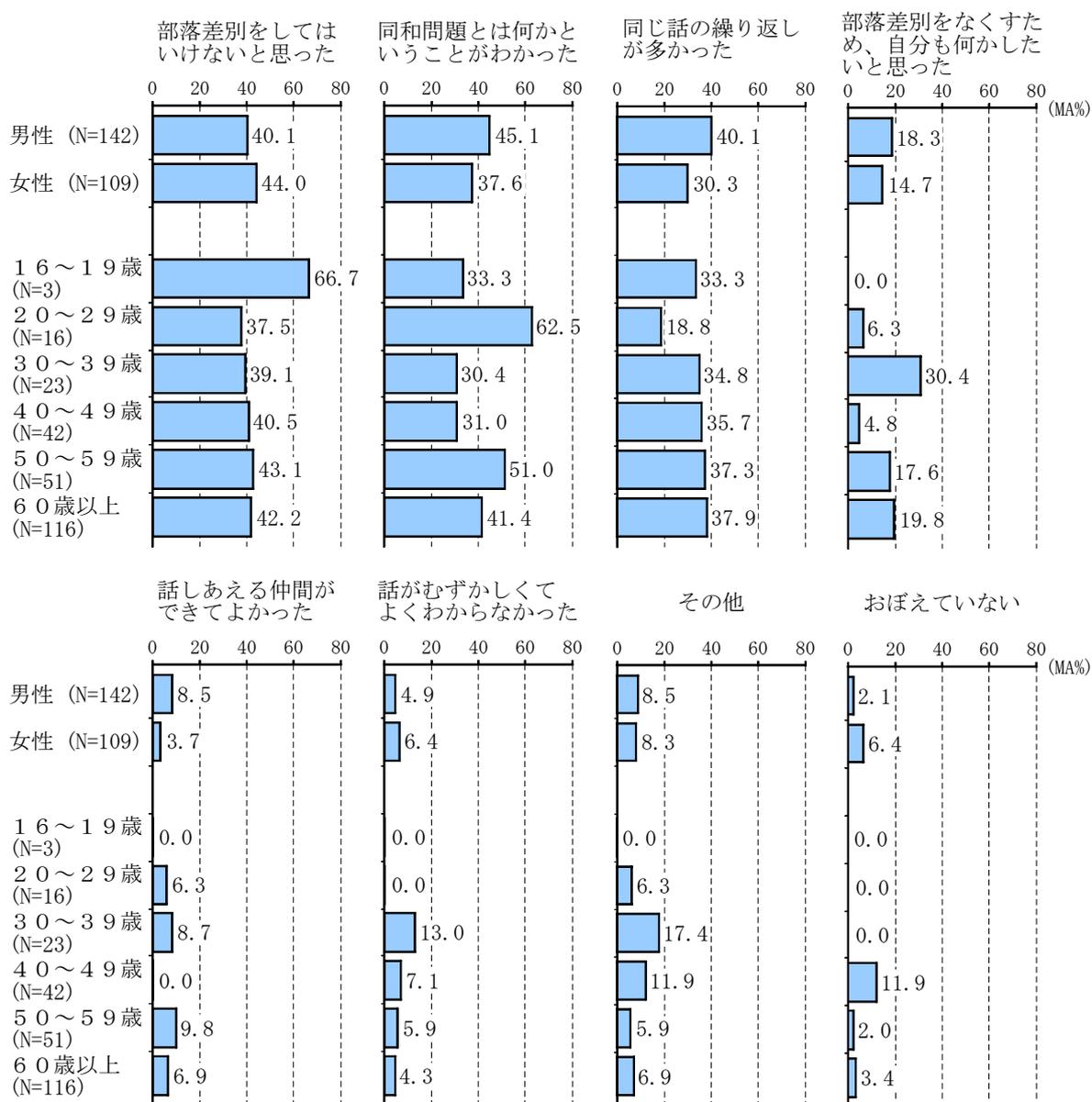
【図表5-3B-1 講演会や研修会に参加しての印象や感想<過去の調査との比較>】

（上段：人、下段：MA%）

	調査数 (N)	いめ部 と、落 思自差 つ分別 たもを た何な かくし すた	き話 てしよ かえ つる た仲 間が で	多同 かじ つ話 たの 繰り 返し が	く話 わが かむ らな かしく つく たてよ	い同 う和 こ問 と題 がと わは か何 つか たと	け部 な落 い差 と別 思を つし たて は	そ の 他	お ぼ え て い ない	無 回 答
2006年度 (平成18年度)	256	43	16	93	14	107	109	22	10	3
	100.0	16.8	6.3	36.3	5.5	41.8	42.6	8.6	3.9	1.2
1998年度 (平成10年度)	299	37	13	76	17	119	152	20	9	34
	100.0	12.4	4.3	25.4	5.7	39.8	50.8	6.7	3.0	11.4

前回調査と比較すると、「同じ話の繰り返しが多かった」の割合が10.9ポイント上昇し、「部落差別をしてはいけないと思った」の割合が8.2ポイント低下している。（図表5-3B-1）

【図表 5-3B-2 性別・年齢別 講演会や研修会に参加しての印象や感想】



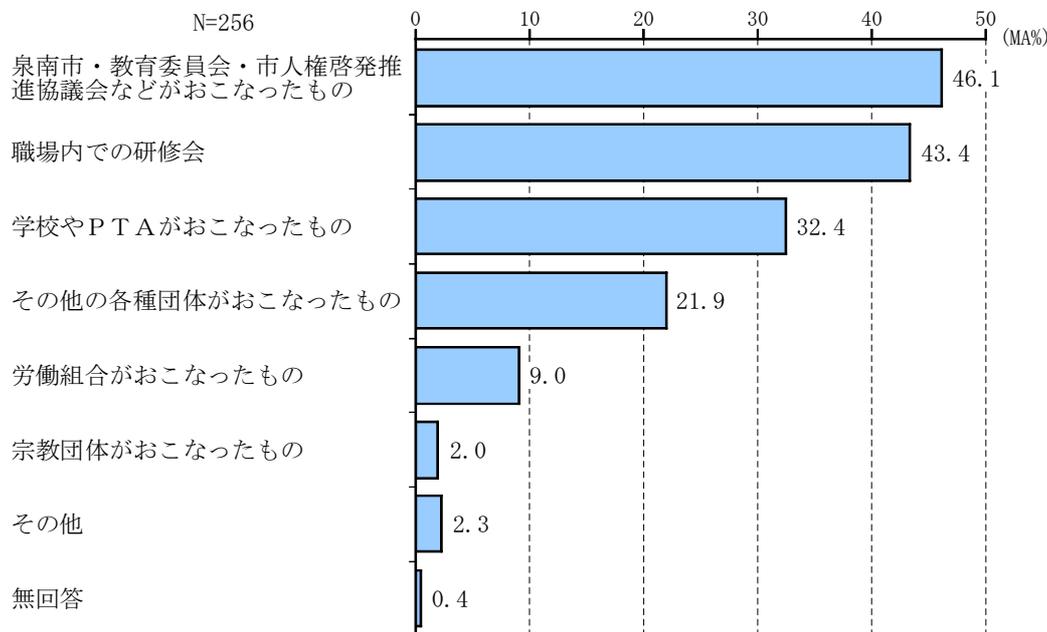
性別で見ると、「部落差別をしてはいけないと思った」、「話がむずかしくてよくわからなかった」の割合は女性が、それ以外の項目の割合は男性が高くなっており、「同和問題とは何かということがわかった」、「同じ話の繰り返しが多かった」で差が大きくなっている。

年齢別で見ると、「部落差別をなくすため、自分も何かしたいと思った」、「話がむずかしくてよくわからなかった」の割合は30～39歳が、「同和問題とは何かということがわかった」の割合は20～29歳が、それぞれ最も高くなっている。(図表 5-3B-2)

③ 今までに参加した講演会や研修会の種類

問21-3. あなたが、今までに参加された講演会や研修会をお答えください（〇はいくつでも）。

【図表5-3C 今までに参加した講演会や研修会の種類】



問21で「1回」、「2回」、「3～5回」、「6回以上」（参加したことがある）と回答した人に、今までに参加した講演会や研修会の種類をたずねたところ、「泉南市・教育委員会・市人権啓発推進協議会などがおこなったもの」（46.1%）および「職場内での研修会」（43.4%）が多く、次いで「学校やPTAがおこなったもの」（32.4%）、「その他の各種団体がおこなったもの」（21.9%）の順となっている。（図表5-3C）

【図表5-3C-1 今までに参加した講演会や研修会の種類<過去の調査との比較>】

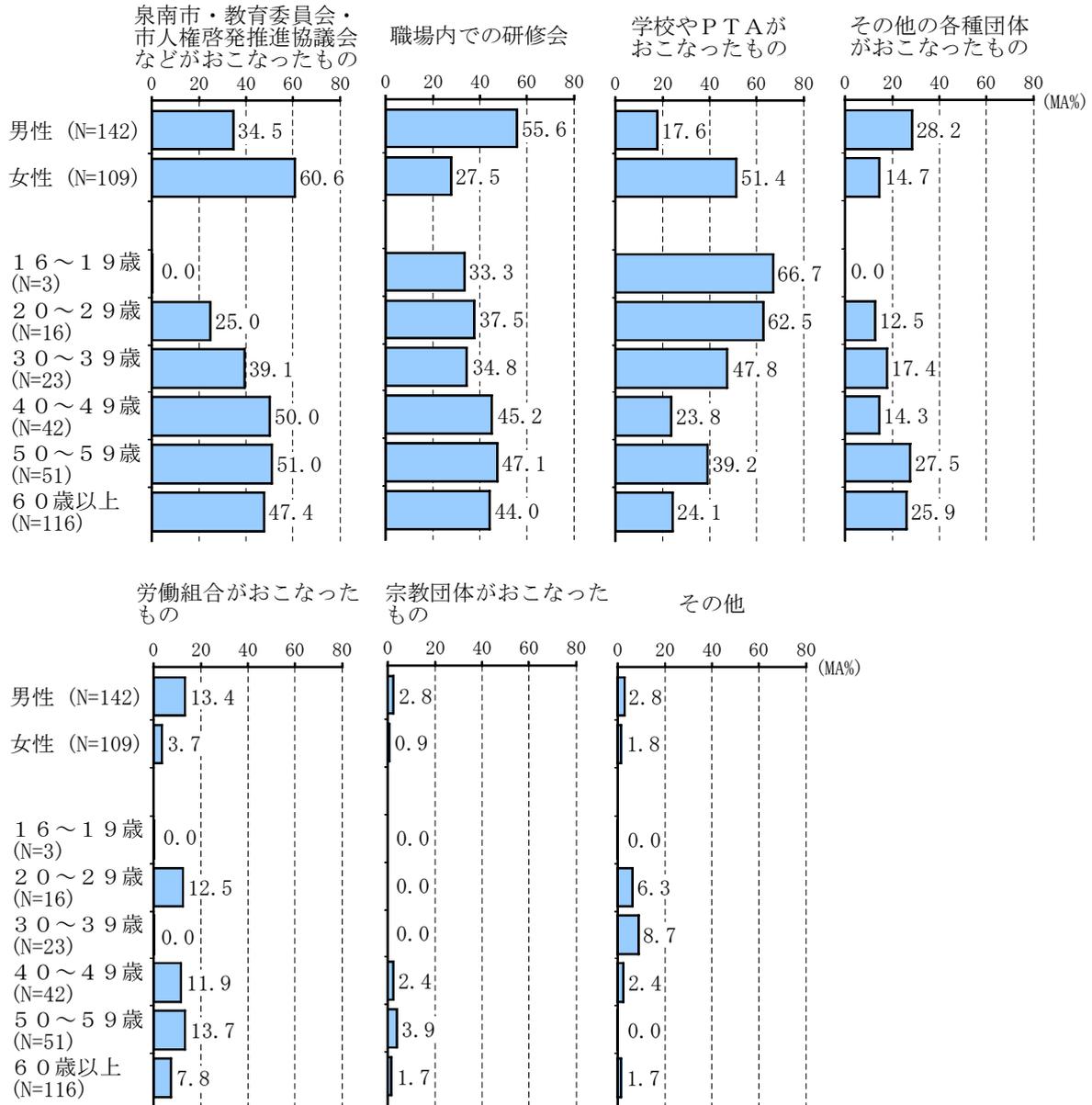
（上段：人、下段：MA%）

	調査数 (N)	泉南市・教育委員会・市人権啓発推進協議会などがおこなったもの	学校やPTAがおこなったもの	宗教団体がおこなったもの	労働組合がおこなったもの	職場内での研修会	その他の各種団体がおこなったもの	その他	無回答
2006年度 (平成18年度)	256	118	83	5	23	111	56	6	1
	100.0	46.1	32.4	2.0	9.0	43.4	21.9	2.3	0.4
1998年度 (平成10年度)	545	157	209	15	32	135	69	16	92
	100.0	28.8	38.3	2.8	5.9	24.8	12.7	2.9	16.9

※1998年度調査と比較するため、1998年度調査の「参加したことはない」を除外した。

前回調査と比較すると、「泉南市・教育委員会・市人権啓発推進協議会などがおこなったもの」の割合が17.3ポイント、「職場内での研修会」の割合が18.6ポイント上昇している。（図表5-3C-1）

【図表5-3C-2 性別・年齢別 今までに参加した講演会や研修会の種類】



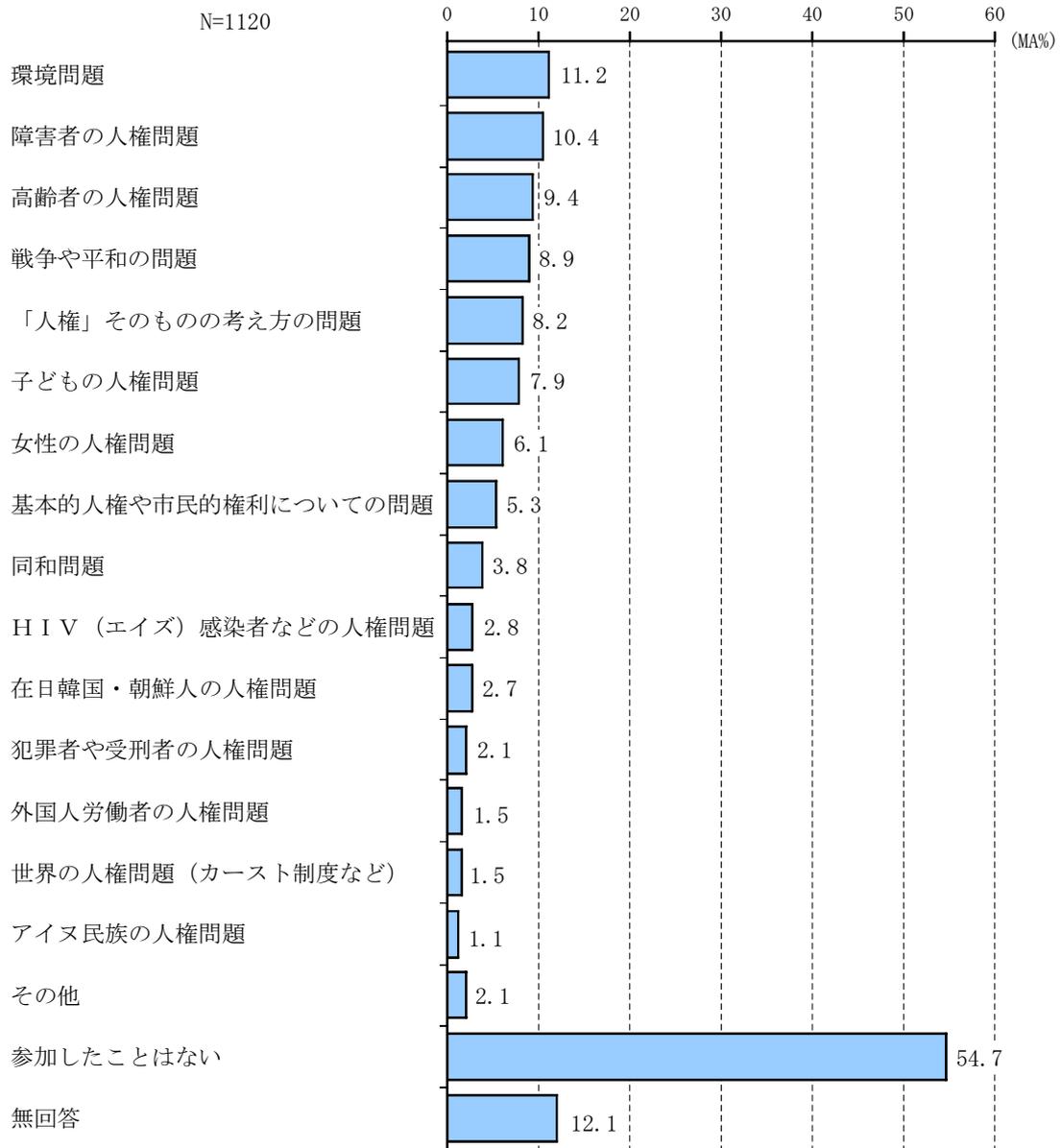
性別で見ると、「泉南市・教育委員会・市人権啓発推進協議会などがおこなったもの」、「学校やPTAがおこなったもの」の割合は女性が、「職場内での研修会」、「その他の各種団体がおこなったもの」、「労働組合がおこなったもの」の割合は男性が高くなっている。

年齢別で見ると、「泉南市・教育委員会・市人権啓発推進協議会などがおこなったもの」、「職場内での研修会」、「その他の各種団体がおこなったもの」の割合は高年層のほうが高く、「学校やPTAがおこなったもの」の割合は若年層のほうが高い傾向にある。(図表5-3C-2)

(4) 人権問題の理解を深めるために現在学んでいること

問22. あなたは、人権問題の理解を深めるために、現在、学んでいることはありますか（〇はいくつでも）。

【図表5-4 人権問題の理解を深めるために現在学んでいること】



人権問題の理解を深めるために現在学んでいることについては、「参加したことはない」が54.7%で最も多くなっている。学んでいることの中では「環境問題」が11.2%で最も多く、次いで「障害者の人権問題」（10.4%）、「高齢者の人権問題」（9.4%）の順となっている。（図表5-4）

【図表 5-4-1 性別・年齢別 人権問題の理解を深めるために現在学んでいること（上位5項目）】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
性別	男性 (N=509)	環境問題 14.1	障害者の人権問題 12.0	「人権」そのものの考え方の問題 11.4	高齢者の人権問題／戦争や平和の問題 11.0	
	女性 (N=583)	障害者の人権問題 8.7	環境問題 8.4	高齢者の人権問題 7.9	女性の人権問題／子どもの人権問題 7.4	
年齢別	16～19歳 (N=30)	環境問題 20.0	障害者の人権問題 16.7	女性の人権問題／高齢者の人権問題／HIV（エイズ）感染者などの人権問題 13.3		
	20～29歳 (N=110)	障害者の人権問題／戦争や平和の問題／環境問題 9.1			子どもの人権問題 7.3	基本的人権や市民的権利についての問題／女性の人権問題／HIV（エイズ）感染者などの人権問題 6.4
	30～39歳 (N=176)	環境問題 8.0	子どもの人権問題 7.4	障害者の人権問題／戦争や平和の問題 6.8		「人権」そのものの考え方の問題 5.1
	40～49歳 (N=146)	「人権」そのものの考え方の問題／子どもの人権問題 8.2		障害者の人権問題 7.5	戦争や平和の問題 6.8	環境問題 6.2
	50～59歳 (N=203)	障害者の人権問題 12.3	高齢者の人権問題 11.3	環境問題 9.9	「人権」そのものの考え方の問題 7.9	子どもの人権問題 7.4
	60歳以上 (N=428)	高齢者の人権問題 14.7	環境問題 14.5	障害者の人権問題／戦争や平和の問題 11.7		「人権」そのものの考え方の問題 10.3

（単位：MA%）

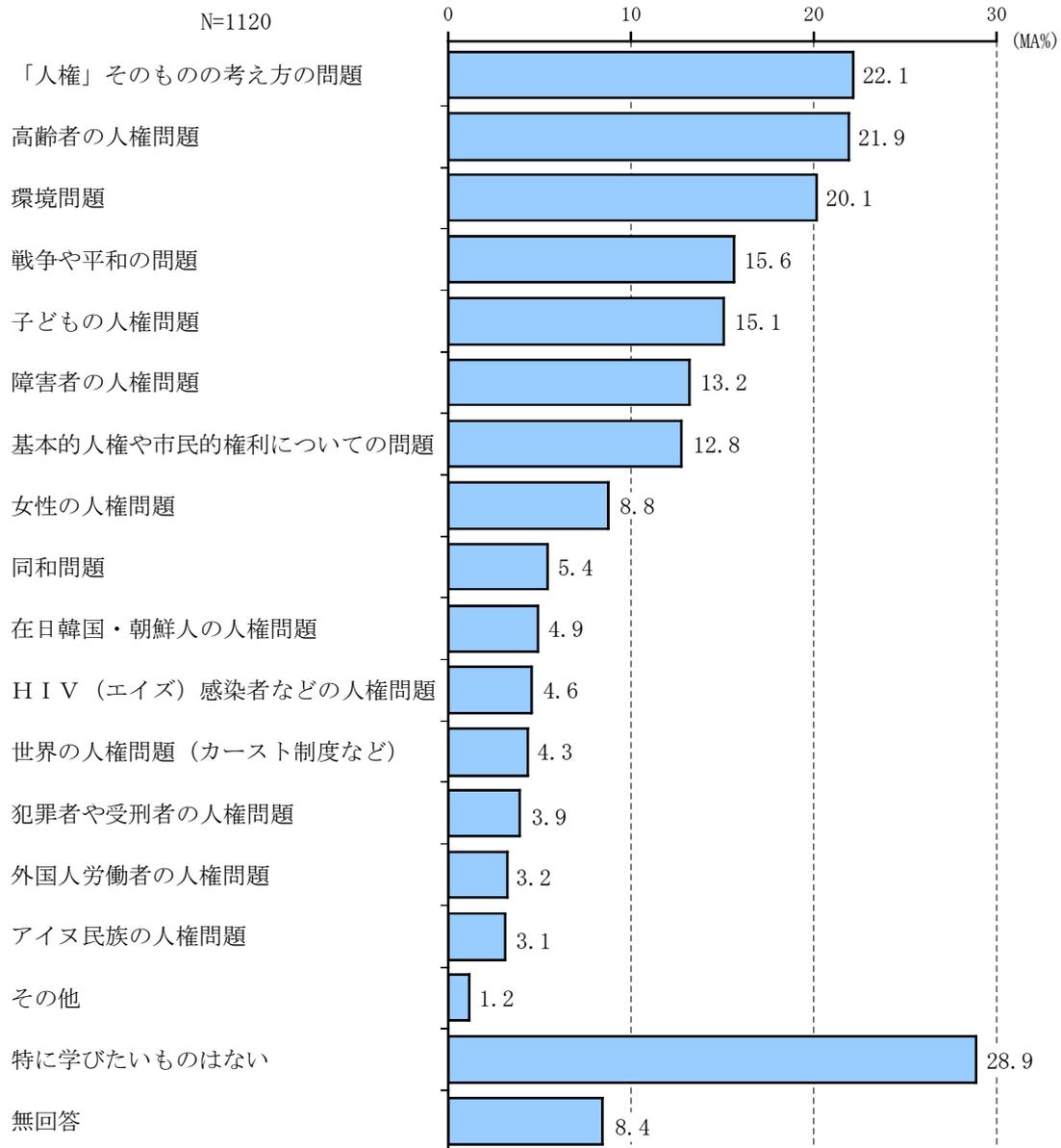
性別で上位5項目をみると、男性は「環境問題」、女性は「障害者の人権問題」の割合が最も高くなっているが、割合はいずれも男性のほうが高くなっている。

年齢別で上位5項目をみると、「環境問題」の割合は16～19歳で20.0%と高く、「高齢者の人権問題」の割合は16～19歳および高年層で高くなっている。（図表5-4-1）

(5) 人権問題の理解を深めるために今後学びたいこと

問23. あなたは、人権問題の理解を深めるために、今後、学びたいことは何ですか
(〇はいくつでも)。

【図表5-5 人権問題の理解を深めるために今後学びたいこと】



人権問題の理解を深めるために今後学びたいことについては、「特に学びたいものはない」が28.9%で最も多くなっているが、学びたいことの中では「「人権」そのものの考え方の問題」が22.1%で最も多く、次いで「高齢者の人権問題」(21.9%)、「環境問題」(20.1%)の順となっている。(図表5-5)

【図表 5-5-1 人権問題の理解を深めるために今後学びたいこと<過去の調査との比較>】

(上段：人、下段：MA%)

	調査数 (N)	「人権」そのものの考え方	基本的な人権や市民的問題	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障害者の人権問題	同和問題	在日韓国・朝鮮人権問題	外国人労働者の人権問題
2006年度 (平成18年度)	1120 100.0	247 22.1	143 12.8	98 8.8	169 15.1	245 21.9	148 13.2	61 5.4	55 4.9	36 3.2
1998年度 (平成10年度)	1116 100.0			222 19.9	232 20.8	401 35.9	280 25.1	115 10.3	94 8.4	81 7.3

	アイヌ民族の人権問題	世界のスト人権制度など	HIV (エイズ) 感染者などの人権問題	犯罪者や受刑者の人権問題	戦争や平和の問題	環境問題	その他	特に学びたいものはない	無回答
2006年度 (平成18年度)	35 3.1	48 4.3	52 4.6	44 3.9	175 15.6	225 20.1	13 1.2	324 28.9	94 8.4
1998年度 (平成10年度)	63 5.6	154 13.8	178 15.9	69 6.2	202 18.1	489 43.8	9 0.8	206 18.5	76 6.8

前回調査と比較すると、「環境問題」の割合が23.7ポイント、「高齢者の人権問題」の割合が14.0ポイント低下し、「特に学びたいものはない」の割合が10.4ポイント上昇している。(図表 5-5-1)

【図表 5-5-2 性別・年齢別 人権問題の理解を深めるために今後学びたいこと (上位5項目)】

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
性別	男性 (N=509)	「人権」そのものの考え方 26.3	高齢者の人権問題 22.2	環境問題 21.4	基本的人権や市民的権利についての問題 15.7	戦争や平和の問題 14.7
	女性 (N=583)	高齢者の人権問題 21.4	環境問題 19.2	「人権」そのものの考え方 18.7	子どもの人権問題 17.2	戦争や平和の問題 16.1
年齢別	16~19歳 (N=30)	戦争や平和の問題 23.3	「人権」そのものの考え方/子どもの人権問題/HIV (エイズ) 感染者などの人権問題 20.0		女性の人権問題/在日韓国・朝鮮人の人権問題 16.7	
	20~29歳 (N=110)	戦争や平和の問題 28.2	環境問題 21.8	「人権」そのものの考え方 20.0	基本的人権や市民的権利についての問題/子どもの人権問題/障害者の人権問題 15.5	
	30~39歳 (N=176)	子どもの人権問題 23.9	「人権」そのものの考え方 21.6	環境問題 18.8	障害者の人権問題 14.2	戦争や平和の問題 13.6
	40~49歳 (N=146)	「人権」そのものの考え方 21.9	環境問題 19.2	障害者の人権問題 13.0	子どもの人権問題/戦争や平和の問題 9.6	
	50~59歳 (N=203)	「人権」そのものの考え方 24.1	高齢者の人権問題 23.2	環境問題 20.7	戦争や平和の問題 14.8	子どもの人権問題 14.3
	60歳以上 (N=428)	高齢者の人権問題 33.2	「人権」そのものの考え方 22.4	環境問題 21.3	基本的人権や市民的権利についての問題 15.2	戦争や平和の問題 14.7

(単位：MA%)

性別で上位5項目をみると、「「人権」そのものの考え方の問題」、「高齢者の人権問題」、「環境問題」の割合は男性が、「子どもの人権問題」、「戦争や平和の問題」の割合は女性が高くなっている。

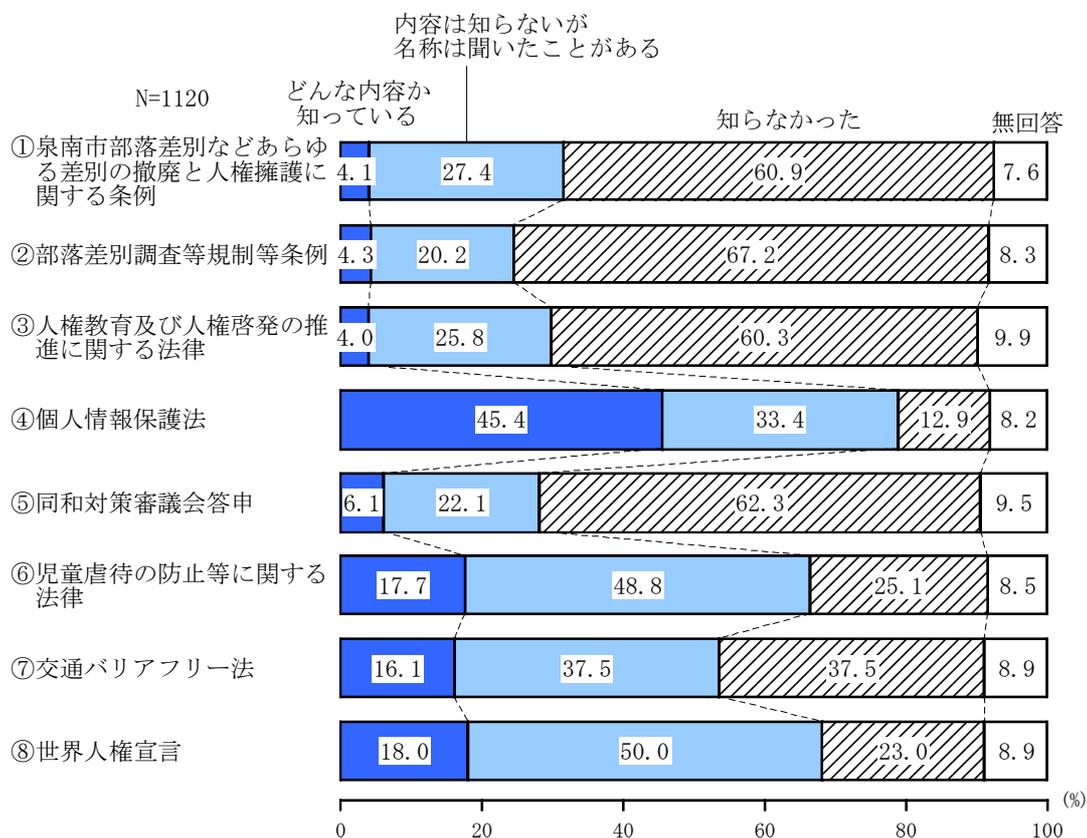
年齢別で上位5項目をみると、全般的に若年層のほうが割合の高い項目が多いが、「「人権」そのものの考え方の問題」、「高齢者の人権問題」の割合は高年層のほうが高くなっている。(図表5-5-2)

(6) 人権に関する宣言や条例などの認知度

問24. あなたは、次の人権に関する宣言や条例などについてどの程度ご存知ですか。

①～⑧のそれぞれについてお答えください（○はそれぞれ1つずつ）。

【図表5-6 人権に関する宣言や条例などの認知度】



人権に関する宣言や条例などの認知度をみると、「どんな内容か知っている」の割合は〔④個人情報保護法〕が45.4%と目立って高く、以下〔⑧世界人権宣言〕(18.0%)、〔⑥児童虐待の防止等に関する法律〕(17.7%)、〔⑦交通バリアフリー法〕(16.1%)の順で続いている。

一方、「知らなかった」の割合は〔②部落差別調査等規制条例〕が67.2%で最も高く、次いで〔⑤同和対策審議会答申〕(62.3%)、〔①泉南市部落差別などあらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例〕(60.9%)、〔③人権教育及び人権啓発の推進に関する法律〕(60.3%)の順となっている。(図表5-6)

【図表 5-6-1 人権に関する宣言や条例などの認知度<大阪府（2005年度）>】

(上段：人、下段：%)

	回答者数	い ど ん な 内 容 か 知 っ て い る	あ る 名 称 は 聞 い た こ と が、	知 ら な か つ た	無 回 答 ・ 不 明
②部落差別調査等規制等条例	3675 100.0	324 8.8	1302 35.4	1883 51.2	166 4.5
③人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	3675 100.0	219 6.0	1320 35.9	1939 52.8	197 5.4
④個人情報保護法	3675 100.0	2006 54.6	1239 33.7	282 7.7	148 4.0
⑤同和対策審議会答申	3675 100.0	306 8.3	1271 34.6	1914 52.1	184 5.0
⑥児童虐待の防止等に関する法律	3675 100.0	1089 29.6	1943 52.9	468 12.7	175 4.8
⑦交通バリアフリー法	3675 100.0	667 18.1	1515 41.2	1330 36.2	163 4.4
⑧世界人権宣言	3675 100.0	799 21.7	2138 58.2	579 15.8	159 4.3

大阪府の調査（2005年度）でも、「どんな内容か知っている」の割合は〔④個人情報保護法〕が54.6%と目立って高く、「知らなかった」の割合は〔③人権教育及び人権啓発の推進に関する法律〕、〔⑤同和対策審議会答申〕、〔②部落差別調査等規制条例〕が高くなっている。（図表 5-6-1）

【図表 5-6-2 性別・年齢別 人権に関する宣言や条例などの認知度①】

①泉南市部落差別などあらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例

②部落差別調査等規制等条例

③人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

(上段：人、下段：%)

	調査数 (N)	①			②			③								
		い ど ん な 内 容 か 知 っ て い る	あ る 名 称 は 聞 い た こ と が あ る 名 称	知 ら な か つ た	無 回 答	い ど ん な 内 容 か 知 っ て い る	あ る 名 称 は 聞 い た こ と が あ る 名 称	知 ら な か つ た	無 回 答	い ど ん な 内 容 か 知 っ て い る	あ る 名 称 は 聞 い た こ と が あ る 名 称	知 ら な か つ た	無 回 答			
全 体	1120 100.0	46 4.1	307 27.4	682 60.9	85 7.6	1120 100.0	48 4.3	226 20.2	753 67.2	93 8.3	1120 100.0	45 4.0	289 25.8	675 60.3	111 9.9	
性 別	男性	509 100.0	33 6.5	148 29.1	295 58.0	33 6.5	509 100.0	35 6.9	120 23.6	318 62.5	36 7.1	509 100.0	30 5.9	129 25.3	306 60.1	44 8.6
	女性	583 100.0	13 2.2	151 25.9	374 64.2	45 7.7	583 100.0	13 2.2	103 17.7	419 71.9	48 8.2	583 100.0	15 2.6	158 27.1	353 60.5	57 9.8
年 齢 別	16～19歳	30 100.0	1 3.3	2 6.7	26 86.7	1 3.3	30 100.0	1 3.3	- 93.3	28 93.3	1 3.3	30 100.0	1 3.3	5 16.7	23 76.7	1 3.3
	20～29歳	110 100.0	1 0.9	16 14.5	89 80.9	4 3.6	110 100.0	3 2.7	14 12.7	89 80.9	4 3.6	110 100.0	7 6.4	25 22.7	74 67.3	4 3.6
	30～39歳	176 100.0	4 2.3	29 16.5	140 79.5	3 1.7	176 100.0	4 2.3	26 14.8	142 80.7	4 2.3	176 100.0	2 1.1	37 21.0	127 72.2	10 5.7
	40～49歳	146 100.0	4 2.7	40 27.4	100 68.5	2 1.4	146 100.0	3 2.1	37 25.3	103 70.5	3 2.1	146 100.0	5 3.4	38 26.0	101 69.2	2 1.4
	50～59歳	203 100.0	11 5.4	71 35.0	112 55.2	9 4.4	203 100.0	13 6.4	52 25.6	129 63.5	9 4.4	203 100.0	10 4.9	71 35.0	111 54.7	11 5.4
	60歳以上	428 100.0	25 5.8	142 33.2	204 47.7	57 13.3	428 100.0	24 5.6	95 22.2	248 57.9	61 14.3	428 100.0	20 4.7	112 26.2	225 52.6	71 16.6

【図表5-6-2 性別・年齢別 人権に関する宣言や条例などの認知度②】

④個人情報保護法

		調査数 (N)	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
全体		1120 100.0	509 45.4	374 33.4	145 12.9	92 8.2
性別	男性	509 100.0	250 49.1	159 31.2	64 12.6	36 7.1
	女性	583 100.0	251 43.1	208 35.7	78 13.4	46 7.9
年齢別	16～19歳	30 100.0	16 53.3	9 30.0	4 13.3	1 3.3
	20～29歳	110 100.0	72 65.5	29 26.4	4 3.6	5 4.5
	30～39歳	176 100.0	96 54.5	57 32.4	17 9.7	6 3.4
	40～49歳	146 100.0	88 60.3	45 30.8	10 6.8	3 2.1
	50～59歳	203 100.0	88 43.3	81 39.9	25 12.3	9 4.4
	60歳以上	428 100.0	142 33.2	147 34.3	83 19.4	56 13.1

⑤同和对策審議会答申

		調査数 (N)	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
全体		1120 100.0	68 6.1	248 22.1	698 62.3	106 9.5
性別	男性	509 100.0	45 8.8	121 23.8	304 59.7	39 7.7
	女性	583 100.0	23 3.9	123 21.1	380 65.2	57 9.8
年齢別	16～19歳	30 100.0	2 6.7	3 10.0	24 80.0	1 3.3
	20～29歳	110 100.0	5 4.5	15 13.6	85 77.3	5 4.5
	30～39歳	176 100.0	7 4.0	19 10.8	145 82.4	5 2.8
	40～49歳	146 100.0	7 4.8	40 27.4	97 66.4	2 1.4
	50～59歳	203 100.0	13 6.4	64 31.5	114 56.2	12 5.9
	60歳以上	428 100.0	34 7.9	103 24.1	222 51.9	69 16.1

⑥児童虐待の防止等に関する法律
(上段：人、下段：%)

		調査数 (N)	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
全体		1120 100.0	198 17.7	546 48.8	281 25.1	95 8.5
性別	男性	509 100.0	79 15.5	257 50.5	136 26.7	37 7.3
	女性	583 100.0	116 19.9	278 47.7	141 24.2	48 8.2
年齢別	16～19歳	30 100.0	6 20.0	9 30.0	14 46.7	1 3.3
	20～29歳	110 100.0	28 25.5	49 44.5	28 25.5	5 4.5
	30～39歳	176 100.0	27 15.3	93 52.8	51 29.0	5 2.8
	40～49歳	146 100.0	33 22.6	77 52.7	34 23.3	2 1.4
	50～59歳	203 100.0	36 17.7	115 56.7	43 21.2	9 4.4
	60歳以上	428 100.0	66 15.4	192 44.9	109 25.5	61 14.3

⑦交通バリアフリー法

		調査数 (N)	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
全体		1120 100.0	180 16.1	420 37.5	420 37.5	100 8.9
性別	男性	509 100.0	86 16.9	201 39.5	184 36.1	38 7.5
	女性	583 100.0	90 15.4	214 36.7	227 38.9	52 8.9
年齢別	16～19歳	30 100.0	5 16.7	10 33.3	13 43.3	2 6.7
	20～29歳	110 100.0	25 22.7	39 35.5	42 38.2	4 3.6
	30～39歳	176 100.0	30 17.0	71 40.3	69 39.2	6 3.4
	40～49歳	146 100.0	25 17.1	66 45.2	53 36.3	2 1.4
	50～59歳	203 100.0	36 17.7	80 39.4	79 38.9	8 3.9
	60歳以上	428 100.0	55 12.9	151 35.3	156 36.4	66 15.4

⑧世界人権宣言

		調査数 (N)	どんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答
全体		1120 100.0	202 18.0	560 50.0	258 23.0	100 8.9
性別	男性	509 100.0	109 21.4	259 50.9	98 19.3	43 8.4
	女性	583 100.0	90 15.4	292 50.1	154 26.4	47 8.1
年齢別	16～19歳	30 100.0	8 26.7	15 50.0	6 20.0	1 3.3
	20～29歳	110 100.0	32 29.1	53 48.2	21 19.1	4 3.6
	30～39歳	176 100.0	32 18.2	92 52.3	48 27.3	4 2.3
	40～49歳	146 100.0	31 21.2	81 55.5	32 21.9	2 1.4
	50～59歳	203 100.0	34 16.7	116 57.1	44 21.7	9 4.4
	60歳以上	428 100.0	62 14.5	195 45.6	103 24.1	68 15.9

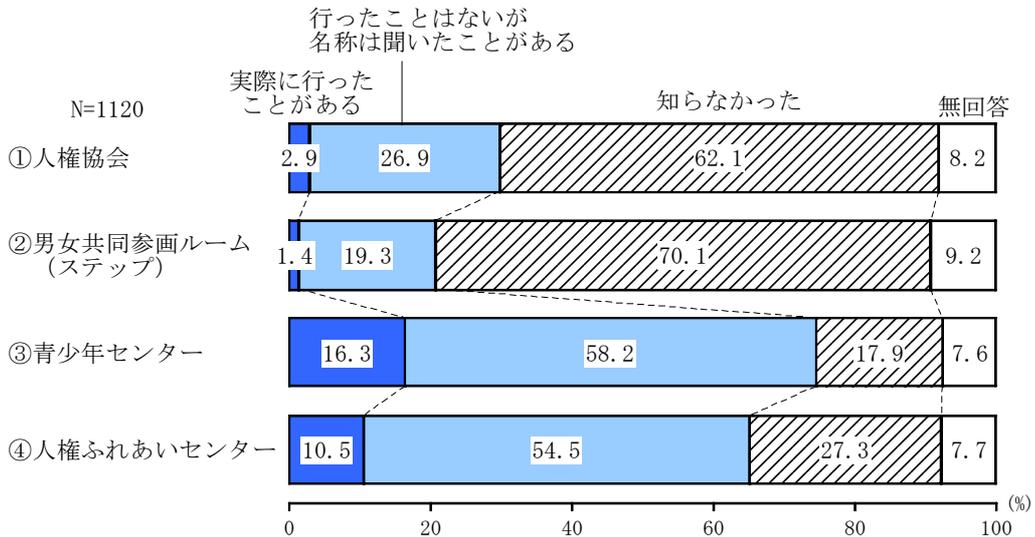
性別でみると、「どんな内容か知っている」の割合は、〔⑥児童虐待の防止等に関する法律〕は女性が、それ以外の項目は男性が高くなっている。ただし、〔③人権教育及び人権啓発の推進に関する法律〕、〔④個人情報保護法〕については、「内容は知らないが名称は聞いたことがある」の割合は女性のほうが高く、「知らなかった」の割合に大きな差はみられない。

年齢別でみると、「どんな内容か知っている」の割合は、〔①泉南市部落差別などあらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例〕、〔②部落差別調査等規制等条例〕は高年層のほうが高く、〔④個人情報保護法〕、〔⑥児童虐待の防止等に関する法律〕、〔⑧世界人権宣言〕は若年層のほうが高い傾向にある。(図表5-6-2)

(7) 人権について推進している施設の認知度

問25. 人権について推進している次の施設をご存知ですか。あるいは実際に行ったことがありますか。①～④のそれぞれについてお答えください（〇はそれぞれ1つずつ）。

【図表5-7 人権について推進している施設の認知度】



人権について推進している施設の認知度をみると、「実際にいったことがある」の割合は〔③青少年センター〕が16.3%で最も高く、次いで〔④人権ふれあいセンター〕（10.5%）の順となっており、「行ったことはないが名称は聞いたことがある」をあわせた認知度は〔③青少年センター〕が74.5%、〔④人権ふれあいセンター〕が65.0%となっている。

一方、「知らなかった」の割合は〔②男女共同参画ルーム（ステップ）〕が70.1%で最も高く、次いで〔①人権協会〕（62.1%）の順となっている。（図表5-7）

【図表5-7-1 性別・年齢別 人権について推進している施設の認知度】

①人権協会

		調査数 (N)	実際に 行ったこと がある	行った ことは ないが 名称は 聞いた こと がある	知ら なかつ た	無回 答
全 体		1120 100.0	32 2.9	301 26.9	695 62.1	92 8.2
性別	男性	509 100.0	20 3.9	157 30.8	294 57.8	38 7.5
	女性	583 100.0	12 2.1	141 24.2	385 66.0	45 7.7
年齢別	16～19歳	30 100.0	-	3 10.0	27 90.0	-
	20～29歳	110 100.0	1 0.9	16 14.5	89 80.9	4 3.6
	30～39歳	176 100.0	2 1.1	32 18.2	136 77.3	6 3.4
	40～49歳	146 100.0	4 2.7	41 28.1	98 67.1	3 2.1
	50～59歳	203 100.0	13 6.4	56 27.6	124 61.1	10 4.9
	60歳以上	428 100.0	12 2.8	150 35.0	208 48.6	58 13.6

②男女共同参画ルーム (ステップ)
(上段:人、下段:%)

		調査数 (N)	実際に 行ったこと がある	行った ことは ないが 名称は 聞いた こと がある	知ら なかつ た	無回 答
全 体		1120 100.0	16 1.4	216 19.3	785 70.1	103 9.2
性別	男性	509 100.0	5 1.0	108 21.2	354 69.5	42 8.3
	女性	583 100.0	11 1.9	108 18.5	413 70.8	51 8.7
年齢別	16～19歳	30 100.0	-	6 20.0	24 80.0	-
	20～29歳	110 100.0	-	13 11.8	92 83.6	5 4.5
	30～39歳	176 100.0	4 2.3	20 11.4	147 83.5	5 2.8
	40～49歳	146 100.0	2 1.4	30 20.5	109 74.7	5 3.4
	50～59歳	203 100.0	5 2.5	49 24.1	139 68.5	10 4.9
	60歳以上	428 100.0	5 1.2	98 22.9	259 60.5	66 15.4

③青少年センター

		調査数 (N)	実際に 行ったこと がある	行った ことは ないが 名称は 聞いた こと がある	知ら なかつ た	無回 答
全 体		1120 100.0	182 16.3	652 58.2	201 17.9	85 7.6
性別	男性	509 100.0	101 19.8	278 54.6	97 19.1	33 6.5
	女性	583 100.0	78 13.4	364 62.4	99 17.0	42 7.2
年齢別	16～19歳	30 100.0	6 20.0	16 53.3	8 26.7	-
	20～29歳	110 100.0	22 20.0	59 53.6	26 23.6	3 2.7
	30～39歳	176 100.0	33 18.8	92 52.3	46 26.1	5 2.8
	40～49歳	146 100.0	40 27.4	86 58.9	17 11.6	3 2.1
	50～59歳	203 100.0	36 17.7	134 66.0	26 12.8	7 3.4
	60歳以上	428 100.0	43 10.0	256 59.8	74 17.3	55 12.9

④人権ふれあいセンター
(上段:人、下段:%)

		調査数 (N)	実際に 行ったこと がある	行った ことは ないが 名称は 聞いた こと がある	知ら なかつ た	無回 答
全 体		1120 100.0	118 10.5	610 54.5	306 27.3	86 7.7
性別	男性	509 100.0	65 12.8	265 52.1	145 28.5	34 6.7
	女性	583 100.0	52 8.9	336 57.6	153 26.2	42 7.2
年齢別	16～19歳	30 100.0	1 3.3	19 63.3	10 33.3	-
	20～29歳	110 100.0	6 5.5	63 57.3	38 34.5	3 2.7
	30～39歳	176 100.0	19 10.8	98 55.7	54 30.7	5 2.8
	40～49歳	146 100.0	22 15.1	85 58.2	37 25.3	2 1.4
	50～59歳	203 100.0	26 12.8	119 58.6	51 25.1	7 3.4
	60歳以上	428 100.0	43 10.0	218 50.9	110 25.7	57 13.3

性別で見ると、「実際に行ったことがある」の割合は、〔②男女共同参画ルーム (ステップ)〕は女性が、それ以外の項目は男性が高くなっている。ただし、〔③青少年センター〕、〔④人権ふれあいセンター〕については、「行ったことはないが名称は聞いたことがある」の割合は女性のほうが高く、「知らなかった」の割合は男性のほうが高くなっている。

年齢別で見ると、「実際に行ったことがある」の割合は、〔①人権協会〕は50～59歳が、〔③青少年センター〕、〔④人権ふれあいセンター〕は40～49歳が、それぞれ最も高くなっている。また、「行ったことはないが名称は聞いたことがある」の割合は、〔①人権協会〕、〔②男女共同参画ルーム (ステップ)〕、〔③青少年センター〕は高年層のほうが高い傾向にある。(図表5-7-1)

6. 自由意見

人権問題について、市に対して意見・要望（問31）を記入してもらったところ、回答者総数1,120人のうち326人（29.1%）から、延べ総数392件の意見等が寄せられた。

記述内容の要旨は次のとおりである。

意見要旨	件数
逆差別を見直す必要がある	41
同和地区は優遇、保護されすぎている	40
行政の同和地区への支援を見直す必要がある	23
人はみな平等に対応すべき、不公平をなくしてほしい	27
何もしなければ知らなくてすむ、知らない子ども達にわざわざ教える必要はない。見直す必要がある	22
差別と言いつぎる、「人権、同和」とあまり騒がない	16
義務教育の場でもっと多くこういった人権問題または、社会問題について学べるようにする	13
被差別者側にも問題がある、被差別者側にも甘えがある	11
地方公共団体が積極的に広報やテレビ・ラジオで啓発すべき、積極的な行政の活動が必要	10
戸籍制度の見直し、人権問題解消のための法整備をすべき	7
その他同和問題や同和地区について	22
その他人権問題や啓発について	38
アンケートについて	33
人権問題以外の市政について	89
計	392